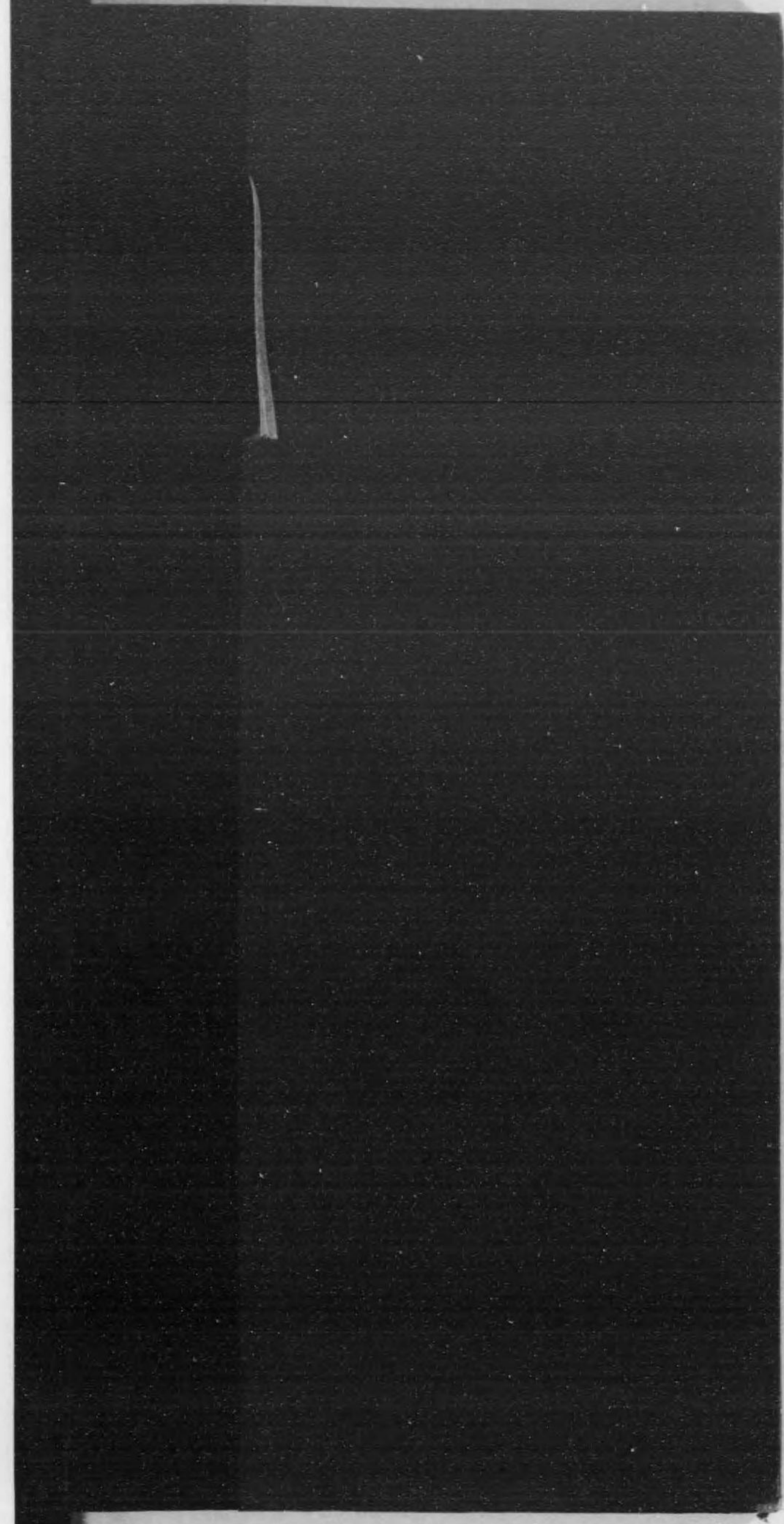


始



323-74

NEW
ENGLISH WORDS
AND
CURRENT PHRASES



NEW
ENGLISH WORDS
AND
CURRENT PHRASES

前
シヤ
パン
タイ
ム
ス
記
者
岩
堂
保
共
著
英
語
五
千
字
會
々
長
森
濱
五
郎

新
し
い
英
字

發行所 東京 英語五千字會出版部

大正
3. 11. 27
内交

"If a great change is to be made in human affairs, the minds of men will be fitted to it; the general opinions and feelings will draw that way. Every fear, every hope will forward it, and then they who persist in opposing this mighty current in human affairs, will appear rather to resist the decrees of Providence itself, than the mere designs of men. They will not be resolute and firm, but perverse and obstinate."--Burke

— 7 —

自序

新陳代謝は有機體的性質を有する總てに共通する一大作用なり。而して有機體的性質を有する語學界も亦此の原則に漏るゝ事能はずして歲月の経過と共に絶えず一種の新陳代謝を爲す。即ち幾多の字句は僅に其形骸のみを辭書中に止めて日々實用より遠かり空しく廢殘の語と化しつゝあり。然るに一方に於て新しい字句は絶えず其の數を増加しつゝあり。然り新舊兩語間には絶えず盛なる代謝作用行はれつゝあり。殊に文化の進歩顯著なる現代に於ける新語の出現は實に驚く可き程多數にて年々増加し行く新字、新句、新俗語は幾千の多きに達すと云ふに徴しても明なり。斯くの如く「新しい字句」増加の著しき今日我邦に於て未だ「新しい英字」の研究書を公にしたる者なきは實に斯界の爲め遺憾に堪えず。「思付きたる者先づ實行せよ」との古言に則り著者等協力して茲に本書「新しい英字」を著作上

梓する事とせり。

著者等が本書の草稿に著手したるは滿一年以前の事なり。爾來收集したる字句略三千中更に九百餘字を精選し稿半ば成るの時即ち本年九月下旬兼て注文し置きたる世界最新の大辭典 New Standard Dictionary 到着せしを以て念の爲め一字一句悉く同辭典と對照査考し著者等の解釋正確なりし保證を得たり。是れが爲め發行少しく豫定に遅れたるは遺憾なれども爲めに充分の authority を得たるを誇りとす。

本書輯集する所の字句の大部分は從來の辭書には未だ掲載せられざる『新しい字句』なり。故に従つて確定的譯語の有るべき筈なし。止むを得ず著者等協議して最も適切なりと信ずる譯語を附したる場合甚だ多し。願くは書中に略述せる語源語歴等の解説を參考として新しい英字の眞意義を會得せられん事を。

大正三年十一月十六日

出征軍青島入城の日 著者識す

本書の特色

徒らに字句を雜輯して其の分量の豊多なるを誇りとし讀者の勞力と時間の浪費を顧みざるが如き舉に出でず。三千餘語の中より専門的のものを悉く除外し。英米發刊の現代の著書、雜誌、新聞を讀むに當つて屢々遭遇し又普通の教育ある英米人が日常口にせる極めて普通なる字句略九百を精選し、略二千語を犠牲とせり。斯く平易實用を主としたる點是れ本書の特色の一なり。

本邦は勿論英米にて發行せられたる從來の辭書には未だ收録せられ居らざる字句殊には世界の最新版にして新語の豊多を以て誇りとせる New Standard Dictionary にすら掲載せられざる最新字句を網羅する事を得たり。是れがた本書の大なる特色とす。

語源の研究は語學研究上最も重要なものの一なり。然るに我邦に於ける現行英語研究法が此の語源の研究を閑却し居るは大なる缺陷とす。本書は深く之れを遺憾とし各語に就き簡潔なる解説を試みて而かも言語學の専門的研究範圍を侵さず、以て初學者の研究記憶にも便せり。是れ本書の特色の一なり。

英字の發音を假名にて表はす事は難なる業にして有害な場合多し。然れども之れを參考用として精確なる發音符號と併記する事は頗る有益なる事とす。殊に初學者には却つて便宜大なれば研究本位の著書には之あるを以て遙かに優れりとせざる可からず。假名發音と音符とを併記し且つ太く黒き假名にてアクセントを示したる事是れ本書の特色の一なり。

本書は單に其の一字一字の説解を以て満足せず。今後文明の進化に伴ひ新に作る、今後の新しい英字の辨讀力を養成せしむるの方針をも眼中に措いて

説明せり。従つて讀者は本書研究中に自から今後の新語解釋の素地を養成する事を得ん。是れ亦た本書の特色の一なり。

本書内の英文作例は皆模範的の現代文にして一々其の和譯を附したれば作例の研究だけでも讀者の讀解力、活用力等を利益する事は決して少なからざるべし。是れ亦本書の特色の一なり。

其の他各字の解説の終りに参照項を附記して比較研究に記憶喚起に便したるが如き。或は所謂辭書的單調なる編法を避けて百科全書的體裁を模したるが如き。索引代用の復習ノートを附したるが如き皆本書の特色の一たらざるはなし。

"You can never be sure that you're right because no one brain can keep pace with the work of all brains."

"Man can only be as accurate as the information upon which he bases his conclusion, and that basis is always subject to revision."

本書の編輯に就て

斬新なる材料の缺乏せる我が語學界の現状に於て「新しい英字」の蒐集は決して容易の業にあらず。唯英米の新著、新聞、雜誌等を廣く讀破して其中より収集するの外殆んど道なく著者等が三千餘語を集むるには實に多大の勞力と時間とを費したり。

其の三千餘語中より成るだけ普通に且つ多方面なる字句のみを選定し餘り専門的なるものは全部之を省きたり。

「新しい英字」との比較研究上必要と認めたるもの或は新しい意義にて使用せらるゝに至りたるもの或は從來の解釋に誤謬あり又は意義徹底せざるもの等は既に從來の辭典に掲載しあるものをも収録せり。

字句其者より謂へば當然「新しい英字」内に收容すべきものにて既に邦我に於ける從來の辭書に掲載あるものは小冊子紙數に限りあるが爲めに省きたるもの少なからず。蓋し諸君は普通の辭書に就いて研究し得べければなり。

本書掲載の字句中には餘りに新しき故に未だ accentuation, syllabication, capitalization 等の一定せざるあり。且つ或種の compound noun の如きは英米一流の學者間にすら未だ評議一決せざるものあり。斯の如きは出來得る限ぎりの最高 authority を參考とし著者の判断によりて定めたり。

本書に收容せる略九百の新しい字句の大部分は邦譯英語辭典に掲載しあらず。従つて確定的の譯語なし。斯くの如き字句は著者に於いて適切と認めたる新譯語を附せり。後日に至り更に適當なる公認的譯語出づるに於いては増補或は改訂を爲すべし。

著者が新字新句新俗語略三千餘を蒐集し其中より九百餘を選出し殆んど脱稿せんとせし際に最新版

の New Standard Dictionary は到著せり。依つて念の爲め一々同辭典と對照せしに著者の草稿は幸に誤謬無かりし。著書は之を誇りとすると共に最高の authority を得たるを感謝す。

世界最新の大辭典 New Standard Dictionary にすら未だ掲げられざる幾多の新字即ち新字中の最新字を此の一小冊に収録し得たる事は實に著者の心から誇りとする所なり。

英文作例は努めて現代文の粹を採りたり。中に著者自作の文もあれども多くは外人の筆に成れる實例文を採れり。殊に努めて「新しい英字」の説明文例を選びて掲載せり。

*"The world changes its mind every hour.
It alters its ideas every time advancement
disproves a sophistry, corrects an error, or
proclaims a discovery."*

研究上の注意事項

本書は辭典風を避けて百科全書的に編輯しあれば、讀者は必ずしも ABC の順序にて第一頁より研究し行くの必要なし。否著者は却て抜き々々に A 部なり M 部なり S 部なり隨意の部分各自興の向くまゝに研究せられん事を希望す。

隨意に其の何れの部分を研究するに於ても必ず先づ「新しい英字復習ノート」の研究心得を一讀し。且つ其の字の popularity をも心に措きて然る後本文内の其の字に就き充分に研究せられよ。

既に本文内に於て充分に研究したる後は「新しい英字復習ノート」を利用して反復温習せられよ。

本書内の新字新句新俗語には一字残らず精確なる發音符號を附し且つ附記するに片假名發音を以てせり。然れども片假名發音は徹頭徹尾参考用たるに過ぎざれば先づ發音符號によりて發音を研究し假名發音は唯單に参考に供せられよ。

語源の説明中冠頭詞又は接尾語にして既に説明ずみのものは繁を避けんが爲め省略したる事も有り。斯かる場合には一字或は數字溯つて研究せられよ。

「新しい英字追加」をも叙上の心得によりて研究せられよ。

發音表

語例	音	略解
ā late, face.	エー	エ及イの重母音。
â prelate, preface.	エイ	前條のアクセントなき綴に於てイの始と響かざるもの。
ā all, walk.	オウ	廣く口を開きて發する。
a=ō was; got.	オ	前條に似て短きもの。
ā alms, far.	アー	廣く口を開きて發するアの長音。
â ask, dance.	ア	前條に似て時として短くも發せらるゝもの。
â air, care.	エーア	廣く口を開きて發するエ。
ā m:n, have.	ア	更々廣く口を開き(殆どアに近く)短く呼ぶもの。
a about; sofa.	ア	a 及 a アクサントなき綴に於て弱く發せらるゝもの。
ē=ī see; here.	イー	長く引くイの音、次々來るときの外は大抵音尾に響くもの。
ê react; remain.	イ(一)	前條のアクセントなき綴に於てイの始と響かざるもの。
ē=ī=ū ever; her; bird; fur.	(ア)~	アイウエオの風性を發せる中性的の母音。
è ten; added;	エ	短きエの音。
e moment, prudent.	エ	アクセントなき綴に於て弱く中性的に發せらるゝもの。
ī=ÿ I, ice.	アイ	エ及イの重母音。
î ides, biology.	アイ	前條のアクセントなき綴に於て稍も短く發せらるゝもの。
ī=ÿ ill, ink.	イ	イの短音。
i vanity, charity.	イ	アクセントなき綴に於て弱く中性的に發せらるゝもの。
(F.) e: favt, Henri.	ン	將立母音の音と同時には氣を鼻に通じて發する鼻音。
(F.) Charlemagne.	ン	オ及ウの重母音、オの長音の如く聞ゆるもの。
ō so, no, boa.	オー	前條に似て、アクセントなき綴に於て音尾に響かざして短きもの。
ô hero; violet; morality; theory.	オウ	前條に似て、アクセントなき綴に於て音尾に響かざして短きもの。
o=ō move, poor; two.	ウー	ウを見よ。
o=ō wolf, book.	ウ	ウの短音。
ô short; for.	オー	オに似たるもの。

例語	音	略解
ō=ū son, sun.	ア	口の形殆どアに似、アクセントを置かれざる時は全く弱音アとなる。
o idiot, atom.	オ	アクセントなき綴に於て弱く中性的に發せらるゝオ。
th than, that.	(ズ)	th の濁音。
ū pure, lure; few, lute.	イウー	イとウとの重音、但しイは軽くしてウを重し。
û duration; measure.	イユ	前條のアクセントなき綴に於て短く發せらるゝもの。
u=ō virtue; circular.	イユ	長く引くウの音、次々來るときの外は大抵音尾に響くもの。
u=ō true, move; poor.	ウー	ウを見よ。
u=ō put, pull.	ウ	ウを見よ。
ū=ō sun, son.	ア	ウを見よ。
u circus, datum.	ア	ū のアクセントなき綴に於て弱く中性的に發せらるゝもの。

假名發音に就て

英語の發音を日本の假名にて精密に表す事は不可能と謂ふも可なり。而して著者も亦假名發音排斥主義者なり。然し之を精確なる發音符號と併記して其の参考となす事には幾多の利益殊に初學者に便利少なからざる可きを認む。故に本書には充分なる注意を以て假名發音を併記して参考用とせり。假名發音中の(一)ブラックタイプ即ち太く黒き字はアクセントを示すものなれば此の字は強く發音すべし。(二) Second accent は之を表示せず。(三) er, ur, ir の音は ~ を以て表せり。

常用略語一覽

英文の部

<i>a.</i>	adjective.	(形 容 詞)
<i>ad.</i>	adverb.	(副 詞)
<i>con.</i>	conjunction	(接 續 詞)
<i>n.</i>	noun.	(名 詞)
<i>prep.</i>	preposition	(前 置 詞)
<i>pro.</i>	pronoun	(代 名 詞)
<i>v.</i>	verb	(動 詞)
<i>vi.</i>	intransitive verb	(自 動 詞)
<i>vt.</i>	transitive verb	(他 動 詞)
<i>ex.</i>	example	(使 用 例)

和文の部

「名」.....	(名 詞)
「固名」.....	(固 有 名 詞)
「動」.....	(動 詞)
「成句」.....	(慣 用 成 句)
「形」.....	(形 容 詞)
「略」.....	(略 字)
「動」-「自」.....	(自 動 詞)
「動」-「他」.....	(他 動 詞)

新しい英字復習ノート

(索引代用)

本書の讀者をして新しい英字研究の目的を遺憾なく貫徹せしめんが爲め茲に「新しい英字復習ノート」を添附せり。

復習ノート利用心得

本文を読みたる後は此の復習ノートにて復習せよ。
(一)先づ發音を試みよ(二)次に意味を思ひ出してみよ
(三)次に語源を思ひ出してみよ(四)發音、意味、語源等に不解の點あらば各其の頁に就て再び研究せよ。

差別を立て、研究せよ

何れの國語にも日常よく使用せらるゝ字句と餘り使用せられず稀に使用せらるゝ字句との二種あり。新しい英字に於ても亦然り。然り而して此の二種の差別を明にせん爲めに(一)普通に使用せらるゝ字句は太く黒き活字にて表はし(二)稀に使用せらるゝ字句は普通の活字にて記せり。されば本書の研究者は太く黒き字體の字句は充分に研究し。然らざるものは一應の讀習に止め措きて可ならん。

索引代用となる

此復習ノートは反復々習上に便利大なるのみならず本文と同じくABC順に排列し且つ各字に頁数を附したるを以て索引用としても便利大なり。

新しい英字

復習ノート

A	Page
accouphone	1
adding-machine	”
addressing-machine	”
adjusting surface	2
aer- }	”
aeri- }	”
aero- }	”
aerial, adj.	”
aerial, n.	”
aerial car	3
“Aerial Derby”	4
aerial ladder	”
aerial navigation	5
aerial-railroad }	”
aerial-railway }	”
aerial telegraphy	6
aerial vehicle	”
aerial wire	7
aero	”
aerobioscope	”
aero-bus	”
aeroclinoscope	”
aero-club	”
aerocondenser	8
aerocurve	”

	Page
aerodrome	9
aerofoil.....	10
aerogram.....	"
aeragraph, v.....	"
aerograph, n.....	11
aeroist.....	"
aeromotor.....	"
aeronaut.....	12
aeronautic }	"
aeronautical }	"
aeronautics.....	"
aeronaut sm.....	13
aeronef.....	"
aerophone.....	14
aeroplane.....	"
aeroplane motor.....	15
aeroplanist.....	16
aeroscope.....	"
aerostat.....	17
aerostatic }	"
aerostatical }	"
aerostation.....	"
aero-steamengine.....	18
aileron.....	"
air-cooling.....	"
aircraft.....	19
air department.....	21
air-dreadnought.....	"
air-fleet.....	"
air-lock.....	22

	Page
air-mail.....	23
airman.....	"
airmanship.....	24
air-motor.....	"
air-patrol.....	"
airplane.....	25
air-pocket.....	"
air-propeller.....	26
air-sailer.....	"
air-scout.....	27
airship.....	"
air-speed.....	28
air-station.....	"
airway.....	29
airwoman.....	"
airworthiness.....	"
airworthy.....	30
alley.....	30
American plan.....	"
angle of incidence.....	31
antenna.....	"
anthropometry.....	"
apteroid.....	32
aspect.....	"
aspiration.....	"
auto, n.....	32
auto, v.....	"
auto-boat.....	33
auto-bus.....	"
auto-car.....	"

	Page
autocycle.....	33
autoist.....	34
autokinesis.....	"
auto'inctic.....	"
autokinetic system.....	"
autokinetic telegraph.....	"
autograph piano.....	"
automatic baseball.....	35
autometer.....	"
automixte car.....	"
automixte system.....	"
automobile, n.	36
automobile, v.....	"
automobile, adj.....	37
automobile trunk.....	"
automobiling.....	"
automobilism.....	"
automobilist.....	38
automotor.....	"
autoped.....	"
autophon }.....	39
autophone }	
autopiano.....	"
autotelegraph.....	"
autotruck.....	"
aviate.....	"
aviation.....	40
aviator.....	"

B	
	Page
back-fire.....	40
back-stamp.....	41
bag.....	"
balancing surface.....	42
balk.....	"
ballonet }.....	43
ballonette }	
bank.....	"
barrack.....	44
baseballer }.....	45
baseballist }	
base-hit.....	"
basic-slag.....	"
battery.....	"
battle-cruiser.....	46
bawl.....	"
bean.....	"
bean ball.....	47
beanery.....	"
beany.....	"
beat.....	"
beauty-art.....	48
beauty-parlor.....	"
beauty-wash.....	"
beezer.....	"
bertha }.....	"
berthe }	
best-seller.....	"

	Page
bicycle railroad	49
big one	"
bill-stamp	"
bingle	50
biograph	"
bioscope	"
biplane	51
bird-man	52
bite	"
Black Hand	"
blanket-boat	53
blanket-roll	"
bleacher	"
bleacherite	54
blind-letter	"
blindman	55
blind-reader	"
Blue-Water School	"
bo	56
boat-car	"
boat-train	"
bone-head	"
boner	57
bonzoline	"
bordereau	"
Borstal system	58
bounder	59
box-office	"
box-score	"
Boys' Brigade	"

	Page
boy-scout	60
braille	61
braille music	"
braille-writer	"
" bread-line "	"
break	62
breakdown gang	"
break down van	"
bull moose	"
bull	63
bully	"
Bully-beef	"
bumps	"
burglar-alarm	"
bush	64
busher	"
bushes	"
bush league	65
C	
cable-address	65
cable-car	66
cable-carrier	"
cablegram	"
cable letter	"
cable-railroad	67
cable-road	"
cable-way	"
cabling	"
calculagraph	"

	Page
calculating-machine	68
canoe automobile	"
cap-paper	"
carbon-paper	"
cartel	69
cash-carrier	"
cash-railway	"
cash-register	70
catch-my-pal crusade.....	"
central rail	"
centrifugal machine	"
charlotte russe	71
charmeuse	"
Chautauqua	"
Chautauquan	"
Chautauquan System	"
chassis	72
chauffeur	73
check-till	"
chesterfield	74
choking-coil	"
chop-suey	"
chortle	"
Christian Science.....	"
chucker-out.....	75
Church Lads' Brigade.....	76
cinema	"
cinema-book	"
cinema-drama	77
city article	"

	Page
clairvoyance	77
clairvoyant	78
club	"
clubdom.....	"
clubland	"
clubman.....	"
club sandwich.....	79
coach	"
coacher	"
coherer	80
cold light	"
come back, v.....	81
come-back, adj.....	"
company-promoter	"
company store	82
comptograph	"
comptometer	"
condominate	"
condominium	"
consolation prize.....	83
consolation race	"
consolation stakes	"
corridor carriage	84
covering letter.....	"
C Q }	"
C Q D }	"
crash.....	85
cross-tail.....	"
crowd	"
cruiser	"

	Page
cruiser motor-boat.....	85
crypton.....	,,
Cubism.....	86
cubist.....	,,
curtain-raiser.....	87
curve.....	,,
cyclecar.....	,,
cycle-way.....	88
cycloramic camera.....	,,
cymometer.....	,,
cymoscope.....	89
D	
dacoity.....	89
day letter.....	,,
day lettergram.....	,,
day motor-boat.....	90
decohere.....	,,
delayed double steal.....	,,
delivery station.....	91
deposit station.....	,,
desk-set telephone.....	,,
detective camera.....	,,
dictaphone.....	,,
dictating machine.....	92
dictograph.....	,,
directive antenna.....	,,
dirigible.....	93
dopey.....	94
double-header.....	,,

	Page
dough.....	,,
draft.....	,,
dreadnought.....	,,
drome.....	96
dry.....	,,
Dual Alliance.....	,,
duo-tone.....	,,
duplicator.....	,,
dwarf signal.....	97
dynamitism.....	,,
E	
earmark.....	97
ecology.....	98
oecology.....	98
eidoloscope.....	,,
eidophone.....	98
electric balloon.....	,,
electric chimes.....	99
electric lock.....	,,
electric log.....	,,
electric pen.....	,,
electric target.....	,,
electric thermometer.....	,,
electric tower.....	,,
electric typewriter.....	100
electrobat.....	,,
electrobus.....	,,
electrochronograph.....	,,
electroendoscope.....	,,

	Page
electrograph.....	100
electromobile.....	101
elementalism.....	"
elevated.....	"
elevating plane.....	"
elevator.....	"
entente cordiale.....	"
equilibrator.....	102
ergograph.....	"
ergology.....	103
ergometer.....	"
escalator.....	"
eugenic.....	104
eugenics.....	"
eugenist.....	104
European plan.....	105
euthenics.....	"
euthenist.....	"
exlibris.....	"
expansionist.....	"
expressman.....	106
extension ladder.....	"
F	
facia.....	106
fadeaway.....	"
fair copy.....	"
fan, v.....	107
fan, n.....	"
fandom.....	"

	Page
feather-weight.....	107
featherweight.....	"
feminism.....	"
feminist.....	108
ferry-railroad.....	109
Filipina.....	"
Filipino.....	"
fin.....	"
finger-print.....	"
fire-alarm telegraph.....	110
fire-boat.....	"
first-aid.....	"
flannelette.....	111
flapper.....	"
flapping flight.....	"
flat race.....	"
flier }.....	"
flyer }.....	"
fimsy.....	112
fluoroscope.....	"
flying boat.....	"
flying-machine.....	113
flying stand.....	"
flying week.....	"
follow-up letter.....	"
fool-proof.....	114
football ear.....	"
free-fooder.....	"
freewheel.....	"
frog's leg receiver.....	"

	Page
fungo	115
fuselage }	116
fuselage }	
Futurism	"
futurist	117
G	
garage	117
garden city	"
garden suburb.	118
gas-log	119
gas-mantel	"
gasoline	"
gasoline brougham	120
gasoline coupé	"
gas-trap	"
gathering-ground	"
geezer	121
gelignite	"
General Post	"
generating-station	"
genetics	"
geometrism	"
gink	122
Girl Guide	"
glaby glide	"
glide	"
glider	123
gliding	"
gliding angle	"

	Page
gramophone	123
grand stand, n.	"
grand-stand, adj.	124
granulize	"
greenroom	"
gridiron	"
grizzly bear	"
groove	125
guano	"
guarantee company	"
gun-running	"
guy	"
gyroscar	126
gyroscope car	"
H	
hammer smith	126
hangar	"
hangarman	127
hansardize	"
harem skirt	"
head-liner	"
head resistance	"
helicopter	128
hobble-skirt	"
holding company	"
homer	"
honor system	"
hoodoo, v.	"
hoodoo, n.	129

	Page
hood tent	129
hook	130
hook slide	"
hornless phonograph	"
hunger-strike	"
hurry-up wagon	131
hydro-aeroplane	"
hydrophone	"
hydroplane	"
hydroplane motor-boat	132
I	
iceberg-alarm	132
ice-clothes	"
ice-locomotive	"
ice patrol	133
Imperial Federation	"
industrial railway	"
interlocking system	"
International Aeronautical Federa- tion	134
inter-phone	"
Irish mail	"
J	
Japanomania	134
Japanophobia	135
jinx	"
jump	"
juvenile-adult	"

	Page
K	
kerite	135
kinemacolor	136
kineto-camera	"
kinetogram	"
kinetophone	"
kinetophonograph	137
kite camera	"
kleptograph	"
kleptoscope	"
knock-out drops	"
knuckle ball	"
krypton	138
kymograph	"
L	
L	138
lacrimation }	"
lachrymation }	"
lactobacilline	139
lamp	"
landaulet	"
land-plane	"
landscape-gardener	140
landscape-gardening	"
landscape-architect	"
language-phone	"
Larkinism	"
latch-key voter	141

	Page
lattice tower	141
lead	"
leprology	"
letter-book	142
letter-card	"
letter-case	"
letter-drop	"
lettergram	"
life-line gun	"
life-net	"
limousine	"
liner	143
linotype	"
live-rail	"
locomobile	"
loganberry	"
loop the loop	144
loud-speaking telephone	145
M	
maffick	145
mafficking	146
mafficker	"
magazine camera	"
mail-contractor	147
mail-order	"
mail-order business	"
mail-order house	"
Marathon-race	"
marconi	148

	Page
marconigram	148
marconigraph	"
marconigraphy	"
marconism	149
marconist	"
masochism	"
mayonnaise	"
meat hand	"
"Merry Widow" hat	"
microtelephone	150
middle rail	"
militant campaign	"
miniature car	"
mixed automobile	151
mobile	"
mobus	"
mocar	"
monolithic concrete house	"
monoplane	152
monoplanist	153
monorail	"
monorail railroad	"
monotype	153
morris chair	154
morse finger	"
mothers' day	"
motion-picture	155
motocycle	"
motor	"
motor-bicycle	156

	Page
motor-boat	156
motor-boot	”
motor-bus	”
motor-cab	”
motor-car.....	157
motor-coach	”
motor-chair	”
motor-cycle, n.	”
motor-cycle, v.	158
motocyclist	”
motordrome	”
motor fire-boat	”
motorist	”
motor life-boat.....	”
motor-man	”
motor sledge	159
motor-spirit	”
motor train.....	”
motor-truck	160
Motor Volunteer Corps	”
motor-wagon	”
motor-wheel	”
mound	”
mound artist.....	161
mound work	”
mourning-border.....	”
mousse	”
movie	”
moving picture.....	”
moving platform.....	162

	Page
moving stairway	162
moving staircase	”
multiplane	”
multiple shop	”
mu'tiple-unit system.....	163
multiple-unit train	”
musical comedy	”
n utograph.....	”
mutoscope	164
muzzle energy	”
N	
nacelle	164
National Progressive Party	165
naval holiday	”
Neapolitan ice	”
Neapolitan ice-cream }	”
negative eugenics	”
neo-Malthusian	166
neo-Mendelism.....	”
neon	”
neo-salvarsan	”
new woman	”
night letter	167
nine.....	”
Nobel prizes	”
O	
observation-car	167
office-building	168

	Page
on deck	168
open race	"
ornithopter	"
orthogonal	169
orthopter	"
osteopathy	"
oxacetylene	"
oxyphor	170
P	
pacifist }	170
pacifcist }	
Pan-American	"
Pan-American Congress	"
Pan-Americanism	"
Pan-American Union	171
panoramic camera }	"
pantascopic camera }	
parlor-skate	"
pass	"
passenger flight	"
Pasteurize	"
patrol-wagon	172
pay-as-you-enter	"
paying guest	"
pebble hunter	"
pedrail	173
peg	"
periscope	"
Petrograd	174

	Page
petrol	174
petrol-engine	"
phone	"
phonophote	175
photo play	"
phototelegraphy	"
pianola	"
pianotype	"
picture palace	"
pilot	"
pilot balloon	176
pinch hitter	"
pitchout	"
plane	"
ploughing the sands	177
pneumatic dispatc 1	"
pneumatophore	"
pogrom	"
pogromist	"
police-trap	"
polygyny	178
polyplane	"
pontoon	"
post-bellum	179
post-boat	"
postimpressionism	"
postimpressionist	180
poured concrete house	"
press-agent	181
press-box	"

	Page
press-clipping }	181
press-cutting }	
press-clipping bureau	"
primitivism	"
primitivolatry	182
prohibition state	"
promenade-deck	"
pterygoid	"
pulmotor	"
push-button	"
push-chair	183
pylon	"
Q	
quadriplane	183
quartoplane	"
quintuplet	"
R	
race-cup	183
race suicide	184
radiator	"
radi-goniometer	185
radiogram	"
radiotelegram	"
radiotelephone	"
radium	"
radiumtherapy	186
railage	"
rail motor	"

	Page
railophone	187
railway auto-car	"
railway spine	"
rathskeller	"
regie	188
reliability trial	"
rigid airship	"
ring hockey	"
road-hog	189
road-locomotive	"
road-skate	189
Roentgenism	"
Roentgenise	"
Roentgenogram	"
Roentgenography	"
Roentgenology	190
Roentgenoscopy	"
Roentgenotherapy	"
Roentgen rays	"
roller-skate	"
roller-skater	"
root	"
rooter	191
roof-garden	"
rubberoid	"
runabout	"
runabout motor-boat	"
runner-up	"

S

	Page
sabotage.....	192
sadism.....	"
sadist.....	"
safe-alarm.....	193
safe-deposit.....	"
safety-car.....	"
safety-fund system.....	"
safety-ink.....	"
safety-pape.....	"
safety-tank.....	"
safety-tint.....	194
safety tread tire.....	"
salvarsan.....	"
saratoga.....	"
savageopathy.....	"
sciagraphy.....	195
scientific alphabet.....	"
scientific management.....	"
Scientist.....	"
scout.....	196
scout cruiser.....	"
scrub.....	"
sea-floater.....	"
sea-plane.....	"
Sea Scouts.....	197
Sedwick plan.....	198
semantics.....	"
semasiology.....	"

	Page
September morn picture.....	198
serendipity.....	199
shelter-deck.....	"
shut out.....	199
sidecar.....	"
sight-seeing car.....	200
signagraph.....	"
single.....	"
single tax.....	201
single-taxer.....	"
single-tracker.....	"
skiagram.....	"
skiagraph.....	"
skiagrapher.....	202
skiagraphy.....	"
slab.....	"
rubber.....	"
slabster.....	"
slate-club.....	"
sleeping-bag.....	"
sleeping sickness.....	"
slider.....	203
slit-skirt.....	"
small holding.....	"
small-holder.....	"
smash-up.....	"
smoke-helmet.....	204
soaring-flight.....	"
soda-fountain.....	"
S.O.S.....	"

	Page
southpaw	204
space telegraph.....	205
spark telegraph.....	,,
speaking-trumpet.....	,,
speciation	,,
speed-limit.....	,,
speedometer.....	206
speed indicator.....	,,
speedway.....	,,
spirit photograph.....	,,
spitball	,,
spitter	,,
split infinitive.....	,,
cleft infinitive	,,
sporting chance	,,
stabilizer.....	207
starting-rail.....	,,
state socialism.....	,,
steel concrete	,,
stepped monoplane.....	,,
stovaine.....	208
strap-hanger	,,
strike-breaker	,,
stunt	,,
subconscious.....	,,
subconsciousness.....	209
subliminal.....	,,
subliminal self	,,
submarine depot ship	,,
submarine gun.....	,,

	Page
submarine tender.....	209
submergible.....	210
submersible.....	,,
subway.....	,,
suffragette	,,
suffragettism	,,
suffragist	,,
super-dreadnought	211
super-dreadnought cruiser.....	,,
superman	,,
supertax	212
surface-car.....	,,
sustaining surface.....	,,
syndicalism	,,
syndicalist.....	213
T	
tabloid	214
tail plane	215
Tammany	,,
tango.....	216
tango supper.....	217
tango tea	,,
taxameter.....	,,
taxi, n.	,,
taxi, v.....	,,
taxicab	218
taxicoach	,,
taximeter	,,
telautogram	,,

	Page
telautograph	219
telegony	"
telegraphone	"
telegraphophone	"
telpher	"
telpherage	"
telephone-harp	220
telephote	"
telephotograph	"
telephotography	"
teleradiophone	"
telescriptor	220
telewriter	221
test case	"
Texas leaguer	"
thermophone	"
third rail	"
three-bagger	"
three-high rolls	222
thriller	"
ticker	"
tide-predictor	"
tonneau	"
touring-car	223
tower wagon	"
traction-engine	"
tractor biplane	"
tractor propeller	"
trail-rope	224
guide-rope	"

	Page
train control	224
train controller	"
triplane	"
triple	"
Triple Alliance	225
triple monoplane	"
trolley-car	"
trunk-call	"
tube	"
two-bagger	"
two nines	226
twopenny tube	"
Two-Power Standard	"
type-setting machine	"
typist	"
typewriting telegraph	227
U	
ultra-violet ray	227
unicycle	"
uniflow	228
V	
vacuum cap	228
vacuum cleaner	229
vacuum lock	"
veronal	"
vitagraph	"
vitascope	"
volplane	"

W

	Page
war-plane	230
watch-camera	"
water-chute	"
water-cycle	"
waterplane	231
wave telegraphy	"
whaleback	"
White Hand	232
white plague	"
white slave	"
white slavery	"
white-wings	233
wireless	"
wireless cabin	"
wireless mast	234
wireless station	"
work-shy	"
wrecking-car	"
wrecking-crew	"

X

xenon	235
-------------	-----

Y

Yale lock	235
yeggman	"
yellow peril	"
yellow press	236

Z

	Page
Zeppelin	236

追 加

addressograph	239
aerial post	"
aerology	"
aeroshed	"
air guard	"
air trial	"
altiscope	"
antiskid chain	240
argon	"
art nouveau	"
autobi	"
balloon post	"
benzol	"
Brennan monorail	"
business phonograph	"
correspondence card	241
cat and mouse act	"
caviblen	241
centrifugal railway	"
chemotherapy	"
Christian socialism	"
composing-machine	242
desk-phonograph	"
double monoplane	"

	Page
dreadnought cruiser.....	"
drift	"
Empire Day	"
envelop	"
Fabian Society	"
F-ray	243
housecraft	"
Industrial Workers of the World...	"
kinoplastikon	"
metapsychosis	"
mind-cure	"
mind-reading	"
muscle-reading.....	"
N-rays	244
phoneidoscope	"
pre-dreadnought.....	"
psychosis	"
radiotone	"
roneophone	"
spade-work.....	"
stock-indicator.....	"
vaccine-therapy	"
white paper	245

NEW
ENGLISH WORDS
AND
CURRENT PHRASES

A

acouphone (â-kōō'fōn) (アクーホーン), 「名」傳音器。—Akouo (to hear) と云ふ希臘語より來れる acou (聽く) と云ふ冠頭詞を phone (音, 聲音) に結び附けた字。距離を経て、發せる小さき音を受けて宛も蓄音器の如く音響を復出し且つ其の音聲を強大して聽き易からしむる機械なり。(microtelephone 參照)

adding-machine (äd'ing=ma-shēn') (アデングマシーン), 「名」加算器。計算器。—加算の作用を成す即ち add up (決算する, 上げる) machine (機械) なり。(comptograph 參照)

Ex. It will not take ten minutes to add up all these figures on the balance-sheets on my adding-machine, which can be operated faster than any typewriter. (貸借對照表の數字を皆加へるのは私の計算器でやれば十分間もかかりません。其の機械はどんなタイプライターよりも早く働かず「操縦する」事が出来ます)。

addressing-machine (â-dres'ing=ma-shēn') (アドレッシングマシーン), 「名」宛名印寫器。—Address-

ing (宛名を書く)と machine (器械)とを結び付けし字。雑誌の帯封, 書信の封筒, 葉書等に宛名を印刷する器械にて普通電氣にて運轉しスリコミ形 (stencil) を用ひて金屬の活字或は凸形文字にて印刷するものなり。

Ex. The *addressing-machine* can be used not only for addressing envelopes and cards but also for filling names in on bills. (宛名印寫器は封筒, 葉書の宛名を書くのみならず又姓名を計算書に書き入れるにも用ひ得)。

adjusting surface (a-jūst'ing sūr'fās) (アジヤステング サ〜フェース), 「名」平衡調和(整調)翼面。— Adjusting (調整する)と surface (面)とを合せし字。飛行機の兩翼の外端にて機の左右の平衡を保たしむる動作を成す部分を云ふ。普通操縦者が自在に運轉せざる翼の部分なり。

aer- (ā'ēr) (エーエ〜)
aeri- (ā'ēr-i) (エーエ〜リイ) } — 希臘語 aēr (空氣)
aero- (ā'ēr-o) (エーエ〜ロ)

より來りし冠頭詞にして空氣或は瓦斯に關する意を有し其の状態, 運動, 使用等を表はす。航空の發達飛行機の進歩等に伴ひ此等の字は益々使用さるゝに至れり。此等の冠頭詞と結合せる字は以下各其の字に就き見るべし。

aerial (ā-ēr'i-āl) (エイイーリアル), 「形」空氣の, 空氣に關する, 空中にて行はる。— Aeri-(息)と云ふ希臘語より轉化し空氣の意味に用ゐらるゝ字と形容詞の接尾語 -al とを結び付けし字。航空の發達に従ひ飛行或は空中に行はるゝものに関し廣く用ゐらるゝ様に成れり。此の意味に於て此の字は新らしき字なり。此の字と連結せる字は以下各其の字に就き説明せり。

aerial (ā-ēr'i-āl) (エイイーリアル), 「名」無線電信

發受電線, 空中線。— Aerial wire を短略して單に aerial としたるもの。即ち形容詞を名詞として用ゐたるなり。an aerial collecting wire (無線電信集中線)の意にして無線電信所の側に垂直又は水平に設立し地中に埋没せる金屬板に連続せる線なり。發信の電波を起し又受信の電波を集中する働を成す装置なり。antenna 或は radiator と稱す。(antenna 参照)

Ex. A wire or rod, the bottom end of which is connected to a plate or metal sunk in the earth, is called an antenna or aerial (wire). (下端を地中に埋没せる金屬板に連結せる電線或は竿をアンテナ或はエイイーリアルと稱す)。

Ex. To operate a wireless station with any degree of efficiency, the *aerials* must be at least 75 ft. above the instruments. So, the *aerial wires* were strung between the church spires. (無線電信所の作業を多少たりとも有效たらしむるには無線電信用空中線を電信機の上方少なくとも七十五呎の高所にあらしめねばならぬ。そこで空中線を教會の塔と塔の間に張つた)。

aerial car (ā-ēr'i-āl kār) (エイイーリアル カー), 「名」風船(飛行船)吊籃, 風船附屬車。— Aerial (飛行の)と car (車)とを合せし字。物を搭載し又は人の乗る風船の吊籃を云ふ。單に car と稱す。又車輪附きの乗物にて鐵道の上或は鐵線に吊られ風船の助けを以つて進行する car をも斯く云ふ。

Ex. Our infantry company fired a volley at the hostile balloon, and the *aerial car* shot straight down to the earth. (吾が歩兵中隊は敵の風船に向つて一齊射撃をなした。そして風船

の吊籃は地上へ急轉落下した)。

“Aerial Derby” (ā-ē-rī-əl dēr’bī) (エイアーリアル
ル ダア〜ビ), 「名」飛行大競争。—Derby は毎年英國
の Epsom に於て行はるゝ大競馬會なり。それより轉
化して一大競馬の意の一種の普通名詞として用ゐらる
るに至れり。之れに aerial (飛行の) を附し飛行大競
争の意に用ふ。Derby は dār’by (ダ〜ビ) と發音せ
らるゝが常なれど又正則に dēr’bī と發音する傾向有る
が如し。

Ex. Public interest in flying is greatly on
the increase, as is indicated by the thousands
who visited the Hendon aerodrome to wit-
ness races and other displays. “The Aerial
Derby” flown from Hendon over a 95-mile
course round Greater London, was witnessed
by nearly 1,000,000 people, who thronged
the aerodrome and the turning points en
route. (一般の飛行趣味は大に増進しつゝある事は
ヘンドン飛行場へ飛行競争及び其の他の晴業を見物せ
んと幾千の人の集集せしにて知る事を得べし。「空
中大競争」はヘンドンより始まり九十五哩の行程にて
ロンドン全市の廻りを飛んだ。殆んど一百万人の群集
は飛行場に集集し又は行進途上の轉向點「曲り角」にて
競争を見物した)。

aerial ladder (ā-ē-rī-əl lād’ēr) (エイアーリアル
ラダ〜), 「名」延長梯子, 消防用伸張梯子。—Aerial (空
中の) と ladder (梯子) とを合せし字。延長梯子の一種
にして通常荷物車或は器具運搬車に据ゑ附け置きて必
要の場所に運び出して使用する梯子なり。此の梯子は
消防用に使用さるゝを常とす。

Ex. The eighth floor was now completely
involved in flames, where two girls were left
asleep. There was no way of saving them,
until a motor truck arrived with an aerial
ladder, which could just reach to the window.
(第八階は今や全く火焰の包む所となつた。其所には
二人の娘が眠つたまま取り残されて居た。自動荷物車
が消防用伸張梯子を持って來る迄彼等を救ふ道は全く
無かつた。その梯子は丁度窓に届く事が出來た)。

aerial navigation (ā-ē-rī-əl nav’i-gā’shqn) (エイ
アーリアル ナヴィゲーション), 「名」空中航行, 航空。
—Aerial (空中の) と navigation (航行) とを合せし字
にて aeronautics と同意。

Ex. The growth of cross country and sea
flying, particularly between the Continent
and London, has drawn attention to inter-
national problems; and in England, above
points of strategic importance, aerial naviga-
tion is prohibited. (原野横斷飛行及び海上飛行
特に歐洲大陸とロンドンとの間の飛行の頻繁となりし
事は國際問題に注意を促がすに至れり。そして英國に
於ては戰略上重要な地點上の飛行は禁止され居れ
り)。

aerial-railroad (ā-ē-rī-əl=rāl’rōd’)
(エイアーリアル レールロード) } 「名」輕氣
aerial-railway (ā-ē-rī-əl=rāl’wā’)
(エイアーリアル レールウエー)

球指導線, 架空鐵道, 索道。—Aerial (空中の) と railroad
(railway) 「鐵道」 とを結合せし字。第一義は輕氣球を
導く爲め鐵線を張りたるもの。第二義は吊籃を吊す線

張りにて鑛石を引き揚ぐるに用ふるもの。又誤稱としては索道 (ropeway) の意に用ゐらる。此の用法最も多きが如し。

Ex. The two mining camps were connected with each other by an *aerial railway* over the great ravine. Six cars were transported continually by the wires. (兩地の鑛夫宿泊所は大谷を隔て、索道に依つて連絡され居り。六個の吊籃は絶えず其線を往來した)。

aerial telegraphy (ā-ēr-ēl tē-leg-rā-fi) (エイイーリアル テレグラフィ), 「名」無線電信(術)。—Aerial (空中の) と telegraphy (電信術) とを合せし字。wireless telegraphy と同義なれば wireless を見よ。

Ex. *Aerial telegraphy* has enabled us to fling our messages across storm-tossed oceans without the aid of inter-connecting wires and provided ships with a far-reaching voice with which to call for help in the hour of need. (無線電信は吾人に中繼電線の助を藉る事なしに風波山なす大洋を横断して通信を送る事を得せしめた。そして船舶には遠方に達する聲音を授與し以つて火急の際に救助を求むる事を得せしめた)。

aerial vehicle (ā-ēr-ēl vā-ī-kl [vā-hī-kl]) (エイイーリアル ヴィーイクル「ヴィーヒクル」), 「名」飛行(航空)機類。—Aerial (空中の) と vehicle (車) とを合せし字。vehicle は一般の運搬機即ち車の事なり従つて aerial vehicle は總ての航空機に適用し得。

Ex. Germany, devoting millions to long-range airships and other *aerial vehicles* and costly sheds, is concentrating upon the North

Sea, of which she seeks aerial command. (獨逸は長形飛行船及び其他の航空機及び高價の格納庫に幾百萬の費を投じて北海に勢力を集中して居るを以て北海の空中權を得んことを努めて居る)。

aerial wire (ā-ēr-ēl wīr) (エイイーリアル ワイア), 「名」無線電信發受線, 空中線。—Aerial (空中の) と wire (電線) とを合せし語 aerial 及び antenna と同意。(各其の項を見よ)

aero (ā-ēr-o) (エーエーロ)。—Aeronautics の略字。冠頭詞として使用する場合に就きては aer- の項参照。

aerobioscope (ā-ēr-ō-bī-o-skōp) (エイエーロバイオスコープ), 「名」空中微生物検査器。—Aero (空中の) と bio (生命, 存命) と scope (観察器) を結び合せし字。一定の分量の空氣中より微生物を集合培養して其の存在の數及び形態を検する機械なり。

aero-bus (ā-ēr-ō-būs) (エーエーロバス), 「名」乗合飛行機。—bus (omnibus から omni を省いて bus だけにしたる字, 乗合馬車) と云ふ字に aero を結び附けて作つた字である。是れは bus 即ち乗合馬車的の働を爲す飛行機である。(auto-bus; mobus 参照)

Ex. In a few years we shall be able to take a trip to London in an *aero-bus*. (數年後にはロンドンへ乗合飛行機で行けるでせう)。

aeroclinoscope (ā-ēr-ō-klī-no-skōp) (エイエーロクライノスコープ), 「名」風力氣象計。—Aero (空氣の) と clinoscope (測斜器) とを合せし字。直立の管筒に裝置せる一個或は二個以上の符標の方向轉廻及び上下の移動に依りて風の方向及び氣壓力を計る機械。aeroclinoscope と綴る。

aero-club (ā-ēr-ō-klüb) (エーエーロクラブ),

「名」飛行倶楽部。一冠頭詞 Aero (空中の) と club (倶楽部) とを合せし字。飛行奨励の目的にて組織せる倶楽部。

Ex. I am looking forward to the time when our popular aviators organize an *aero-club* with a view to assisting the army in the time of war. (僕は民間飛行家が戦時に陸軍を助ける目的を以つて飛行倶楽部を組織する時の來らん事を鶴首して待つて居る)。

Ex. The Royal Aero Club consists of a body of gentlemen who are interested in aviation, and who have elected from among their number a council, committees, and stewards. The principal function of the R.A.C. is the granting of certificates of qualification to aviators and the control of aerial races. (ローヤル飛行倶楽部は飛行に興味を持つ紳士達より成る。そして其の人々は會員中より評議員、委員及び會計役を選擧せり。ローヤル飛行倶楽部の主たる天職(本分、職掌、任務)は飛行家に資格證明(飛行家たる)免許狀を授與し且つ飛行競争舉行の取締を爲すに在り)。

aerocondenser (ā'ēr-ō-kōn-dēns'ēr) (エィエ〜ロコンデンスア〜), 「名」空氣觸面凝縮機。—Aero (空氣の) に condenser (凝縮器) を結合せし字。管に空氣を流通せしめ置き蒸氣を其管に導きて液體に凝縮せしむる装置にて普通自動車の發動機に設置するものなり。

aerocurve (ā'ēr-ō-kūrv) (エィエ〜ロクヴァーヴ), 「名」弓張形飛行機、彎曲翼面。—Aero- (飛行の) と curve (弧狀) とを結合せし字。一種の飛行機にて前方より後

方に稍々弓狀に彎曲せるものなり。此れより轉義して飛行機の翼面の弓狀なるものを斯く云ふ。

aerodrome (ā'ēr-ō-drōm) (エィエ〜ロドローム), 「名」飛行場、飛揚所、飛行機留置場、飛行機。—Aero (空中の) に drome (競走場) とを合せし字にて hippodrome (競馬場) に倣ひ(但し analogy を混亂せり) て作りし字。aerodrome は元來飛行機の意なり。(例文の一として次に引用したる電話發明者 Alexander Graham Bell 氏の Standard 辭典編輯部へ送れる書簡にも述べあるが如し)。然し近來は漸次飛行場の意に多く用ゐらるる傾向あるが如し。第一に飛行場の意。第二に飛行機を留置し又は試験を行ふ處。第三に飛行機の意に用ふるを現今の習慣とす。

Ex. Salisbury Plain is also used as an *aerodrome*, without the necessity of enclosing it. (サールズベアリの平原も亦柵を繞らず必要も無く飛行場として使用される)。

Ex. Lieutenant Shigematsu met with a fatal accident when he was steering for a landing at the Tokorozawa *aerodrome*. (重松中尉は所澤飛行場へ上陸せんと操舵中椿事に遭ひて死せり)。

Ex. In order to avoid the awkwardness of using the word in three distinct meanings I shall speak of 'aerodrome-track' (or 'aerodrome park') for the place where aerodromes are exhibited and raced; and 'aerodrome-shed' (analogous to balloon-shed) for the building in which they are housed. It would be unfortunate, I think, to use in this

connection the word *aerodrome* alone, as it has already an established meaning in the sense of the machine. (此の字を三様の異なる意味に使用する事の拙劣を避ける爲め私は飛行機即ち aerodrome が展覽され或は競争する場所を「飛行機競技場(又は飛行公園)」と呼び申すべく。そして飛行機(aerodrome)を納める建物を(氣球格納庫に類似せしめて)「飛行機格納庫」と稱すべく候。aerodrome には既に飛行の機械と云ふ確定せる意味之れ有り候へば此の字一字を以て以上の如き意味に使用するは好ましからずと存候) Alexander Graham Bell *Letter to Standard Dictionary*.

aerofoil (ā'ēr-ō-foil) (エーエ〜ロフォイル), 「名」飛揚翼面。—Aero- と foil (薄片) とを結合せし字。飛行機の飛揚翼の何れにも適用し得。

aerogram (ā'ēr-ō-gram) (エーエ〜ログラム), 「名」無線電報, 空中信。—Aero (空中の) と gram (文字) とを結び附けし字。aero は「空氣の」「空中の」と云ふ接頭詞なり従つて aerogram は空中信即ち無線電報の意となる。版權登録となれる字なり。(wireless telegram 参照)

Ex. If anything happens after the ship has sailed, you will send me an aerogram. (若し船の出帆後何か事件が起れば無線電報を打つて下さい)。

aerograph (ā'ēr-ō-gráf) (エーエ〜ログラフ), 「動」無線電報を打つ, 空中信を發す。—Aero (空中の) と graph (書く) とを結合せし字。

Ex. The fall of Tsingtau was aerographed at once to the German men-of-war cruising near Formosa. (青島の陥落は直ちに臺灣近海を巡洋中の獨逸軍艦に無線電信を以て傳へられた)。

aerograph (ā'ēr-ō-gráf) (エーエ〜ログラフ), 「名」無線電信機, 無線電信。一名詞としては無線電信機と無線電信を送る術との二種の意味有り。

Ex. Every one of those torpedo-boats is equipped with an *aerograph*. The communication among them by *aerograph* is undoubtedly maintained at present. (其等の水雷艇は悉く無線電信機の設備を有せり。各艇間の通信は目下疑も無く其の無線電信に依りて連絡され居る)。

aeroist (ā-ēr-ō-ist) (エイエ〜ロイスト), 「名」飛行家, 航空専門家。—Aero- (空氣の) と -ist (……する者) とを結び合せし字。航空術に上達せる人或は航空學専門家を云ふ。

Ex. An *aeroist* of full qualification should be well acquainted with the “tricks” of all machines he is to operate, no less than with the treacherous moods, so to speak, of the air. (充分の資格有る航空家は自ら運轉する總ての飛行機の所謂クセを能く知り又其れと同様に當にし難き氣流の氣マグレとも云ふべきものを充分に會得せざるべからず)。

aeromotor (ā'ēr-ō-mō'tor) (エーエ〜ロモータ), 「名」飛行機用發動機, 輕量發動機。—Aero- (空中の) と motor (發動機) とを結合せし字。飛行機に設備する發動機及び飛行機用發動機の如く輕量の發動機を云ふ。

Ex. The aeroplane motor or *aeromotor* is really the motor-car engine made of very small weight to adopt it to aeroplane work. (飛行機用發動機即ち aeromotor は實は飛行動作に適する様

に頗る輕量に作られた自動車用發動機に外ならぬ)。

aeronaut (ā'ēr-ō-nāt) (エーエ〜ロノート), 「名」輕氣球家, 風船乗, 航空家, 飛行家。—Aero- (空中の) と希臘語より來りし naut (水夫) とを結合せし字。aeronaut と aviator は混用し得ざるには有らぬと元來は aeronaut は “lighter than air” machine 即ち輕氣球に乗る人を云ひ。aviator は “heavier than air” machine 即ち飛行機に乗る人を稱す。されば此の字の第一の意義は輕氣球家にして第二の意義が飛行家なるを普通とす。(aviator; aeroplanist; balloonist 参照)

Ex. The whole town went out to the field to see the aeronaut make the daring jump in the air with a parachute from the balloon drifting at a height of 2,000 feet, and come floating down to the earth. (輕氣球家が地上二千呎の高さに浮遊する輕氣球から落下傘を以つて大膽にも地上に向つて飛びフワフワと下りて来るのを見んとて町の人々は全部野外に出た)。

aeronautic (ā'ēr-ō-nō'tik) (エイエ〜ロノータイク) } 「形」飛行の, 航空
aeronautical (ā'ēr-ō-nō'ti-kāl) (エイエ〜ロノータイカル)

學上の。—Aeronautics の形容詞形。(aeronautics 参照)

Ex. The currents of air are today a question of as much physical as aeronautic importance. (今日の氣流は物理學上竝に航空學上重要な一問題である)。

aeronautics (ā'ēr-ō-nā'tīks) (エイエ〜ロノータイクス) 航空, 航空學, 飛行(航空)術。—Aero (空中の) と nautics (航海術) とを結合せし字。nautics は nautic に s を附し名詞とせしものなり。航空に関する總ての學問

或は技術を總稱する言葉なり。又時としては輕氣球にて航空する事の意にも用ふ。(aeronaut; aviation 参照)

Ex. Captain Tokugawa will probably devote himself to aeronautics through his life. (徳川大尉は多分一生航空術を専攻するだらう)。

Ex. Contemporary popular interest in the science of aeronautics dates from 1898, when Santos-Dumont, the wealthy young Brazilian, performed his spectacular feats. (今日の航空學上に於ける一般の趣味は一八九八年にブラジルの青年富豪アント デュモン氏が目醒ましき奇業を爲せし時より生まれり)。

aeronautism (ā'ēr-ō-nāt-izm) (エーエ〜ロノータイズム), 「名」航空, 輕氣球航空, 輕氣球運動。—Aeronautic (航空の) に ism (……する事) を結合せし字。飛行する事。或は輕氣球にて航空する事の意なり。(aeronaut 参照)

aeronef (ā'ēr-ō-nēf), (エーエ〜ロネッフ), 「名」飛行機(總稱)。—Aero (空中の) と佛語より來りし nef (船) とを結合せし字。輕氣球即ち lighter-than-air machine と區別して發動機のみに依りて進行する航空機即ち heavier-than-air machine の總括的名稱なり。

Ex. The term aeronef has been recommended by the fourth International Congress to designate all aerial craft driven by motors as distinct from the inert ordinary spherical balloon.... aeronef is no new word. It was used in Jules Verne's "The Clipper of the Clouds," and.... years before Jules Verne.

(aeronef は第四回萬國會議に於て發動機によりて行進する、總ての航空機を普通の不動圓形輕氣球より區別する爲めに推選されし言葉なり。aeronef は新らしき字に非らず。ジュールスヴァーンの「雲の快船」中に用ゐられ又……ジュールスヴァーンより多年前にも用ゐられたり)。C. Turner *Aeronautics in Journal of Royal Society of Arts.*

aerophone (ā'ēr-ō-fōn) (エーエ〜ロフオーン), 「名」高聲器, 聽聞器(聾者用), 無線電話。—Aero(空中の)と phone(音)とを合せし字。第一義は音聲の明確を損する事無く音波を大ならしめ聽取し易からしむる機械なり。器中の隔壁を音波にて振動せしめ受音器中の壓搾空氣の振動に依り音波を更に擴大傳音する装置の機械なり。第二義は聾者用の高聲器にて三個の號角(ラツパ)より成り内二個は聞く人の兩耳に入れ他の號角より話すものなり。第三義は無線電話。(wireless telephone. 參照)

Ex. The *aerophone* worked so effectively that even a deaf man could hear distinctly what the politician was speaking fifty-yards away in an ordinary tone of voice. (高聲器が甚だ有効に働いて居たから聾者ですら政客が五十碼も離れた所で普通の音調で演説して居るのを明瞭に聽き取る事が出来た)。

aeroplane (ā'ēr-ō-plān) (エーエ〜ロプレーン), 「名」飛行機。—Aero(空中の)と plane(流浪者)とを結合せし字。飛行機用新語の續出するに及び plane を接尾詞として使用する事多く又 plane の意味を誤解するものも多きが如し。plane の項の説明を見よ。aeroplane は drifting (spherical) balloon(氣球)及び dirigible balloon(飛行船)のニツと區別して飛行機即ち

heavier-than-air machine に附せる總稱的名稱なり。第二義としては平面なる飛揚翼を有する飛行機を意味す。第三義としては秤氣術の實驗に使用する小平面。但し第一義の使用を最も普通とする事勿論なり。(plane; land-plane; water-plane 參照)

Ex. In my opinion the future of the *aeroplane* will be difficult to limit. Commencing with a flying speed of 30 miles an hour, speeds of 80 and 90 miles an hour have been reached; and commencing with a few minutes in the air at a time, aviators have remained in the air for several hours. I believe that a regular *aeroplane* service will be established between all the great cities of Europe, and between Europe and America, Europe and Asia, Asia and America. (私の考へでは飛行機の將來は制限豫測し難いと思ふ。一時間三十哩の飛行速力に始まりて一時間八十哩, 九十哩の速力に進んで居る。そして一回の空中飛揚時間は數分間に始まり今では飛行家は數時間空中に止まり得るに至つた。私は歐洲各大都會間, それから歐羅巴と亞米利加, 歐羅巴と亞細亞, 亞細亞と亞米利加の間に定期飛行交通が開かると思ふ)。

aeroplane motor (ā'ēr-ō-plān mō'tōr) (エーエ〜ロプレーンモーター), 「名」飛行機用發動機。—Aeroplane(飛行機)と motor(發動機)とを合せし字。飛行機に設備し得る様に作れる輕量なる發動機を云ふ。(aeromotor 參照)

Ex. Minute care in materials and construction gives *aeroplane motors* a reliability

which nearly equals, today, that of the engines in a car. (材料及び製作上に精密なる注意をすれば飛行機用發動機をして今日の自動車の機関「發動機」と比較して殆んど劣らざる程確實ならしめ得)。

aeroplanist (ā'ēr-ō-plān'ist) (エーエ〜ロブレイニスト), 「名」飛行家。—Aeroplane (飛行機) と -ist (...する人) とを合せし字。aviator と同意。 (aeronaut; aviator 参照)

Ex. The army has ordered all aeroplanists to be in readiness for any call to duty. (陸軍は各飛行家に対して如何なる召集にも應ぜらるゝ様用意すべしと命ぜり)。

aeroscope (ā'ēr-ō-skōp) (エーエ〜ロスコープ), 「名」空中活動寫眞撮影機。—Aero- (空中の) と scope (観察機) とを合せし字。telescope (望遠鏡) に類似した作り方の字なり。aeroscope は空中より微生物を採集する機械なり。更らに新らしき用法としては飛行機上より撮寫する活動寫眞機を云ふ。

Ex. A remarkable and daring feat occurred in connection with the recent visit of the king and queen of England to Paris, France, when a motion-picture operator seated in an aeroplane made a complete series of overhead views of the royal yacht as it made its way across the English Channel. The camera used was the *aeroscope*, which makes motion pictures without the necessity of turning a handle. (過般英國の皇帝及び皇后が佛國巴里訪問の時に興味ある且つ大膽な業「ワザ」がされた。其

の時活動寫眞技師は飛行機に乗つて上方から皇室用の快走船が英國海峽を横斷する全部連續の寫眞を撮つた。其れに使用した寫眞機は把手を廻轉する必要なしに活動寫眞を撮し得る空中活動寫眞撮影機である)。

aerostat (ā'ēr-ō-stāt) (エーエ〜ロスタット), 「名」飛行家, 輕氣球, 輕氣球手。—Aero- (空中の) と希臘語より轉化せし stat (立つ事) とを合せし字。元來は專ら輕氣球の意味に使用されしが現今にては往々 aviator 即ち飛行家の意に使用さる。此の點に於て新らしい字なり。

Ex. Improvised aerostats, with commendable courage, undertook a perilous task. (俄か出來の飛行家は推賞に値する勇氣を持つて危険なる仕事に乗り出した)。

aerostatic (ā'ēr-ō-stat'ic) (エーエ〜ロスタティック) } 「形」秤氣術の,
aerostatical (ā'ēr-ō-stat'ik-əl) (エーエ〜ロスタティカル)

氣體靜力學に關する, 空中飛行術の, 氣球運轉學の。—Aero- (空中の) と static (靜體の) とを合せし字。元來の意味は aerostatics (秤氣術) に關するの意なれど近來航空に關する即ち aeronautic と同義に使用さるる事往々有り。

aerostation (ā'ēr-ō-sta'shōn) (エーエ〜ロステーション), 「名」航空, 輕氣球運轉。—Aero- (空中の) と station (立つ事) とを合せし字。此の字其の者は新らしきと云ふには有らねど其の用法に新らしきもの有るが故に注意を要す。飛行機の發明以前に於ては空中を航行する事を表はせしが飛行機の發明以來 aviation (飛行) と區別して輕氣球の空中運動を表はすに用ふ。aviation と對照して記憶すべし。

Ex. Almost from time immemorial man has watched birds fly and has wondered how they accomplished the feat. The conception of *aerostation*, however, is of later origin. (殆んど太古の時代から人類は鳥類の飛ぶのを眺めて如何にして其の業を成すか不思議に思つて來たのだ。然し空中運動の思想の胚胎は其れより後に始まりしものなり)。

aero-steamengine (ā'ēr-ō = stēm'enjīn) (エーエーロ スチームエンジン), 「名」空氣汽關。—Aero (空氣の) と steamengine (汽機, 蒸汽機關) とを合せし字。高熱度或は壓搾空氣の動力にて運轉する機關。單に air-engine と稱す, aeromotor と混同すべからず。

aileron (ā'lē-rōn) (エーリロン), 「名」下垂辨翼 (飛行機の), 補助舵翼。—佛語にして aile (翼有る) の小なる (diminutive) ものなり。飛行機により aileron の形状は異なる。ライト式機にては上翼の外端に下垂し居り自由に動かし得る小翼なり。コーデイ式其の他のものにては上下翼の中間に其れと平行してある小翼で上下に動かし得。要するに飛行機の重心を取るに用ゐる一種の舵翼なり。

air-cooling (ār = kōōl'ing) (エーア クーリング), 「名」空氣冷却法, 空氣流通冷却の。—Air (空氣) と cooling (冷却す) とを合せし字。主として自動車或は飛行機の機關附隨の用語にて water-cooling (流水冷却) と區別對照せる字。water-cooling はシリンドルの外部を冷水を通せる蒸汽衣 (jacket) を以つて巻きシリンドルの熱を冷却する事にて air-cooling はシリンドルの外面を成るべく廣く外部の空氣に接觸せしめシリンドルを直接取り巻く jacket の水は絶えず radiator (冷熱器) に流れ出でしめ其れを空氣にて冷却し再びシリン

ドルの所に流して冷却せしむるなり。形容詞としては air-cooled を用ふ。(radiator 参照)

Ex. With a motor-cycle, what is known as "*air-cooling*" is employed. With water-cooling, a jacket is formed outside of the cylinder, and water is kept circulating through the jacket. In the motor-car engine, and in the aeroplane engine, there is not room for the large reservoir of water that can be employed with stationary engines; and a device has been arranged to use the water over and over again, by passing it through a cooling device, known as a radiator. (自動自轉車には空氣冷却法と稱せらるゝものを使用せり。流水冷却法にては蒸汽衣はシリンドルの外面を成し居り其の中に絶えず水を通はせるなり。自動車及び飛行機の汽關の場合は据置汽關の場合の如く大なる貯水器を備ふる程の餘地無き故に同じ水を繰り返して使用する考案が立てられたり。それは冷熱器と稱せらるゝ一種の冷却装置内に水を通ずる事に依りて爲さるゝなり)。

aircraft (ār'krāft') (エーアクラフト), 「名」航空學, 航空術, 飛行機, 輕氣球。—Air (空氣) と craft (熟練, 船) とを合せし字。craft の意義多方面なる丈此の字の應用例の種類多し。第一義は航空に関する研究或は術。第二義は飛行機。第三義は輕氣球。茲に注意を要するは craft を集合名詞的即ち vessels の意味に用ゐる時は craft と單數を以つて表はす如くに此の aircraft も單數にて使用さる。又此の字は往々飛行船又は飛行機の代用詞として使用さる。例へば同じ文中に於て

dirigible とか aeroplane とか云ふ字を反復して用ふる事(文の同一語重複に伴ふ單調子)を避くる爲めに此の字を代用するが如し。又斯の如き場合には單に craft のみにて代用せず事往々有り。

Ex. The limitations of the low-powered air-ship were revealed in the Army maneuvers in September, when two small *craft* employed for reconnaissance were clearly at the mercy of fast-flying aeroplanes. (弱力の飛行船の效力の制限され居る事は九月の陸軍演習に於て顯示された。其の際偵察に使用された二個の小飛行船は快速力の飛行機にヒドク壓倒されたのである)。

Ex. In the construction of war-planes the Royal Aircraft Factory at Farnborough has distinguished itself. (ファーンボローの王國航空機製造所は戦争用飛行機の製造に於て名聲を揚げた)。

Ex. For the Green engine — a water-cooled plant of six vertical cylinders, developing 100 h.p. — the attempt (water-plane race) was an arduous test, from which it emerged with credit, seeing that it drove the *aircraft*, containing pilot and mechanic and weighing 2,400 lbs., at a speed of 60 miles an hour. (グリーン式機關一流水冷却式直立シリンドル六個附き百馬力に取つては此の企て「水上飛行機競争」は困難にして危険なる試験で有つた。そして其の試験を首尾よく成し遂げたと云ふ事は。其れ「機關」が操縦者、機械技師を乗せて二千四百封度の重量のある

飛行機を一時間六十哩の速力で進行せしめたのを見て分る)。

air department (âr dê-pärt'mnt) (エアディパートメント), 「名」航空局(部)。— Air (空氣) と department (局, 省, 部) とを合せし字。未だ air department の名稱を多く聞かざるも英國の陸軍省には既に設けられたり。今後飛行の發達に伴ひ必ず盛に air department の設立を見ん。

Ex. Concerning the Army and aeronautics, affairs are less satisfactory. Despite the establishment of an *Air Department* at the War Office, the Royal Flying Corps remains below strength. (陸軍及び航空事業に關する事項は満足すべき情態にあらず。陸軍省には既に航空局の設立有るにも拘らず王國航空團は今尙其の勢力微々たるものである)。

air-dreadnought (âr = dréd'nôit) (エーアドレドノート), 「名」空中大飛行船, 強大飛行船, 弩級飛行船。— Air (空中) に dreadnought (弩級艦) とを結合せし字。海上の弩級艦を暗喩法的 (metaphorically) に飛行船に用ゐたるものにて強大有力に武装せる大飛行船を洒落て云ふたるなり。(dreadnought 参照)

Ex. A formidable fleet of twenty *air-dreadnoughts* was marshalled over the city, all in readiness to open hostilities. It was a sight that the people will not easily forget. (強大なる二十隻の弩級飛行艦隊が市の上空に集合したり。全部全く戦闘開始の準備整ひたり。其の光景たるや國民の記憶に永く留まらん)。

air-fleet (âr = flêt') (エーアフリート), 「名」飛行船隊, 航空機隊。— Air (空氣) と fleet (艦隊) とを合せ

し字。飛行船を airship と云ふ其の一種の暗喩法 (metaphor) を採りて作りたる新らしき字なり。飛行機或は飛行船の集合隊を air-fleet と云ふ事より squadron (分艦隊) も海軍同様に航空に關して用ゐらる。

Ex. From Heligoland, and others of its North Sea stations, the German *air-fleet* is now within flying distance of our north-east coast; and the fact that her rigid-type airships will raise 2,000 lbs. of explosives, in addition to the weight of machinery, fuel, and crew, exposes us to the menace of destructive raids. (ヘリゴランド及び他の北海根據地より獨逸の航空船隊は今や吾が東海岸への飛行距離内に居る。そして獨逸の剛裝式飛行船が機關、燃料及び乗組員の重量に加ふるに二千封度の爆發物を運び得ると云ふ事實は吾人を其の破壞的侵襲の危険の位地に置くものなり)。

air-lock (âr=lök') (エーアロック), 「名」密閉室 (潜航艇の)。—Air (空氣) と lock (閉鎖) とを結び附けし字。潜航艇の前方の一區域を密閉し外部の空氣の入りざる様にせる部分にして空氣の壓力の急激なる變化を防ぐ装置なり。

Ex. The worst mishap that can befall a submarine is to bury its nose in the side of a sand-drift and be held there. Such an accident might have been the end of our boat, though with our Fleuss cylinders and electric lamps we should have found no difficulty in getting out at the *air-lock* and in walking

ashore across the bed of the ocean. (潜航艇に起る最も惡しき椿事は砂瀬の中腹に其の尖端を埋没し其のまゝ自由を失ふに至る事である。其の様な災難でも有つたら夫れこそ吾々の潜航艇の最後で有つたのだ。よしやフリユース式シリンドルと電氣燈とを使用すれば密閉室から抜け出る事も大海の底を歩いて陸へ上る事も決して難事では無かつたらうけれども)。

air-mail (âr=mäl') (エーアメール), 「名」空中郵船, 郵便飛行機, 郵便物運搬用飛行船。—Air (空氣) と mail (郵船, 郵便物運搬) とを合せし字。

Ex. A City man of the future, after dictating the morning's letters in his London office, will take *air-mail* to Paris, arriving there for lunch. Making business calls in Paris during the afternoon, he will fly back to London in time to sign his letters in the evening, and return home as usual to dine. (未來の都會「ロンドン」の人は彼のロンドンの事務所朝の手紙を口授した後で郵便飛行機に乗つて巴里に行き午餐を食する事が出来るだらう。午後間に巴里で用向きの訪問をなして晩方の手紙の署名に間に合ふ様にロンドンへ飛び戻りそして常の如く家へ歸つて晩飯を食する事が出来る様になるだらう)。

airman (âr'män) (エーアマン), 「名」飛行家, 航空家。—Air (空氣) と man (人) とを合せし字。空中を飛ぶ人の意にて飛行機に乗る人を云ふ。輕氣球に乗る人にも用ふ。稍々洒落れたる字にして主として aviator, balloonist, aeronaut の如き字の反復を避くる爲めに代用する字。seaman (水夫) に對照して作りし字。(birdman 參照)

Ex. Alighting in front of the grandstands, the *airman* took off his hat to thank for deafening applause given him by all those present. (観覧臺の正前に著陸して其の飛行家は出席者全體より與へられた大喝采に謝禮する爲めに脱帽した)。

Ex. Nothing is more significant than the changed attitude of the *airman* towards the wind. He would not ascend, a year or so ago, unless conditions were completely favorable; but now he will fly in practically any wind. (風に對する飛行家の態度の變化程顯著なものはない一年か二年程以前には風模様全然良好で無ければ飛行しなかつた。然し今日では殆んど風の如何に拘らず飛行する)。

airmanship (âr'mân-shîp) (エーアマンシップ) 「名」航空術、飛行の知識、技術及び熟練。— Airman (飛行家) と -ship (職、身分、術) とを合せし字。seamanship (航海術の熟練「技術」) に對照して作りし字。

Ex. *Airmanship* requires courage and perseverance as well as wit. (飛行家たるには勇氣、忍耐及び機智を必要とす)。

air-motor (âr'=mô'tôr) (エーアモーター)、「名」壓縮空氣自動車。— Air (空氣) と motor (自動車) を合せし字。壓縮空氣を動力として進行する一種の自動車。

air-patrol (âr'=pâ-trôl') (エーアパトロール)、「名」空中偵察、飛行斥候隊、空中巡邏。— Air (空氣) と patrol (偵察、巡邏) とを合せし字。

Ex. The British Admiralty, convinced by maneuvers of the value of sea-planes, intends

to form an *air-patrol* of such craft, housed at depots along the north-east coast. Fast-flying and powerfully engined, these patrol aircraft will be equipped with wireless telegraphy, and many armed with guns. The establishment of the *air-patrol* is a counter-move to Germany's airships. (英國海軍省は演習に於て海上飛行機の價值を確めたるを以つて該種の飛行機を東北海岸の格納所に納置し置き以つて空中偵察隊を組織せん計畫をなせり。快速力にして強力なる機關を備へたる此等の偵察飛行機は無線電信機を備え且つ多くは銃砲を以つて武装せらるべし。空中偵察隊の設置は獨逸の飛行船に對する對抗的措置なり)。

airplane (âr'plân) (エーアプレーン)、「名」飛行機。— Air (空氣) に plane (漂泊するもの) を結び附けし字。aeroplane と同意義に使用さる字なれど實際餘り使用されざる字。(aeroplane; plane 參照)

Ex. I should like to fly in an *airplane* some day. (何日「イツ」か飛行機に乗つて見たい)。

air-pocket (âr'pök'et) (エーアポケット)、「名」氣流靜止狀態、空中陷穽。— Air (空氣) と pocket (陷穽) とを合せし字。飛行と大關係ある氣流の研究により新に作られし字なるが air-pocket の性質眞想等は未だ闡明確定されず。唯だ空中の或部分の氣流が靜止狀態を爲す事あるを發見し居るのみ。其の狀態を斯く云ふ。

Ex. Exactly what *air-pockets* are is not thoroughly known. As far as is known, they are spaces in the atmosphere in which the air is either not in motion or in which its motion

suddenly lessens, and in which certain conditions exist, such that the ordinary support afforded by the passage of the supporting planes through the air is considerably lessened. The result is that the machine, as a whole, loses a portion of its lifting power, and tends to make a dive to the earth. (エーアポケットの何者なるやは未だ充分に解らず。現在知れ居る範囲では其は空氣が流動せざる空中の一部分か或は氣流が突然減退せる空中の一部分か二者の中の一ツである。そして其の空間には或一種の状態が存在して居る其の爲め飛行機の飛揚翼が空中を進行する事に依つて受くる空氣の浮揚力が大に減ず。其の結果として飛行機は概して上昇力の一部を失ひをして地上に下向突下せんとする)。

air-propeller (âr' = prô-pèl'èr) (エーアプロペラ〜), 「名」空中推進機, 扇風器。— Air (空氣) と propeller (推進機) とを合せし字。propeller は廣い意味の推進機で總ての推進機に適用し得るもの故に空中推進機を一般の推進機と區別する爲めに特に air (空氣) を附け加へたのである。扇風器の意味もある作用が同一なればなり。

Ex. The aeroplane without an *air-propeller* is like the ship without a rudder. (推進機無き飛行機は舵無き船の如し)。

Ex. The Imperial Theater is cooled in summer by means of a number of *air-propellers*. (帝劇は夏は扇風器を澤山使つて涼しくしてあります)。

air-sailer (âr' = sâl'èr) (エーアセーラ〜), 「名」飛

行家, 航空夫。— Air (空氣) と sailer (水夫) とを結び附け airman に似せて作りし字。飛行家の事を洒落れて云ひし字なり。aviator, aeronaut の代用語として反復を避くる爲めに用ゆるゝ事多し。

Ex. He was the first *air-sailer* to fall in the great battle in the air. (彼は空中大戦に於て倒れし第一の飛行家で有つた)。

air-scout (âr' = skout') (エーアスカウト), 「名」空中偵察兵, 飛行斥候兵。— Air (空中) と scout (斥候兵) を結び附けし字。飛行機に搭乗して敵情偵察を爲す者を云ふ。

Ex. Against the aeroplane, fast-flying and so small a mark, gunners admit their difficulties. In Tripoli and the Balkans, when machines were under rifle-fire, planes were frequently riddled, but the *air-scouts* flew on. (快速だし又は非常に小さき標點だから飛行機に向つては砲手も射撃の困難な事を云つて「認めて」居る。トリポリ及びバルカンにて飛行機が砲火を浴びた時は機は屢々射ち貫かれた然し空中偵察兵は飛行を繼續した)。

airship (âr'shîp) (エーアシップ), 「名」飛行船, 空中船, 航空船。— Air (空氣) に ship (船) を結び附けし字。airship の使用は往々飛行機と混同され英米人の間にも今尙意義を混同せる者ある有様なれ共普通大形の飛行船即ち瓦斯囊によりて浮揚し發動機に依りて進轉するものを云ふ。此の意味にての此の字の慣用は「飛行機」の意義にての使用を許さざるに至れり。(aeroplane; dirigible 参照)

Ex. Apart from constructional improve-

ment and the reliability of engines, increases in the speed of *airships* now enable them to weather high winds. In Germany the number of sheds will still be increased, so that ultimately an *airship* pilot, wherever he may be flying, will have a refuge to steer for in case of breakdown or the arising of a gale. (構造上の改良及び機調の確實となりし事は別として飛行船の速力の増進は今や強風をも突破せしむる様になつた。獨逸では格納庫の数が尙益々増加されるから終には飛行船操縦者は何處を航空して居ても破損或は暴風發生の場合に飛び込む避難所が有る様になるだらう)。

air-speed (âr' = spéd'') (エーアスピード), 「名」飛行速度, 空中速力。— Air (空氣) と speed (速力) と合せし字。飛行機の陸上滑走の速力と區別して空中に飛揚せる時の速力を示すに用ゐる字なり。

air-station (âr' = stā' shqn) (エーアステーション), 「名」飛行ステーション, 飛行機停留場, 航空機著陸場。— Air (空氣) と station (停留場) とを合せし字。現在にては air-station は空中飛航の途上に於て飛行機を著陸せしむる目的にて作りし建物を云ふ。又 landing-station (著陸場) と稱す。

Ex. Exaggeration of the risks of flying has restricted the use of planes; but the provision of more *air-stations*, and the construction of craft priced at £ 500 or £ 600, should stimulate aerial touring. (飛行危険の誇大視により飛行機の使用は制限された。然し飛行停留場の増

設及び五百磅乃至六百磅の價格の飛行機製作は空中旅行「漫遊」をして更に盛ならしめん)。

airway (âr' wā) (エーアウエー), 「名」空(通)氣道, 航空路, 飛行航路。— Air (空氣) と way (道路) とを合せし字。第一義は鑛坑内へ空氣を送る空氣道。第二義は飛行航路にして新しい用法である。

Ex. What threatened to be a serious fire in a Pennsylvania coal mine was extinguished quickly when charges of dynamite were exploded in the *airway*, the resultant concussion blowing out the flames. (ペンシルベニヤ州の一炭坑中に出火しあはや大火にならんとせし空氣道の中にてダイナマイト装填を爆發せしめ。其れより起りし震動によつて火を吹き消した)。

Ex. Europe will be linked first by a network of *airways*, and finally the world. (歐羅巴が先づ最初に飛行航路の網系「四通八達」に依つて聯絡され終には全世界も聯絡されん)。

airwoman (âr' wōm' an) (エーアウーマン), 「名」女(女流)飛行家。— Air (空氣) と woman (女, 婦人) とを合せし字。稍々洒落れて用ゐたる字なり。(airman 参照)

Ex. The *airwoman* eloped with her lover on her aeroplane last night. (女流飛行家は昨夜情夫と飛行機で駈落した)。

airworthiness (âr' wūr' thĭ- nēs) (エーアウァーズィネス), 「名」航空に適する事, 耐飛行, 航空力。— Air (空氣) と worthiness (所要に堪ふる事) とを合せし字。seaworthiness (航海に適する事, 耐航力) に類似さして作りし字なり。

Ex. The progress of aeronautics during the past year may be summarized thus: A greater "airworthiness" in machines, permitting flights to be made upon four days out of five. (昨年中の航空事業の發達は次の如く概括する事が出来る。即ち飛行機の耐航空力増進の結果五日の内四日は飛行し能ふに至らしめた)。

airworthy (ār'wūr'thī) (エーアウァーヰィ), 「形」航空に適せる, 飛行に堪ふる, 飛行に差支なき。— Seaworthy (航海に適せる) に類似さして作りし字。(airworthiness 参照)

Ex. Our independence of ordnance will not be realized in full until we are able to produce *airworthy* aircraft without importing materials from abroad. (外國より材料を輸入する事無く航空に耐ふる航空機を製作し得ざる間は吾が武器の獨立は充分に實現されない)。

alley (ā'lī) (アリ), 「名」安全線(野球用語)。— 右翼外野手(rightfielder)と中央外野手(centerfielder)或は中央外野手と左翼外野手(leftfielder)との中間に描ける一種の想像的行路にして其の道を行く打球は普通安全球にしてホームラン、ヒットとなる。down the alley は一種の成句を成す。(homer 参照)

Ex. The batter stepped up to the plate and tapped the sphere on the nose, sending it down the *alley*. (打手は本壘標「ベース」に歩み出して球の真中を打つてホームラン ヒットを出した)。

American plan (ā-mēr'ī-kən plān) (アメリカンプラン)

ラン), 「名」米國式宿泊料制度, 宿泊料日附拂。— ホテル用語にして宿泊せし日より日割にて食事をするとせざるとに拘らず料金を支拂ふ一種の宿泊方法。

Ex. Our tariff on *American plan* will be forwarded upon request. (米國式宿泊料制度に依る當方の料金表を御申込次第御送付申すべく候)。

angle of incidence (āng'gl ōv īn'sī-dēns) (アングル オブ インシデンス), 「名」投射角, 氣壓角。— Angle of incidence は物理学の所謂入射角の意なり。新らしき意味に於て飛行機用語として用ふる時は空氣が飛揚翼面上を壓する角度を云ふ。翼の内面の圓曲線を弧として角の標準とす。

antenna (ān-tē'n'ā) (アンテナ), 「名」無線電信發受電線, 空中線。— 絶縁體を以つて橋柱に結び附けたる無線電信用の空中線にして其の作用上より directive antenna と稱す又其の電線の配置の形により fan antenna; umbrella antenna; T-shaped antenna の稱あり。(aerial; radiator 参照)

Ex. Whatever form it takes the *antenna* essentially consists of a wire or wires the upper or outer ends of which are insulated, and the lower ends connected with a plate in the earth. (其の形式の如何に拘はらずアンテナの重なる部分は一ツ或は其れ以上の電線より成り其の上方即ち外方の端は絶縁され而して下端は地中の金屬板に連續さる)。

anthropometry (ān'thrō-pōm'ē-trī) (アンソロポメトリ), 「名」人體測度, 人體測定。— Anthropo- (人) と -metry (計法, 測度術) とを合せし字。記述的人類學 (anthropography) の一部門にして兩性, 人種, 職業等に依る人間の體量, 體形等の差異を測る學問を云ふ。

apteroid (äp'tēr-ōid) (アプテ〜ロイド), 「名」扁平飛行翼。—Apteroid は發育不完全なる鳥の意なり、飛行用の言葉としては短く幅の廣き飛行翼を云ふ。此字は Lanchester 氏に依つて初めて飛行用語として作られ pterygoid と對照して用ゐらる。(pterygoid 參照)

aspect (äs'pekt) (アスペクト), 「名」飛行機上面觀(瞰視圖)。—飛行用新語としての aspect (様子、相貌)は飛行機を上方より見下したる圖面を云ふ。

Ex. The aspect of the aeroplane showed readily that it was a Maurice-Farman biplane of the Japanese Army. (飛行機を上より見下した様子で直ちに其れが日本陸軍のモーリス・ファーマン式複葉機なる事が知れた)。

aspiration (äs'pī-rā'shqn) (アスピレーション), 「名」向上性、昇上傾向。—Aspiration は昇る事の意なり。飛行機用新語としては飛行機の翼面の彎曲(aerocurve)に依りて飛行機には向上する傾向ある事を云ふ。

auto (ä'to) (オート), 「名」自動車(通俗語)。—Auto は元來は「自らの」「自動の」と云ふ意味の冠頭詞である(auto-bicycle 參照)名詞として自動車の意味の時は automobile の短略なり。automobile は日常通俗用には發音字形共に長くして不便故に短略して auto と云ふ(實際の便宜上斯の場合の如く短略して用ゆる場合多し)。(automobile 參照)

Ex. Give me a ride in your auto. (君の自動車へ乗せてくれ王へ)。

auto (ä'to) (オート), 「動」自動車に乗る(通俗語)。—Auto (自動車)を動詞として用ゐたる俗語なれば正式の文には避くべし。

Ex. Frank was nice enough to invite me to go *autoing* with him. (フランクは大變親切

に一緒に自動車に乗らうと誘つて呉れました)。

auto-boat (ä'tō=bōt) (オートボート), 「名」(通俗語)自動艇, 發動機附短艇。—Auto (自動の)と boat (短艇)とを結び付けし字。發動機附短艇を呼ぶ俗語なり。(motor-boat 參照)

Ex. Three of us girls took his auto-boat and visited the flagship Connecticut lying at anchor some half a mile off the shore. (我等三人の女達は彼のモーターボートへ乗り岸から半哩程沖に碇泊して居る旗艦カナッテイカット號を訪問しました)。

auto-bus (ä'tō=būs) (オートバス), 「名」自動乗合車(通俗語)。—Automobile (自動車)の略の auto と omnibus (乗合馬車)の略の bus とを結び付けし字。即ち automobile omnibus の短略なり。自動車の構造を乗合馬車風に作り乗合用に供するものなり。

Ex. The scheme of running an auto-bus regularly between Odawara and Kamakura has again come on the tapis. (小田原鎌倉間に乗合自動車を運轉する計畫は再び商議されて居る)。

auto-car (ä'tō-kär) (オートカー), 「名」自動車(通俗語)。—Auto (自動の)と car (車)とを結び付けし字。發動機に依つて運轉する車の總稱。

Ex. The Post-Office has added half a dozen auto-cars for carrying mails to and from the railway stations. (郵便局では各停車場へ郵便物を往復運搬する爲めに新しく六臺の自動車を買った)。

autocycle (ä'tō-si'kl) (オートサイクル), 「名」發動機附自轉車, 自動自轉車(通俗語)。—Cycle (自轉車)

に auto を附けて作った字。motor-cycle と同じ。
(auto; unicycle; motor-cycle 参照)

Ex. Let me have a ride on your autocycle.
(君の自動自轉車へ乗せて呉れ玉へ)。

autoist (a'tō-ist) (オートイスト), 「名」自動車乗り
(人)。— Auto (自動車) に ist (人) を結び附けし字。
(motorist; automobilist; auto 参照)

Ex. If he isn't the most desperate autoist
in this town, I should like to know who ran
over half a dozen men and smashed two
telegraph poles in five weeks. (若し彼が此の
町で一番無鐵砲な自動車乗で無いとしたら誰が五週間に
六人も轢き殺し電信柱を二本も碎いたかね)。

autokinesis (a'tō-kī-nē'sis) (オートキネーシス),
「名」自動運動, 自然運動。— Auto (自動の) と kinesis
(運動) とを合せし字。

autokinetic (a'tō-kī-nēt'ik) (オートキネティック),
「形」自動運動の, 自然運動的の。— Auto (自動の) と
kinetic (運動の) とを結び附けし字。

autokinetic system (a'tō-kī-nēt'ik sŷ's'tem) (オート
キネティックシステム), 「名」自動電信制度。— Auto-
kinetic と system (制度) とを合せし字。電信通信制度
の一種。

autokinetic telegraph (a'tō-kī-nēt'ik tēl'ē-
gráf) (オートキネティックテレグラフ), 「名」自動電
信。— Autokinetic と telegraph (電信) とを合せし字。
米國の火事警報及び警察用電信として使用され居る一
種の自動電信なり。

autograph piano (a'tō-gráf pī-ān'ō) (オートグラ
フピアノ), 「名」蓄音ピアノ。— Autograph (自寫
の) と piano (洋琴) とを合せし字。一種の機械ピアノ

にして演奏者が一度奏したる音楽を宛も蓄音機の如
く記録し自動的に其の音楽を奏するピアノなり。

Ex. The musical talent of the future are
more fortunate than their masters, as their
performances will be immortalized by the aid
of the autograph piano. (未來の音樂の達人は
彼等の先輩よりも幸運である。彼等の演奏は蓄音ピアノ
の助けに依りて不朽に傳へらるゝが故なり)。

automatic baseball (a'tō-māt'ik bās'bal) (オート
マティックベースボール), 「名」自動野球。— Automatic
(自動の) と baseball (野球) とを合せし字。投手及び内
外野球手の動作を成す機械を玉受け幕と組合せ獨りで
打球の練習をする事を云ふ。

autometer (a-tōm'ē-tēr) (オートメター), 「名」自
動車速度計, 自動車速力表示器。— Auto (自動車) と
meter (計器) とを合せし字。自動車に附設して車輪の
廻轉に依り速力を表示する器械。

Ex. I thought we were really flying
through the air; but the autometer showed
that we were traveling along at a speed of
forty-five miles an hour. (僕は空中を實際飛ん
で居ると思つたが自動車速度計は一時間四十五哩の速
力で走つた事を示した)。

automixte car (a'tō-mīkst' kār) (オートミックス
トカー), 「名」反用式自動車。— Automixte system の機
關を備へたる自動車を云ふ。(automixte system 参照)

automixte system (a'tō-mīkst' sŷ's'tēm) (オート
ミックスシステム), 「名」反用式機關。— Auto (自動
の) と mixte (混成の) と system (制度, 式) とを合せし

字。自動車の瓦斯機關の剩餘の動力を集め其れを以つて蓄電池 (storage-battery) に電流を送る爲めに反用發電機 (reversible dynamo) を運轉する方法なり。白耳義國の Henri Pieper (ヘンリー・パイペール) 氏の發明になれるを以つて Pieper system と稱す。

automobile (a'tō-mō'bīl) (オートモビル), 「名」自動車。—Auto (自動の) と mobile (運轉する) とを合せし字。綴字發音共に長過ぎる故通俗には漸次 auto 及び motor-car を代用する傾向有り。事實上此の字は motor に代用し得れば此の字を noun attributive とせる場合は motor を代用し得るものと知るべし。此の字に其の動力を出す資料の名を附して色々に區別し得。例へば electric automobile (電氣自動車); gasoline automobile (石油瓦斯自動車); steam automobile (蒸氣自動車)等の如し。

Ex. The entire audience held its breath to see the most sensational exhibition of the day. The driver started his *automobile* and volplaned down the incline. Making a clean-cut somersault in the air the machine landed on the board-walk some 50 yards away. (見物人は各其の日の最も驚くべき奇業を見んと息を凝らした。操縦者は其の自動車を運轉して傾斜面を滑走して下りた。あざやかに空中で宙返りをして自動車は五十碼程離れた木臺の上に下りた)。

automobile, 「動」自動車に乗る, 自動車を運轉す。

Ex. I intend to *automobile* with her, when she comes with her new car. (僕は彼女の女が新しく買った自動車を持つて來たら一緒に乗る心算だ)。

automobile, 「形」自動の。—形容詞としての automobile の用法は「自動の」意味で馬力或は人力にて運轉されたる馬車, 自轉車等が新しく發動機式となりしものに関して用ふ。

Ex. I have just purchased an electric automobile phaeton. (私は唯今電氣自動フェーエトンを買ったばかりです)。

automobile trunk (a'tō-mō'bīl trŭnk) (オートモビルトランク), 「名」自動車用大籠, 自動車積載用旅行大籠。—Automobile と trunk (大籠) とを合せし字。自動車旅行に積載し行く大籠を云ふ。

Ex. For fastening *automobile trunks* to the foot boards, top, or similar places on a machine, a metal clip holder has been invented which eliminates the necessity of a motorist using straps or ropes to secure his baggage. (自動車用大籠を自動車の足踏臺, 車臺上, 又は類似の所へ安置する爲めに金屬の抱子鍵が發明された。そして其の抱子は自動車乗をして荷物を帶革又は綱で縛り附ける必要を省かしむるものだ)。

automobiling (a'tō-mō'bīl-īng) (オートモビリング), 「名」自動車に乗り又は運轉する事。此の字は形容詞的 (attributively) に用ゐらるゝを最も普通とす。但し字が餘り長き爲め漸次形容詞的に使用し得る motor によりて代用さるゝが如き傾向有るが如し。

automobilism (a'tō-mō'bīl-īzm) (オートモビリズム), 「名」自動車術, 自動車乗方。—Automobile に -ism (する事「風, 派」) を附したる字。自動車術或は乗用する事の意にて殊に自動車を使用する人に関して用ふ。

Ex. The *automobilism* of French army officers is probably without equal anywhere. (佛國陸軍士官の自動車運轉振は恐らく何處にも比肩すべきものは無いだらう)。

automobilist (a'tō-mō'bīl-ist) (オートモビリスト), 「名」自動車所有者, 自動車乗り(人), 自動車狂。—Automobile(自動車)に ist(……する人……に耽ける人)と云ふ接尾語を附けたる字。普通は自動車を所有して居る人又は運轉する人の意なり又常に自動車に乗る人にも適用す。

Ex. An expert *automobilist* gets a pay from \$1,000 to \$15,000 for a race for speed record. (熟練なる自動車乗は速力のレコードの競争には一千弗より一萬五千弗の給料を貰ふ)。

automotor (a'tō-mō'tōr) (オートモーター), 「名」發動機車, 自動車。—Auto(自動の)と motor(發動機車)とを合せし字。自動的機械より成れる車類即ち自動車の如きも其の一なり。

autoped (a'tō-pēd) (オートペッド), 「名」足臺自動車, 踏乗自動車。—Auto(自動の)に pedestrian(歩む人)の俗語的省略の ped を結び付けし字。普通二輪車にて車輪の中間に足踏臺有り其の上に立つて運轉す。大體の形式は自轉車を極めて低くせしが如き物にて前車輪の上部にある發動機にて運轉す。

Ex. The latest addition to the family of motor-driven vehicles is the *autoped*, having the carrying platform below the wheel axles, and designed to be ridden while standing upright on one or both feet, the control being in the steering pillar. (發動機で運轉する車輛の種

類へ最近に加へられたるものは足臺自動車である。其れは乗用臺が車の心棒よりも低い所に有つて片足又は兩足で直立したまゝ運轉し得る様に考案されてある。そして操縦は舵棒によりて爲さる)。

autophon (a'tō-fōn) (オートフォーン) } 「名」自動音樂器。—Auto(自動の)と phone(音)とを合せし字。紙のリボンに作られし音譜と器械の運轉に依り音樂を自動的に演奏する樂器。

autopiano (a'tō-pi-ān'ō) (オートピアノ), 「名」自動ピアノ(洋琴)。—Auto(自動の)と piano(ピアノ, 洋琴)とを結び付けし字。電氣の力にて機械を運轉して彈手を要せず音樂を奏するピアノ。(autograph piano; pianola 参照)

Ex. Will you like some lively music on the *autopiano*? (自動ピアノで何にか活潑な音樂は如何です)。

autotelegraph (at'ō-tēl'ē-gráf) (オートテレグラフ), 「名」電寫機, 電書機。—Auto(自動の)と telegraph(電信機)とを合せし字。電氣を利用し文字, 畫等を遠方へ傳へて書寫する電信機。(telautograph 参照)

autotruck (a'tō-trūk) (オートトラック), 「名」自動運搬車, 自動荷物運搬車。—Auto に truck(荷車)を結び付けし字。貨物運搬の爲め荷物馬車の如く作りし自動車。

Ex. The Imperial Flying Corps has an *autotruck* for carrying aeroplanes and repairing materials. (帝國航空隊は飛行機及び修繕材料運搬の爲め自動運搬車を一臺持つて居る)。

aviate (ā'vi-āt) (エーヴィエート), 「動」飛行機の如く飛び上る, 飛行す。—佛語の avis(鳥)と云ふ字と動

詞の形式を作る接尾語 -ate (.....す, ならしむ) を附して動詞とせし字。

Ex. In ten years man will be able to aviate better than birds can fly. (十年後には鳥が飛ぶよりも人間の方が上手に飛行する様になるだらう)。

aviation (ā'vī-ā'shqn) (エーヴイエーション), 「名」飛行, 空中飛行—Aviate の名詞の形。飛行する事或は飛行術の意にも用ふ。(aerostatics; aerostation 参照)

Ex. Lieutenant Oka of the Army recently went to France to get further training in aviation. (陸軍中尉岡氏は更に飛行術を練習せん目的にて過般佛國へ行けり)。

aviator (ā'vī-ā-tqr) (エーヴイエーター), 「名」飛行家。—Aviate (飛行する) と -or (する人) とを合したる字。(aeronaut; airman 参照)

Ex. Mr. Shiraiishi, a Japanese aviator, flew over San Francisco three months before he was killed in an accident at Kyoto. (日本人飛行家白石氏は京都に於ける椿事にて死する三箇月前には桑港の上を飛行せり)。

B

back-fire (bāk'-fir') (バックファイア), 「名」早期発火。—Back (あとに残れる) と fire (発火) とを結び附けし字。新しき用法としては瓦斯或は石油發動機に於けるシリンドル内の過度の高熱の爲め新らしく流入せし瓦斯が實際電火に依つて発火せらるゝ前に爆発し、爲

めにピストンを反対の方向に壓せんとするを云ふ。又瓦斯或は石油發動機の排泄管中に漏出せし瓦斯が管内の熱度の爲め爆発するを云ふ。自動車の後方車輪の傍にありて瓦斯を絶へず吹き出す管より鐵砲の音の如き爆撃を發する事有るは即ち back-fire の實例なり。

Ex. The raising of the temperature of the cylinder walls would have two important consequences: the material of which the cylinders are composed would have a comparatively short life, and the incoming charge on the next cycle might be fired before it had time to be compressed. Back-firing, as it is called, is really premature firing. (シリンドルの筒壁の熱度を高める事にはニツの重要な結果が伴ふ。即ちシリンドルを構成し居る材料の生命が比較的短縮さるゝ事及び次の輪轉により流入し來る裝量が壓搾さるゝ前に發火さる事有る。所謂 back-firing 「早期發火」は實は一定の時期よりも早過ぎる即ち早期發火である)。

back-stamp (bāk'-stāmp'') (バックスタンプ), 「名」手紙の封筒の裏面へ押す郵便消印。「動」手紙の封筒の裏へ消印を押す。—Back (後ろ) と stamp (押印) とを合せし字。手紙の封筒其の他の郵便物の裏面に郵便消印を押し局の受取或は通過時間を印すものなり。

bag (bāg) (バッグ), 「名」野球用壘標囊。—Bag は袋の意なり。野球用語としては baseball-bag の意にて壘の標として置く囊即ち base の代用語として使用さる。又 sack とも云ふ。野球用語にて base を用ふる殆んど總ての場合に bag (又は sack) を代用し得。(two-bagger; three-bagger; base-hit 参照)

Ex. "Ty" Cobb, beating out a bingle over shortstop, dashed round the bases and slid into third, hooking the bag with the spikes and making it a three-bagger. (タイコップは遊撃手の上へ安全球を打ち壘を快走して三壘へ滑り込み足を靴の尖釘で壘囊へひっかけて、打球を三壘球とした)。

balancing surface (bā'ān-sīng sú'fās) (バランシング サーフフェイス), 「名」平衡面。—Balancing (均衡する) と surface (面) とを合せし字。新らしき字としては飛行機の平衡を保つ作用を爲す翼面を總稱して斯く云ふ。

balk (bā'k) (ボーク), 「名」投手の過誤(野球用語)。「動」投手が過失をする。—Balk は普通は過失の意なれど野球用語としては投手の過失を意味す。下の文例にて明ならん。

Ex. The pitcher must not make any motion to deliver the ball to the batsman and fail to do so, nor must he feint to throw to first base when it is occupied by a runner and fail to complete the throw. Violation of this rule constitutes a balk. When the pitcher balks all runners who are on the bases at the time are given an opportunity to advance a base each without being put out. (投手は打手に球を投ずる何等かの動作を成して而かも投球せざる事有るべからず。又投手は一壘に走者が居る時に一壘へ投球する身振りを成して而かも投球せざる事有るべからず。此の規則に違犯する時はボークと成る。投手がボークを成す時は各壘に有る走者は各自一壘

づ、アウトにさるゝ事無しに前進する機会を與へらる)。

ballonet (bāl'o-nēt) } (パロネット), 「名」氣球
 ballonette (bāl'o-nēt) }

内小氣囊, 小氣囊。—Balloon (風船) に接尾語 -ette (小さきもの) を附け音便にて "o" を短くせし字。輕氣球或は飛行船の gas bag 内の瓦斯は熱, 氣壓等の關係によりて伸縮し爲めに氣囊の形に變化を來し或は破裂する事あり。此の伸縮に應じて氣囊の形を一定ならしめ又は其の破裂を防ぐ爲めに gas bag 内に空氣を滿せる小氣囊を設備し其内の空氣を増減して瓦斯の伸縮との調和を取らしむる其の小氣囊をパロネットと云ふ。

Ex. When, if after the gas reservoir has been exposed to the heat of the sun's rays, it comes under or in the shadow of a cloud, the temperature falls very quickly, and the gas contracts. To meet this difficulty a ballonet has been added to the dirigible, and to later forms of the drifting balloon. (若し氣囊が太陽の光線の熱に當つた後で雲の下或は雲の中に来る時は溫度は非常に速に下りそして瓦斯は收縮す。此の困難に備ふる爲め小氣囊を飛行船及び新式の氣球に附加した)。

bank (bā'nk) (バンク), 「動」一方に傾斜す(飛行用語)。—飛行機が回轉或は方向を轉ずる時に外側の翼は内側の翼よりも空氣の壓力を強く受くる爲めに上り内側の翼は下る即ち内方に傾斜す。之を to bank 或は banking と云ふ。

Ex. When the head of the machine turns,

say to right or left, to commence the formation of the curve, a new sort of conditions comes into being; the inner wing of a monoplane, or the inner ends of the supporting planes of a biplane, will be moving at a slower rate through the air than the outer wing or the outer ends, and the velocity of the air passing the outer wing or outer ends will be greater than that passing the inner ends. Hence the pressure under the outer ends will be greater than that under the inner ends, and the outer ends will tend to lift.

This is known as *banking*. (飛行機の 前頭が例へば右方或は左方へ轉じて弧線を描き始むる時には新たな状態が現出さる。單葉機の内方の翼は外方の翼よりも遅く又複葉機の飛翼の内方端は外方端よりも遅い速度で空中を進行し。そして各其の外翼或は外方端を吹き通す空氣の速力は内端を吹通す空氣よりも大なり。其れ故に外方端の下の壓力は内方端の下よりも強し。従つて外方端は高く昇らんとす。此れがバンキングとして知られ居るものなり)。

barrack (bɪˈræk) (バラック), 「動」盛に應援す, 騒々しく聲援す。一英國の地方的用語又オーストラリヤにて運動に關して用ふる語。運動競技等にて一方に聲援し一方を皮肉なる文句, 喝采等にて盛に反對する事なり。此の用法より to *barrack* for (騒々しく援助す) の慣用句有り。又斯くの如く聲援する者を *barracker* と云ふ。

Ex. There was a big crowd of *barrackers*

on hand to *barrack* for the Shanghai cricketers against the All-Star Hongkong team. (聲援者の一大群團が出場して上海クリケット連中を香港撰抜組に對し盛に聲援した)。

baseballer (bɑːsˈbɑːlə) (ベースボール) } 「名」
baseballist (bɑːsˈbɑːlɪst) (ベースボールリスト) }
 野球をする人。一Base-ball (野球) に -er (.....する人), -ist (.....する人) を附したる字。野球をする人の意にて作られたる字にて俗語として用ゐらるれど未だ正しき用法 (good usage) とは認められず。

base-hit (bɑːsˈhɪt) (ベースヒット), 「名」安全打。一野球用語にして safe hit と同義なり。即ち打者の打ちし球が守備團の者に捕へられて打者が一壘に達す前に投げてアウトとされざる打球を云ふ。

Ex. Hans Wagner had a sharp batting eye and sliced four *base-hits* off Mathewson, out of five times up. (ハンス ワグネルは鋭い打球眼を持つて居た。五回打球番の内マシユソンの投球にて四個の安全打を出せり)。

basic-slag (bɑːsɪkˈslæɡ) (ベーシックスラッグ), 「名」石灰性燐渣(屑)。一Basic (鹽基性の) と slag (燐渣) とを結び附けし字。鋼鐵製造の副産物にして石灰性と燐素に富むを以つて人造肥料として重要視さる。

battery (bæˈtɪəri) (バッテリー), 「名」投手及び捕手(野球用語)。バッテリー, 連發拳銃。一Battery は砲臺或は砲兵隊の意なり。轉じて野球用語としては投手及び捕手の一組を云ふ。又米國西部の地方的用語としては連發拳銃の意に用ふ。

Ex. The brilliant work of the *battery* was well supported in both infield and outfield.

(投手及び捕手の見事な働きは内野及び外野にて長く補助された)。

Ex. In the West a man would pull out his *battery* for any little thing, quicker than throw off his cigarette. (米國西部地方では男はどんな小さな事件に就ても巻煙草を捨てるよりも手早く連發拳銃を取り出す)。

battle-cruiser (băt'l=krōōz'ēr) (バトルクルーザー), 「名」 戦闘巡洋艦。— Battleship (戦闘艦) の battle と cruiser (巡洋艦) とを合せし字。戦闘艦の武装をなし巡洋艦の速力を有する軍艦を云ふ。

Ex. In war the Kongo and other powerful vessels of the same *battle-cruiser* type would doubtless be used as fast divisions of the battle line. (戦時には金剛及び同型戦闘巡洋艦の強大なる艦船は必ず戦線の急速隊として用ゐらるべし)。

bawl (bəl) (ボール), 「動」 嘆く, 愁訴す (俗語)。— Bawl は大聲を上げて騒々しく泣き喚ぶ事なり。それより轉じて to mourn; complain の意に用ふ。

bean (bin) (ビーン), 「名」 頭。「動」 頭へ投ず (野球用語)。— Bean は野球に関連して盛に用ゐらる。名詞としては野球家の頭。動詞としては打者の頭を投手が球にて當てる事。(bean ball; beany 参照)

Ex. The catcher signaled to the pitcher to pitch it at the batter's *bean*. The throw was accurate and squarely *beaned* the batter who was too slow to get out of its way. (捕手は投手に打者の頭を狙らつて球を投ずる様に合圖「信號」した。投球は正確にして打者が避けるのが遅

かつたのでキツパリと頭へぶつつかつた)。

bean ball (bēn bəl) (ビーンボール), 「名」 打頭球 (野球用語)。— Bean (頭) と ball (球) とを合せし字。本壘へ餘り近く立つ打者を退けん爲め其の頭の近く或は頭を見掛けて投ずる球。此方法で往々憶病なる打者を本壘より後へ下(サガ)らせ其の後より急なるカーブを投ずる事あり。

Ex. The twirler, seeing that the batter was afraid of his fast delivery, pitched a *bean ball*, which was followed by a fast curve that broke away and cut the plate. (投手は打者が早い投球を恐れて居ると見たので、打頭球を投じた。そしてその次に投じた早いカーブは急にまがつてプレートの間を通つた)。

beanery (bēn'ēr-ŷ) (ビーナ〜リ), 「名」 豆料理店 (米國俗語)。— Bean (豆) と -ery (賣買する所) とを結び附けし字。米國にては baked beans (豚肉の脂の加味にて蒸し焼にしたる蠶豆) の料理を供する料理店を云ふ。

beany (bēn'ŷ) (ビーニ), 「形」 眩みたる (野球用語)。— Bean (頭) に形容詞の接尾語 -y を結び附けし字。頭を投球にて打られたる爲め頭がフラフラし眩みたるが如き状態を云ふ。(bean 参照)

beat (bēt) (ビート), 「動」 逃ぐる, 走り去る (俗語), (學生等が) 下調べをひまかす (俗語)。— Beat は米國俗語として逃げ去るの意に用ふ。此の場合多くは imperative mood に用ゐて通俗慣用法たる it の indefinite object を伴ひ beat it の形式となる。又學生用俗語としては下調べを宛々準備せる如くひまかす事を云ふ。

Ex. "Beat it!" we shouted to him as we saw a "cop" coming and he *beat it* home

by the dark alley. (逃げろ! と僕等は巡査の來るのを見たから叫んでやつたら彼は暗い小路を走り去って家へ歸つた)。

Ex. Being called upon to recite the lesson, Tommy *beat it* so successfully that nobody suspected he had never read the passage before. (學課を暗誦「答へる」せよと呼ばれたのでトムミーは誰も彼が其の章を一度も讀んだ事の無い事を疑つた者は無かつた位上手にひまかした)。

beauty-art (bū'tī=ärt) (ビューティアート), 「名」美顔術(通俗語)。—Beauty (美)と art (技術)とを合せし字。

beauty-parlor (bū'tī=pār'lqr) (ビューティパーラー), 「名」美顔術所(通俗語)。—Beauty (美)と parlor (客間)とを合せし字にて美顔術を行ふ店を云ふ。

beauty-wash (bū'tī=wash") (ビューティウオッシュ), 「名」化粧水, 美顔劑。—Beauty (美)と wash (化粧水)とを合せし字にて一種の cosmetic (化粧劑)なり。

beezzer (bēz'ēr) (ビーズァ〜), 「名」鼻。—餘り知られざる新らしき俗語なれど俗語として米國に使用されるを以つて紹介す。

bertha (bēr'thā) (ベ〜スァ) }
berthe (bērt) (ベァ〜ト) } 「名」婦人用肩掛。

婦人の上衣の飾肩掛。—婦人の名の Bertha (佛語は Berthe) より來りし普通名詞なり。婦人の肩掛なれども日本に行はるゝものより小なり。又婦人の上衣の胸の下の邊りに肩掛の形を模せる裝飾品を云ふ。

best-seller (bēst'=sēl'ēr) (ベストセラ〜), 「名」最好評賣行品。—Best (最も善き)と seller (賣れる物)とを合せし字。最も好評にて賣れ行き物の意なり。

Ex. Mrs. Edith Wharton's latest novel, "The Custom of the Country," headed the list of six *best-sellers* of fiction for six months last year. (イーディスホッア〜トン夫人の最新の小説「國の習慣」は昨年の六箇月間中最好評賣行小説六種中の第一位を占めた)。

bicycle railroad (bī'sī-kl rāl'rōd") (バイシクルレールロード), 「名」單軌鐵道。—Bicycle (自轉車)の如く單軌にて走る鐵道の意。單軌の線路の上を走り車上の導子に依つて列車の平衡を保つものなり。

big one (big'wūn") (ビッグワン), 「名」第三番目のストライキ(野球用語)。—一字義は大きなヤツ即ち重要なるものゝ意。打者は三つのストライキに對する権利有り其の最後のストライキを斯く云ふ。アンパイヤが第二のストライキ迄宣告せし後安全球を打つ事極めて多ければ最後のストライキは最も重要視される故此の名稱あり。

Ex. The umpire called two strikes. There was only the *big one* left, and the batter got braced up to slam it for a winning run. (審判者はストライキを二ツ宣した。残る所は僅に第三ストライキのみだ。そして打者は其れを打ちまくり決勝の得點とせんと緊蹙一番元氣を出した)。

bill-stamp (bīl'=stāmp") (ビルスタンプ), 「名」證券(手形)印紙。—Bill (手形, 證券)と stamp (印紙, 切手)とを合したる字。約束手形, 爲替手形及び其他證券に貼附する印紙を云ふ。

Ex. The First National Bank will offer prizes for designs to be used for the *bill-stamp*. (第一國立銀行は證券印紙の考案を懸賞募集すべし)。

bingle (bɪŋ'gl) (ビングル), 「名」安全打球(野球用語)。「動」ミゴトなる安全球を打つ。一守備者の捕ふる能はざる場所に打ちし打球にてミゴト守備軍の隙へ打ちし安全球なり。

Ex. Eddie Collins lifted a *bingle* over third, bringing in the two runners. Thomas, coming up next, *bingled* in the same direction; the score was tied. (エディコリンズは三壘上を越して見事なる安全球を打ち走壘者二名を生還せしめた。次に來たりし打者トーマスも同じ方向に天晴なる安全球を打つた。得點は同點となつた)。

biograph (bī'ō-gráf) (バイオグラフ), 「名」活動寫眞機, 活動寫眞, 小傳記。—Bio- (人生の) と graph (記録) とを結合せし字。元來は商品の名稱なりしが普通名稱となりし字。字義は人物其他の物が恰も活ける如く描出されしを意味す。従つて活動寫眞及び短篇の傳記の意味に使用されるれど極めて稀にして活動寫眞機の意に用ゐらるゝを最も普通とす。biography (傳記) と混同すべからず。(bioscope; kinetograph; vitagraph 参照)

Ex. American enterprise, in the hands of Mr. Casler of New York, invented and brought out the *biograph*, a cinematograph machine working at a greater speed than others, and projecting a picture with less flicker. (紐育のカスラ氏の盡力により米國の企業界は活動寫眞機を發明しそして社會に出した。それは他の機械よりも早い速度でチラチラする事の少ない活動寫眞機である)。

bioscope (bī'ō-skōp) (バイオスコープ), 「名」活動

寫眞機, 二様影出活動寫眞機, 人生觀。—Bio- (人生の) と scope (顯示器) とを結び附けし字。第一義としては活動寫眞機 (biograph と同義に使用さる事有り)。第二義としては一時に同人物の二様の圖影を連續して急速に影出せしむる機械なり。又稀に人生觀の意にも用ふ。

Ex. In the future the life of a hero may be told after his death in a twofold way; by biography as an interpretation of his personality, and by *bioscope* as realistic reproduction of his life. (將來は英雄の生涯は死後二通りの方法で傳へらるゝだらう。即ち其の性格の解釋たる傳記と其の生涯の寫實的演出たる活動寫眞とに依りてなり)。

biplane (bī'plān) (バイプレーン), 「名」複葉飛行機。—Bi (二ツ) と plane (飛行翼面) とを結合せし字。二個の翼を上下に有する飛行機を意味し monoplane, triplane と區別する爲めに作られたる字なり。(monoplane; triplane; multiplane; plane 参照)

Ex. Mr. F. H. Wenham, who died so recently as August 11, 1908, was unquestionably the originator of the *biplane* and other superimposed multisurface constructions. (極めて最近即ち西曆一九〇八年八月十一日に死せしエフエイチウエンハム氏は疑も無く複葉飛行機及び他の累重式多葉飛行機の創案者であつた)。

Ex. In the *biplane* the lower of the two planes is virtually a platform, upon which the driving engine, the seat for the pilot, and

all accessories are carried. (複葉飛行機には二個の翼の内下部の翼は事實上臺となつて居り其の上に機関、操縦者席及其他總ての附屬品が備へ付けらる)。

bird-man (bird' = man') (バードマン), 「名」飛行家, 鳥人。— Bird (鳥) と man (人) とを結合せし字。鳥の如く飛ぶ人の意にて航空家特に飛行機家 (aeroplanist) に用ゐ主として文字の反復を避くる爲めに代用的に用ゐらる。稍々洒落たる字なり。

Ex. The *bird-man*, now no bigger than a swallow and flying perhaps five or six hundred feet above the ground, could be seen waving a handkerchief at the crowd below. (飛行家は今や燕よりも大ならず。そして地上五百乃至六百呎の上を飛んで居て、下の群集へハンカチを振つて居る様子で有つた)。

bite (bit) (バイト), 「動」ひつかゝる, 釣り込まる。(野球用語)— Bite は魚が釣らるゝ如く欺されて一杯喰はさるの意なり。野球用語としては投手の投げるカーブ特に弱い速度のカーブ球に釣り込まれて空振する事を云ふ。“he will bite” と断定さるゝ事は野球家の致命傷にして下級に落さるゝ端緒なり。

Ex. It had been passed among the players that he would *bite*. The pitcher, therefore, kept feeding him with slow curves. Soon after the game he was drafted to a minor league club. (彼はカーブ球に釣り込まれると云ふ事は野球連の間に傳へられた。それ故投手は彼に弱いカーブばかり投じた。試合後間もなく彼は小組合の俱樂部へ譲り渡された)。

Black Hand (blāk händ) (ブラツク ハンド), 「名」

黒手組, 秘密結社。— 無頼の伊太利人が復讐或は脅喝を目的として組織せる秘密團體にして, 其の送る脅喝的手紙には黒き手の標示を附せるより黒手組の名起れり。

Ex. *Black Hand* is a symbol used by members of a widespread Italian society, commonly known as the *Black Hand* (Society), and affixed to blackmailing letters containing threats of personal injury or even death on failure of compliance. (黒手は廣く行はるゝ伊太利團體即ち普通黒手組として知られたるものゝ會員に使用さるゝ標章にて要求に應ぜざる時は身邊の迫害又甚しきは殺害を意味する脅喝状に捺附せらる)。

blanket-boat (bläng'kët = böt') (ブランケット ボート), 「名」毛布製船, 毛布にて作りたる小舟(陸軍用語)。— Blanket (毛布) と boat (小舟) とを結び付けし字。輕量の木組臺の上に兵士の防水用護謄布を張つて作れる臨時製の小舟なり。

blanket-roll (bläng'kët = röl") (ブランケット ロール), 「名」器具携帯袋, 背負ひ袋(陸軍用語)。— 兵士用器具を携帯する爲めに背囊の代りに毛布或はズックにて作りたる背負袋にて普通肩より斜に胸を横つて掛けらるゝ袋なり。

bleacher (bläch'er) (ブリーチャー), 「名」無蓋の見物席。— Bleacher は晒す物の意なり。米國の新しき用語としては野球, フットボールの試合場に於ける階段ある無蓋見物席の事にして日光に晒らさるゝ場席の意なり。此の字は普通複數の形にて用ゐらる。(bleach-erite; grandstand 参照)

Ex. The crowd at the Polo Grounds was

one of the greatest ever seen at the grounds. The bleachers were literally filled two hours before the scheduled time. (ボーク競技場に於ける群集は其處に嘗つて集りし最大のものの一つで有つた。無蓋見物席は定め時間より二時間前に實際一杯となつて居た)。

bleacherite (blech'ēr-it) (ブリーチャーライト), 「名」無蓋見物席で観覧する人, 無蓋見物常連, 日晒連。—Bleacher に -ite (人) を結び付けし字。無蓋見物席に陣取る人又は其の席の常連の意。主として野球に關して用ゐらるゝ字にて我國で云はゞ江戸子の芝居の立見連とでも云ふべきものなり。

Ex. Even professional baseball players are highly sensitive to the criticism of the "bleacherites" and pride themselves upon any expression of approval coming from those real enthusiasts of the game content on the hard seat and in the midsummer sun. (本職の野球家でも日晒連の悪口をひどく氣にする。そして彼等は固い席に座し又酷暑の日光に照らされて満足してゐる眞の野球狂の方から發せらるゝ賞讃の表白「表言」を聞いて大に誇りとする)。

blind-letter (blind' = lēt'ēr) (ブラインドレッタ), 「名」宛名の判然せぬ書信。—Blind (盲目の) と letter (手紙) とを結び付けし字。宛名の書方の悪しき爲め行先きの不明なる書信を云ふ。(blindman; blind-reader 参照)

Ex. The woman is such a bad penman that all the letters she wrote to her husband,

instead of reaching him, went to the care of the blind-letter department. (あの女はひどい悪筆家だから其の良夫に送つた手紙は皆良夫の處へ行かずして行先不明郵便物部のお厄介となつた)。

blindman (blind'män) (ブラインドマン), 「名」宛名不明書信係(人), 宛名不明郵便物判讀員。—Blind-letter の blind と man (人, する人) とを結び付けし字。宛名の判明せぬ書信を取扱ふ郵便局員 blind-reader と同義。

blind-reader (blind' = rēd'ēr) (ブラインドリーダ), 「名」宛名不明郵便物判讀員。—Blind-letter 即ち宛名の判然せぬ書信を判讀する郵便局員を云ふ。

Ex. The constant work of over a hundred blind-readers is necessary to handle all those ill-addressed letters that find their way into the central post office every day. (毎日中央郵便局へ舞ひ込んで來る宛名不明の書信類を取扱ふには百人以上の宛名不明郵便物判讀員が絶えず働かねばならぬ)。

Blue-Water School (blō' = wā'tēr skōol) (ブルーウォータースクール), 「名」碧水派。—Blue-water (即ち大海) と school (學派) とを結び付けし字。英國の國防には強き海軍あれば足れりとなす戰略家の一派を斯く云ふ。

Ex. He is one of those strategists who regard the Royal Fleet as sufficient defence for Great Britain, in fact, one of the most powerful exponents of the Blue-Water School. (彼は王國艦隊を以つて大英國の國防に充分足れりとなす戰略家の一人なり。事實彼は碧水派の最も有力な

る代表者「典型」の一人なり)。

bo (bō) (ポー), 「名」浮浪人, 浪人者(俗語)。—Hobo (無職人)を短くせし字。親友間の野卑なる言葉としては「君」位に相當する用法を普通とす。

Ex. You don't know what you are up against, *bo!* (どんな困難に出遇して居るのか御存知ないのだらう, オイ君)。

boat-car (bōt=kār) (ボートカー), 「名」船舶揚卸輪臺。—Boat (船)と car (車)とを結び付けし字。船を水中に入れ又は陸上に引き揚げる爲めに使用する一種の車輪臺にして海上救命用に使用さるゝ物なり。

boat-train (bōt=trān) (ボートトレイン), 「名」郵船連絡列車。—Boat (船)と train (列車)とを結び付けし字。郵便船と連絡する様に時間を計りて運轉する汽車を云ふ。

Ex. The next train leaving Hiroshima at 10.30 is a *boat-train* and arrives at Miyajima just on time to connect with the steam packet for Beppu. (廣島を十時半に出發する次の列車は便船連絡汽車だから別府行き郵便船に連絡するのに丁度間に合ふ様に宮島へ著く)。

bone-head (bōn=hēd) (ボーンヘッド), 「名」馬鹿者, 失策をよくする者(野球用語)。—Bone (骨)と head (頭)とを結び付けし字。腦の働きの充分ならざるは頭腦が骨のみにて成る故なりとの思考より作られたる俗語にして。主として野球に關して用ゐられ失策を度々する player を斯く云ふ。普通には「馬鹿」「まぬけ」等の意に用ゐらる。此れと同じ觀念を表はすに ivory head (象牙の頭), “armored turret” (装甲の「固い」頭腦)の如き洒落れたる文字を以つてする事あり。(boner 参照)

boner (bōn'ēr) (ボナー), 「名」馬鹿化た失策, 失敗, (野球用語)。—Bone-head の bone に -er (……するもの)を結び付けし字。馬鹿化た失策の play を云ふ。

Ex. That bone-head centerfielder pulled off another *boner* by throwing it home instead of third. (あの中央外野手の馬鹿者は三壘へ投げずに本壘へ投げて復た一ツ失策の play をした)。

bonzoline (bōn'zō-līn) (ボンゾリン), 「名」骨或は象牙代用物。—英國にて使用さるゝ字にて骨, 角或は象牙の代用物となる複合物 (compound) を斯く云ふ。此の複合物は多く撞球技用の球を作るに用ゐらる。

bordereau (bōr'dē-rō) (ボーデロー), 「名」細目覺書, 添附明細書。—佛語より來りし字にて複数は bordereaux (單數と同じ發音)と綴る。他の書面に附隨し其の内容に就き細微の事柄を記録せる目錄表, 覺書或は手紙を云ふ。此の佛語が英語に採用され廣く使用さるゝに至りしは有名なる佛國の Dreyfus 事件に起因す。

Ex. The case of Alfred Dreyfus, a French artillery officer began with his arrest on Oct. 15, 1894, on the charge of having sold military secrets to a foreign power. He was court-martialed and convicted mainly on the strength of a *bordereau* forged by Captain Esterhazy. On June 2, 1899, the latter, who had been dismissed from the army for the part he took in this affair, confessed the authorship of the *bordereau* and a new

court martial was convened. (佛國砲兵士官アルフレッドドレーフアス事件は彼が一八九四年十月十五日某外國に陸軍の祕密を賣りし嫌疑に依り逮捕されたる時に始まる。彼は軍法會議に附せられ主としてエスタ〜ヘーデイ大尉の偽造せし細目覺書の證據に依り有罪を宣せられたり。此の事件に關係せる爲めに陸軍より免職となりし後者が一八九九年六月二日に其の細目覺書を書きし事を自白し茲に軍法會議は新たに開催されたり)。

Borstal system (bōr'stāl sīs'tēm) (ボースタルシステム), 「名」不良少年囚感化法(制)。—Borstal (地名) と system (制度) とを合せし字。一九〇二年に英國ロチェスターの近くの Borstal の罪人中十六歳より二十一歳即ち所謂 “juvenile-adult” (丁年に近い年齢の者) なる者にて十二箇月以上の懲役に服せる者を Borstal に集めて感化し善良に導き服役後は Borstal Association と云へる慈善團體の助けに依り職を求めしむる制度に起因す。Borstal の固有名詞は今や少年(青年)囚の感化の意にて普通名詞として用ゐらる従つて Borstal institutions (少年囚感化院) 或は Borstal Act (少年囚感化事業法令) 等の字有り。

Ex. Once again tribute is paid to the value of the *Borstal system*, and its extension is suggested. Of a total of 330, 235 young offenders, known as “juvenile-adults,” were pronounced to be “satisfactory,” and only 29 had been reconvicted. (吾人は再び青年囚感化制度に讃詞を呈し而して其の擴張すべき事を提言す。總數三百三十人の内二百三十五人の少年囚所謂 juvenile-adults は好結果なりと報告され而して僅か二十九名が再び罪に問はれた)。

bounder (bound'ēr) (バウンダァ〜), 「名」バウンド球(野球用語)。—Bound (バウンドする) と -er (するもの) とを結び付けし字。バウンド即ち地上を跳ね返つて來る球を云ふ。

box-office (bōks'ōf'īs) (ボックスオフィス), 「名」場席附込(事務)所(劇場用語)。—Box (マス「劇場の」) と office (事務所) を結び付けし字。觀客の申込みにより場席即ちマスの附込の割當を爲す事務所を云ふ。

Ex. The play will run only a month. If you want to get a reserve seat, you have to go to the *box-office* before noon. (劇は一箇月興業だ。若し豫約席が入用なら午前に場席附込所へ行かなければならぬ)。

box-score (bōks'skōr') (ボックススコア), 「名」採點表(野球用語)。—Box (箱) と score (得點) とを結び付けし字。米國の新聞紙が野球記事の終りに總成績表を掲ぐるに特別の形式を用ゐ得點其他の成績を示す表を云ふ。

Boys' Brigade (boiz' brī-gād') (ボイズブリゲード), 「名」少年訓練團。少年團。—Boys' (少年の) と brigade (組, 旅團) とを結び付けし字。教會, 日曜學校等の會員を軍隊式に組織したる團體にて少年を健全に訓練し布教慈善等の精神を養成するを目的となすものなり。

Ex. Adding the numbers from abroad, the total enrolled strength of the *Boys' Brigade* is 2,300 companies, with 120,000 officers, staff-sergeants, and boys. An interest in missionary work is cultivated among the boys, and

during the year a sum of more than £ 1,369 was raised for home or foreign missions, philanthropic or charitable purposes. (外國からの加入者数を加算すれば少年團の入籍数は二千三百中隊にて士官、幹部附軍曹及び少年数は十二萬人なり。少年の間に布教上の趣味精神を養成し。其の年内に一千三百六十九磅以上の金額は内國又は外國に於ける布教事業、博愛慈善事業等の爲めに募集されたり)。

boy-scout (boi' = skout') (ボイスカウト), 「名」少年義勇兵, 少年義勇隊員。— Boy (少年) と scout (偵察兵) とを結び付けし字。英人陸軍中將 Sir Robert Baden Powell 氏が組織したるもの。其の目的は少年を勇壯にし且つ獨立自尊の精神を養成するに在り。其の手段としては軍隊式信號, 山獵, 露營生活等の硬教育を施し不知不識の間に自然に接せしめ以って精神身體を訓練するに在り。少年義勇隊の組織は六名或は八名を以って Patrol (偵察隊) となし其れに少年指揮官を置く。patrol 集まりて troop をなし scoutmaster は assistants と共に之れを指揮す。

Ex. There is a company of *boy scouts* organized by young foreign boys of Yokohama. (横濱には外人の子供によりて組織せられたる少年義勇軍の一隊が有る)。

Ex. The *Boy Scout Movement*, which was inaugurated in the beginning of 1908, has made such rapid progress that in Great Britain alone it numbers already some 200,000 members. (西曆一九〇八年の初めに起つた少年義勇隊運動は長足の進歩を成し英國だけにて會員既に略二十萬を數ふ)。

braille (bräl or brä'y) (ブレール 又は ブライイ), 「名」凸字版, 凸字(盲人教授用の)。— 西曆一八二九年佛國盲人 Louis Braille 氏が盲人の爲めに六個の點の排列に依つて alphabet を作り之れをポイント活字凸版にて印刷せり。爾來 Braille の名は普通名詞となり氏の發明せし符號及び凸字版を意味するに至れり。

Ex. The *Braille system* for literature and music was brought into general use in England by the late Dr. T. B. Armitage. The original *Braille* is now used by institutions for the blind in the British Empire, in European countries, in Mexico, Brazil and Egypt. (讀物及び樂譜のブレール式は英國にては故人醫師アーミテエヂ氏に依りて初めて一般に紹介使用せらるゝに至れり。ブレール式凸字版の原式は現今は英國、歐洲諸國、メキシコ、ブラジル及びエジプトの盲人院にて使用せらる)。

braille music (bräl mū'zīk) (ブレール ミューズィック), 「名」盲人用樂譜。— Braille (人名) に music (樂譜) を合せし字。盲人の爲め Braille 式其の他の記號に依つて表はしたる音樂譜を云ふ。

braille-writer (bräl = rī'tēr) (ブレール ライター), 「名」凸字書寫機。— Braille と writer (書寫器) とを結び付けし字。一種のタイプライターの如き装置にて紙面に盲人用の凸字を寫し出す機械なり。

“**bread-line**” (bräd' = lin") (ブレットライン), 「名」炊出行列, パン行列。— Bread (パン) と line (列) とを結び付けし字。紐育市の貧民窟にて食物を貧民に慈善的に與へる時に混雜を防ぐ爲め順番に並びしむる其の行列を斯く云ふ。

break (brāk) (ブレイク), 「名」勝敗の分岐点, 勝敗の数, 運(野球用語)。—Break は野球上新らしき用語としては turning point 即ち勝敗の決する分岐点を云ふ。即ち攻撃軍が勝利の効果を獲收し始め守備軍の軍容亂れ始めたる play を云ふ。又 the breaks は運勢の意味に用ゐらる。

Ex. The break of the game came in the seventh inning when Doyle started a fusillade of hits. (試合の勝敗の分岐点は第七回目にドイルが安全球の一齊射撃を始めた時に来たのだ)。

Ex. We lost the game because the breaks were all against us. (我々は試合に敗けた。運が我々に全く向かなかつたので)。

breakdown gang (brāk'down' gāng) (ブレイクダウン ギヤング), 「名」鐵道椿事 取片附隊。—Breakdown (破碎) と gang (隊) とを結び付けし字。鐵道の變災或は椿事の有りし後の殘物を取片附ける工夫隊。(wrecking-crew; breakdown van 参照)

Ex. The train resumed its journey, leaving the wreckage of the coach for the breakdown gang to be cleared before the coming of the next train. (次の列車の来る前に片附ける様に客車の破碎物を取片附工夫隊に任して其の列車は再び旅程に上つた)。

breakdown van (brāk'down' vān) (ブレイクダウン ヴァン), 「名」鐵道椿事應急車。—Breakdown と van (有蓋貨車) とを合せし字。鐵道に椿事變災の有りし時線路より邪魔物を除去するに必要な諸道具を運搬する一種の貨車なり。

bull moose (bul mōos) (ブル ムース), 「名」進歩黨

員(米國の)。—Moose は元來北米合衆國産の麋(オホジカ)即ち鹿類中最大のものの名稱で有る。之れに bull を附して牡なる事を示せるものなり (bull-elephant 「牡象」と同じ作り方の字)。一九一二年前合衆國大統領ルーズベルト氏共和黨より脱して新たに組織せし進歩黨の會員の俗稱なり。

Ex. The Bull Moose leader will not run in the next presidential campaign. (進歩黨主領「ルーズベルト氏」は次の大統領選挙には打つて出でざるべし)。

bull (bul) (ブール), 「名」角袖, 失策。—米國の俗語にて平服を著せる巡查或は探偵を云ふ。又 bull shit! (牛糞) と云ふ下らない事又は嫌厭の念を表はす俗語を略して單に bull とし失策の意に用ふ。(下卑たる語なれば使用を避くべし)。

bully (bul'i) (ブッリ) } 「名」
Bully-beef (bul'i = bef) (ブッリ ビーフ) }
罐詰牛肉, 鹽漬牛肉。—佛語の bouilli (boiled meat) より訛りて英語となりし字。罐詰或は保存の目的にて漬け (pickle) たる牛肉を云ふ。

bumps (būmps) (バンパス), 「名」大敗, 這々の體に敗ける事。—Bump は撞き當る事なり。俗語殊に野球に關しては一大敗北の意に用ゐられ 普通複数 の形とす。俗語の “he gets his” とか “he gets his trimmings” と同意なり。

Ex. The pitcher got his bumps in the last inning when the Giants rallied and bunched eight hits off him. (投手は最後のイニングで大敗北の辛き目に遇はされた。それは巨人組が一舉して八個の安全球を連發したからだ)。

burglar-alarm (būr'glar = a-lärm) (バ〜グラー

アラーム),「名」盗賊警報機。—Burglar (盗賊)と alarm (警報機)とを結び付けし字。普通窓の側或は戸に装置し賊の侵入を電氣鈴にて自動的に報ずるものなり。

Ex. The burglar has no chance to break into our home, as every window is fitted with a burglar alarm. (私等の家へは賊はとて入られません。窓には悉く盗賊警報機が装置してありますから)。

bush (bʊʃ) (ブッシュ),「名」(俗語)頭髮、鬚。—狐の尾の如き叢尾を bush と云ふ。之れより轉じて俗に人間の頭髮或は鬚の事を云ふ。

Ex. Picture to yourself the boob with the bush perfumed and the face powdered. (頭髮に香水を付け顔に白粉を塗つたあの野呂間野郎のさまを想像して見玉へ)。

busher (bʊʃ'ɜː) (ブッシュア〜),「名」下級野球手。—Bushes (下級野球組合)に er (の人)を結び付けし字。下級の野球界より新たに大野球界に昇進されたる新参者を云ふ。(bushes; bush league 参照)

Ex. "You are a busher, as they say," the manager said to the newly recruited pitcher, "if you are to stay with us, you have to show us what you are good for." (監督は云つた君は我々の所謂下級野球手だ。若し我々の所に留まらんとするなら何んの役に立つかを見せて貰はなければならぬ)。

bushes (bʊʃ'ɛz) (ブッシュェズ),「名」下級野球界。山奥(田舎)野球隊。—米國の野球界には二大野球組合(major leagues)有りて全國の野球手の選り抜きの粹を集む。此の組合の外の組合即ち minor leagues 及び其

他の野球團は眼中に置かれず。此等の野球組を「山奥に有る」ものとの洒落にて bushes と云ふ。最初は major league の者が minor league を輕蔑して用ゐし字なれど今は廣く一般に詰らぬ野球隊の意に用ふ。(bush league 参照)

Ex. Any place outside of the major leagues is "bushes," as anything outside of New York is a "camping place," or anything outside of California is "China" to residents of those places. All minor leagues are "bush" leagues, as they are supposed to be in the "deep bushes," the "high grass," or the "tall timbers." (野球大組合の外の處は何處でも「下級野球界」である事は宛も紐育市の外は其處の人の所謂「露宿する處」であり又加州以外の所は何處でも其處の人に云はずと「支那」で有ると同じで有る。野球小組合は皆山奥野球隊と云はれる。それは草藪の中又は草が深く茫々と生へたる所又は高い樹木の内に有ると想像されるからだ)。

bush league (bʊʃ lēg) (ブッシュ リーグ),「名」下級野球組合。—Bushes と同じ意味にて major league に對して其の他の小野球團を呼ぶに用ふ。輕蔑的名稱なり。(bushes 参照)

C

cable-address (kæ'bl=æ-drēs) (ケーブルアドレス),「名」海外電報宛名略號,電報略號。—Cable (海底電報「信」,電報)と address (宛名)とを結び付けし字。telegraphic address (電報略號)に模して作りたる字。

telegraph code (電信符號)と混同すべからず。

Ex. In placing orders with us, our customers abroad will do well to remember our cable-address "Koebel." (海外の御華客様にして當店へ御注文下さるには當店電報宛名略號 "Koebel" を御記憶の方御便利と存じ候。

cable-car (kā'bl=kār) (ケーブルカー), 「名」ケーブルカー, 鋼條車。—Cable (索條)と car (車)とを結び付けし字。索條即ち cable-railway によりて走る乗車を云ふ。(cable-railway 参照)

Ex. We are planning to run cable-cars over the pond during the summer. (此の夏中ケーブルカーを池の上に走らす計畫です)。

cable-carrier (kā'bl=kār'ī-ēr) (ケーブルキャリアー), 「名」索道運搬籠(管)。—Cable (大鎖)と carrier (運ぶもの)とを結び付けし字。管或は籠様の物を索道に依りて谷間或は河川の上を越して土又は鑛石等を運搬するものを斯く云ふ。

cablegram (kā'bl-grām) (ケーブルグラム), 「名」海底電報, 海外電報。—Submarine cable (海底電線)の cable に gram (書きし物)を結び付け telegram に模して作りたる字。

Ex. A cablegram received here yesterday says that the situation in Mexico is improving. (昨日當地に著せし海底電報に依ればメキシコ國の形勢は改善されつゝありと)。

cable letter (kā'bl lēt'ēr) (ケーブルレター), 「名」海底電信による書信(手紙)。—Cable (海底電信)と letter (書信)とを合せし字。一定の字數を限り暗號でなく普通の文字にて書き割引料金にて打電する書信

代用電報を云ふ。但し普通の海底電報と時間が衝突したる時は後廻しにさるゝ事あるべしとの規約によりて取扱はるゝものなり。

cable-railroad (kā'bl=rāl'rōd')
(ケーブルレールロード)
cable-road (kā'bl=rōd')
(ケーブルロード) } 「名」索條鐵

道, 鋼條式鐵道。—Cable (鋼條)と railroad (鐵道)又は road (道)を結び付けし字。据置機關より起り地下に敷設せる電線を経て列車の握止器 (grip) に傳はる動力に依りて進行する一種の鐵道なり。cable-way (索道)と同義にも用ふ。

cable-way (kā'bl-wā') (ケーブルウエー), 「名」索道, 鋼條道, 鋼條式鐵道。—Cable と way (道)とを結び付けし字。ropeway 即ち索道の意なり。鋼條式鐵道の意に用ゐらるゝ事も有り。

cabbling (kā'bling) (ケーブルリング), 「名」海底電信にて通信する事, 大鎖を作る事。—動詞 to cable (海底電報を發す)を名詞の形とせし字。海底電信にて通信する事なり。又 cable (大鎖)を作る事の意にも用ふ。

calculagraph (kā'l'kū-lä-gräf) (カルキュラグラフ), 「名」計時器, 時間計算器。—Calculate (計算する)と -graph (書きし物, 書く物)を結び付けし字。時間の経過を計る器械にて電話交換局にて規定談話時間を計り又は仕事の時間を計るに用ゐらるゝものにて懐中時計の如き形をなし居り時計の如く針の運動に依つて時間を計る器械なり。

Ex. The foreman went about the workshop recording by the calculagraph how much time each worker took to make one kettle. (監督は工場を視廻り各職工が一個の釜を作

るに要する時間を計時器で計つて書き留めた。

calculating-machine (käl'kū-lat''ing=maš'n') (カルキュレーテイング マシン), 「名」計算器。— Calculating (計算する事)と machine (機械)とを結び付けし字。計算する器械即ち comptograph と同じ意味に用ふ。又潮時を豫め示し或は天文用の計算器にも適用さる。(adding-machine; comptograph 参照)

canoe automobile (ka-nōō' a''tō-mō'bīl) (カヌー オット モービル), 「名」自動車艇, ウツボ形自轉車。— Canoe (丸木船, 輕き遊船)と automobile (自動車)とを結び付けし字。一九〇九年巴里のラバイエール (Ravaillier) 氏に依つて發明せられたる丸木船の形を成せる自動車にて陸上及び水上を進行し得るものなり。陸上を進行の際は車輪に動力を傳へ水中を行く時は推進器に動力を移すなり。

Ex. The French troops will greatly be assisted by the service of *canoe automobiles*, which they adopted a few years ago, in crossing the Rhein, as those machines can transport provisions on land and sea. (佛國軍隊は數年前に採用した自動車艇に依つてライン河を渡る時に大に便利を得べし。其の自動車艇は水陸共に糧秣運搬に適する故に)。

cap-paper (káp'=pā'pēr) (キャップ ペーパー) 「名」蒼色包紙, 一種の筆寫用紙。— Cap (無縁帽子)と paper (紙)とを結び付けし字。薄蒼色の厚き紙にて乾物店其の他に帽子或は圓筒の形に作りて穀類等を容れ包むに用ゐる紙なり。單に cap のみにて此の意味に用ゐる事もあり。

carbon-paper (kār'bŏn=pā'pēr) (カーボン ペーパー), 「名」カーボンペーパー, 謄寫紙, 油煙紙。—

Carbon (炭素)と paper (紙)とを結び付けし字。炭素或は其の他の藥材を以つて作りたる薄き謄寫紙なり。新式の carbon paper は紫色にして炭素にて造らるゝものに非らず。主としてタイプライターの謄寫用に使用さる。

Ex. The typist says that he can not take a copy of the letter as there is no *carbon-paper* in the office. (タイプライター手は事務所に謄寫紙が無いから手紙の寫しが取れないと云ひます)。

cartel (kār'tēl) (カーテル), 「名」同業者組合, 商店同盟。— 政治或は商業團體の同盟なり。殊に獨逸及び奧地利にては商業上の競争を避くる爲めに組織せる同業者組合を云ふ。cartell とも綴る。

Ex. Our trusts are no worse than the British syndicates, the German *Cartels*, and like bodies under different names in all nations. (吾が國のトラストは英國のシンジケート, 獨逸のカーテル及び種々の名目にて世界各國に存在する類似の團體より劣るものにあらず)。

cash-carrier (kāsh'=kār'ī-ēr) (キャッシュキャリアー), 「名」現金運搬箱。— Cash (現金)と carrier (運ぶもの)とを結び付けし字。店頭の勘定臺と現金出納掛との間に鋼線を引き其れに依つて現金入れの小さき吊箱を彼我に送還して cash-boy, cash-girl の代用をなさしむる其の吊箱を斯く云ふ。デパートメントストアの如き大店等は多く此の設備を有す。

cash-railway (kāsh'=rāl'wā) (キャッシュレールウェイ), 「名」現金運搬装置 (道)。— Cash (現金)に railway (鐵道)を結び付けし字。前述せる cash-carrier を運搬するに必要な鋼條其の他の装置なり。

cash-register (kash' = rōj'is-tēr) (キアシュ レヂスタ〜), 「名」自動金銭記録抽出, 現金計算抽出。—Cash (現金)と register (表記「自記」器)とを結び付けし字。現金を入れる平たき抽出の上にタイプライターの如き鍵盤 (keyboard)有りて賣り上げ高を自動的に加算し其の合計を数字にて示し且つ記録する作用を爲す一種の自動加算器付きの現金入抽出なり。

Ex. The *cash-register* on the counter saves the work of at least two men, as it registers the sales and calculates the amount of sales, together with the number of sales. (勘定臺に有る現金計算抽出は少なくとも二人分の働を助ける。その理由は其の抽出は賣上げを登記し賣上げの額を計算し又同時に賣却件数をも表示するからである)。

catch-my-pal crusade (käch' = mī = päl' krū-sūd') (キアチマイパル クルッセード), 「名」一九〇九年愛蘭の北部に起りたる禁酒運動。—「私の仲間(友)を捕へる運動」の意なり。各自其の仲間(僚友)の者の飲酒を止める運動との意より此の名稱有るなり。

central rail (sən'trəl rāl) (セントラル レール), 「名」中央軌條。—Central (中央の)と rail (軌條)とを合せし字。普通の二條のレールの中央に有る一條のレールにして電車を運轉する電流を通せるものなり。(middle rail; third rail 参照)

centrifugal machine (sən-trif'ū-gal mǎ-shēn') (セントリフュガル マシン), 「名」廻轉分離器。—Centrifugal (遠心の)と machine (機械)とを結び付けし字。急速に廻轉し其れに伴ふ遠心力を利用し密度の異なる物質を分離せしむる機械なり。例へば絲より濕

氣を取り去り又は牛乳よりクリームを分離する場合等に用ゐらる。

charlotte russe (shār'lot rūs) (シャーロット ルース), 「名」シャーロット ルース。—佛語を採用して英語とせし字。攪(カ)いて泡立たしたるクリーム (whipped cream) 或はカスタード (custard) を種々の形に作ったカステラの中へ入れたる一種の菓子の名。佛語のまゝ charlotte à la russe と云ふ。

charmeuse (shār'mūz) (シャアマーズ), 「名」シャアマーズ 繻子。—佛語を英語に採用せし字。柔くして光澤無き繻子の如き地質のものにして婦人の衣服等に用ゐらるゝ一種の織物なり。

Chautauqua (shā-tā'kwā) (ショウトークワ), 「名」夏期教育連続講演會。—Chautauqua は北米紐育州の湖水の名稱にして其處に開催せらるゝ Chautauqua Literary & Scientific Circle の講演會に模したる連続せる講演會を云ふ。Chautauqua の名稱は近來は上記類似の講演會に對する普通名詞となれり。(Chautauquan System 参照)

Ex. Mr. Bryan, State Secretary, agreed to the engagement to lecture at the *Chautauqua*. (内務卿ブライアン氏は夏期教育講演會で講演する契約を承諾した)。

Chautauquan (shā-tā'kwān) (ショウトークワン), 「形」ショウトークワ講演會に關する。—Chautauqua を形容詞の形にせし字。

Chautauquan System (shā-tā'kwān sŷ's'tēm) (ショウトークワン システム), 「名」ショウトークワ式夏期講演會。—一八七四年 John H. Vincent 及び Lewis Miller 兩氏の創立に係る Chautauqua Literary and Scientific Circle の教育制度を斯く云ふ。通信教授及

び夏期紐育州シヨウトークワ湖畔にて開かる、講習會にして高等文藝及び科學を正則に教授す。而して其の大學は卒業後學位を授與する事普通の大學と異なる所無し。

Ex. The Chautauqua Literary and Scientific Circle, founded in 1878, aims at a sort of university extension course. The *Chautauquan System* is as full and comprehensive in its scope as any ordinary college can possibly be. (一八七八年創立のシヨウトークワ文藝科學會は一種の大學巡回講話の如きを目的とす。シヨウトークワ教育制度は普通の大學のいづれとも内實の豊富及び範圍の廣さに於て優に拮抗す)。

chassis (chäs'is) (チャシス), 「名」砲座、自動車臺、飛行機臺。一佛語より採用されし字。原語の通り shä'si' (シャシー) とも發音す。載せらるゝ物の、意なり。第一義としては大砲を載せて据え附ける砲座或は掩蔽砲臺の砲座をレール装置にて動かす所の一種の移動臺なり。第二義としては自動車の車臺にして車身と乗者席とを除ける部分即ち金屬にて作られたる矩形の車臺、機關部及び其の總ての附屬器械、車輪等を含める部分を云ふ。第三義としては飛行機の下の臺即ち機關及び操縦者席等を載せてある部分にして其の下には地上滑走車輪、著陸用滑板を附屬しある部分を云ふ。又車輪、滑板及び其の邊りの支柱等のみを云ふ事も有り故に landing chassis とも云ふ。

Ex. For traversing, the early carriages were pried bodily sidewise by levers; then the chassis was pivoted and rotated by ropes and pulleys or later by gearing..... Still later the

chassis was fixed upon a turntable rotated by a pinion working in a circular rack in the foundation and operated by gearing. (旋回するには昔の砲車は全體を横に挺で動かした。其の後には砲座は旋回軸に据え附けられ綱と滑車で旋回された。更に後に至つては聯動機で旋回された。更に近世に至つては砲座は基床の上であり圓形齒棒上に動く小齒輪に依つて旋回さるゝ轉車臺の上に据え附けられ聯動機にて操縦された)。

Ex. This chassis will be fitted up with the latest body of a five-seated touring car. (此の車臺には五人乗旅行車の最新式車身が備へ附けられます)。

chauffeur (shō'fēr' (ショーファー), 「名」自動車運轉手。一佛語より採用されし字。原語の如く 'sho'für' (ショファー) とも發音す。他人に雇はれて自動車の運轉を勤めとする者及び官許を得て公衆の爲めに自動車運轉を職とする者を云ふ(辻自動車運轉手の如き其の一なり)。英語流の auto driver よりも普通に用ゐらるる傾向あるが如し。(motorist 参照)

Ex. The law defines the word *chauffeur* as any person operating or driving a motor vehicle as an employee or for hire. (其の法律はショファーなる語は被使用人として或は賃雇されて自動車を操縦し或は驅禦する總ての人を意味すと規定せり)。

check-till (chēk'til) (チェックティル), 「名」現金受入記載抽出。一Check (照査、檢算) と till (抽出) とを結び附けし字。店舗の帳場等に備へ置き受取りたる現金を自動的に記載する抽出なり。

chesterfield (chēs'tēr-fēld) (チェスタ〜フィールド), 「名」外套, 長椅子。—昔有名なりし英國の貴族 Chesterfield 伯の名を採りて名附けし外套の一種なり。中位の長さにて前の端を重ねて合はず様にし背部には飾り無き外套なり。又前方の下を前より後へ切り去りたる四ツボタン付きの一種の上衣にて上のボタンのみを掛けるものを云ふ。第二義としては一種の長椅子 (couch) を云ふ。

choking-coil (chōk'ing=koil") (チョーキングコイル), 「名」塞止巻輪 (電氣の供給制限または塞止用の)。—Choking (息を塞止する事) と coil (巻輪, 電輪) とを結び附けし字。良傳導體の電線を鐵の心棒に巻きたるものにて交流電流の方向を一方に轉ずる時に他の一方の電流を塞止するに用ふる電輪なり。

chop-suey (chōp' =suei) (チョップスーイ), 「名」肉雜煮。—Chop (肉の截片) と小切れの意味の支那語 sui より來りし suey とを結び附けし字。煮たる或は油にて揚げたる肉類を小切りにしたるものと野菜類を一緒に煮たる一種の支那料理にて米國にて盛んに賞味さるるものなり。

chortle (chōr'tl) (チョートル), 「動」ゲラゲラ笑ふ, 大笑す。—「鏡世界」(Through the Looking-glass) の著者として有名なる Lewis Carroll に依つて作られ通俗語として行はるゝ字。chuckle (ホ、笑む) と snort (高笑す) とを合したる字 (portmanteau-word) なり。喜悅を表はす爲め大聲を發して笑ふを云ふ。

Ex. Hearing the joke the king **chortled** in joy. (洒落を聞き王様は悦んで大笑をした)。

Christian Science (krī's'chīan sī'ēns) (クリスチアンサイエンス), 「名」信仰的醫療法, キリスト教醫療法。—Christian (キリスト教の) と science (科學) とを

合せたる字。西曆一八六六年に米國婦人 Mrs. Eddy の初めて主唱せし宗教的の醫療法なり。其の論據は罪惡と病氣とは共に主觀的のものなればキリストの精神の宿る所には消滅すると云ふにあり。従つて總ての病氣は精神的罪惡と等しくキリストの信仰によりて治療する事を得べしと云ふ。米國にては一時非常なる流行を極め種々誇張的に其の效能を唱へられたり。一九一〇年エディ夫人の死すると共に勢力頓に落ちたる觀有り。

Ex. The declared principle of *Christian Science* is God, and its basic purpose is the moral, mental and physical regeneration of mankind. It teaches that *Christian Science*, rightly understood, is intended not only to save the sinner but also to heal the sick. (キリスト教信仰療法の標榜する所の主義は神にあり。而して其の根本的の目的は人類の道德的, 心理的及び肉體的の改造「復生」に在り。而してキリスト教信仰療法は正確に了解するゝに於ては唯に精神上の罪人を救ふのみならず亦病人をも治するものなりと教ふ)。

chucker-out (chūk'ēr=out") (チャッカ〜ラウト), 「名」追出人。—To chuck out (追ひ出す) の chuck に -er (する人) を附けて out と共に一字としたる俗語。會場等より邪魔になる人等を追ひ出したり腕力を以つて引き出したりする人を云ふ。

Ex. Before the concert could go on, the **chucker-out** had to take the drunkard out of the house. (音樂會を繼續して行く前に先づ追出人が其の醉漢(ヨツパライ)を建物の外へ追ひ出さなければならなかつたのだ)。

Church Lads' Brigade (chûrch lîz brî-gâd') (チャ〜チ ラッズ ブリゲード), 「名」教會少年團。— Church (教會) と lads' (少年の) と brigade (隊・旅團) とを合せし字。英國の國教教會の少壯者に依つて組織されたる一種の團體にして軍隊的訓練に加ふるに精神的教育を興ふるを目的とする團體なり。(boy scouts 参照)

Ex. The *Church Lads' Brigade* is doing for lads of the Church of England what the Scout movement is accomplishing among young Britons generally. (教會少年團が英國の國教教會の少壯者の爲めになす事業は少年義勇團が英國の少壯國民全般の爲めに成しつゝ有る所と同じである)。

cinema (sîn'ê-mâ) (スイ=マ), 「名」活動寫眞, 活動寫眞場。— Cinematograph (活動寫眞) を通俗的に略したる字。此の字は形容詞的或は合成名詞 (compound noun) として用ふる事多きが如し。又活動寫眞館の意にも用ゐらる。

Ex. The *cinema* has almost done away with the necessity for foreign travel. From your seat in the *cinema* you can now see all the beauties of the world in their natural colors. (活動寫眞は外國漫遊の必要を殆んど無くした。活動寫眞場の席に居つて諸君は全世界のあらゆる美觀を其の自然の色彩其のまゝに見る事が出来る)。

cinema-book (sîn'ê-mâ=bōok) (スイ=マブック), 「名」活動寫眞劇寫眞入書籍。— Cinema (活動寫眞) と book (本) とを結び付けし字。活動寫眞撮影の爲め登場せしめたる劇の寫眞を主としたる寫眞入書籍を斯く云ふ。

Ex. "Quo Vadis" brought out as a *cinema-book* was so successful that "Hamlet" in a similar style will be added to the list. (活動寫眞劇寫眞入書籍として發行されし「何處へ行く」は大層好評なりしを以つて同様の體裁でハムレットも其の一に加へらるべし)。

cinema-drama (sîn'ê-mâ=drâ'mâ) (スイ=マドラマ), 「名」活動寫眞劇。— Cinema (活動寫眞) と drama (劇) とを結び付けし字。活動寫眞に撮寫する目的で演ずる劇を云ふ。之れに模して drama と同類の意義の文字に cinema を結び付け例へば cinema-play の如き字を作らる。(cinema 参照)

Ex. Pretty Alice Joyce of the Kalem Company is one of the most popular *cinema-drama* actresses. (カレム會社の美しいアリスジョイスは活動寫眞劇女優の最も人氣ある一人である)。

city article (sî'yî ar'tî-kl) (スイッテイ アーティクル), 「名」商況記事, 財政商業記事 (倫敦新聞の)。— City (市, 都市) は英國にては倫敦の商業區を云ふ。例へば倫敦の商業に従事する者を city man と云ふが如し。此の意味の city に article (記事) を合せし字にて倫敦の新聞紙に掲げらるゝ財政, 經濟, 商況等に関する記事を斯く云ふ。

clairvoyance (klâr-voi'ans) (クレアヴォイアンス), 「名」千里眼, 直覺的才能, 千里眼の職。— 佛語より其の儘採用せし字。clearly seeing の意なり。普通的情態普通の視力にて見る能はざる物を見る力即ち千里眼の能力を云ふ。それより轉じて直覺的に聰明なる能力にも用ふ。又此の字を千里眼の營業即ち千里眼の profession の意にも用ふ。

Ex. Clairvoyance is the ability to see independently of the physical sense of sight. (千里眼とは肉眼の視覚より離れて「肉眼の視力に關係なしに」見る能力なり)。

clairvoyant (klâr-voi'ant) (クレア-ヴォイアント), 「形」千里眼の。「名」千里眼の人。一形容詞としては「千里眼に関する」「千里眼力有る」の意なり。名詞としては「千里眼の能力を有する人」の意なり。女ならば佛語の通り clairvoyante と綴る。

Ex. He is a clairvoyant who can see objects hidden from ordinary human vision, and to describe events far distant in space or time. (彼は千里眼の人だから普通の人間の視力には見えぬ隠れたる事物を視且つ遠く離れたる場所或は時日に於ける出来事を精しく話す事が出来る)。

club (klub) (クラブ), 「名」共同購求(買入)組合。一 Club は元來俱樂部の意なり。新しき字としては購求を共同にする爲め新らしき組織を有する一種の組合の意に用ゐらる。又此の意味の動詞にも用ゐらる。

clubdom (klub'dgm) (クラブダム), 「名」俱樂部界。一 Club と dom (管轄, 領國) とを結び付けし字。俱樂部及び俱樂部生活を總稱して斯く云ふ。

clubland (klüb'=lând'') (クラブランド), 「名」俱樂部境(區域)。一 Club と land (國, 郷) とを結び付けし字にて俱樂部が澤山設立され居る處の意なり。倫敦の St. James 街は俱樂部の集中點なれば俗に此の名稱有り。

club-man (klüb'=männ'') (クラブマン), 「名」俱樂部員。一 Club の會員の意なれど此の字には流行兒を聯想せしむる一種の意味を含む。

Ex. He is one of those club-men who dine at midnight and breakfast at eleven a.m. (彼は眞夜中に夕飯を食し午前十一時に朝飯を喰ふ俱樂部連の一人だ)。

club sandwich (klüb sänd'wich) (クラブ サンドウィッチ), 「名」俱樂部サンドウィッチ, サラドサンドウィッチ。一焼パンの間に七面鳥或は鶏の肉に鹽豚肉を少量と蕒苳(チシヤ)の葉を入れ其の上に佛國式のソース(mayonnaise dressing)を附けたる一種のサラダの如きサンドウィッチにて主として俱樂部其の他夜會等に於て嗜好さるゝ故に此の名有りと言はる。

coach (kōch) (コーチ), 「動」走壘者を指導す, 聲援す, (野球用語)。一 Coach は端艇競漕に出づる人を訓練する意に用ゐしより轉じて野球用語となりし字。第一壘或は第三壘の後方に居て未方の走壘者に聲援或は指揮, 信號等を與へるを斯く云ふ。此の意味に於て此の字は新らしき字なり。

coacher (kōch'ēr) (コーチャー), 「名」走壘者指揮者(野球用語)。一 Coach に -er (する人)を結び付けし字なり。

Ex. The coacher shall not address remarks except to the base runner, and then only in words of assistance and direction in running bases. There must never be more than two coaches on the field, one near first base and the other near third base. (走壘者指揮者は走壘者以外に言語を掛くべからず。しかも走壘上の援助と指揮の言葉のみたる事。試合場には決して二人以上の指揮者有るべからず。一人は一壘に近くをして他の一人は三壘に近く居る事)。

coherer (kō-h'ēr) (コヒーラー), 「名」接觸管。—Cohere (接觸する) に -er (するもの) を付けし字。物理及び無線電信用語にて電流を以つて玻璃筒内の金屬の粉末を接觸せしめ其れより起る強き感電力を利用して無線電信の受信機に装置したるものを斯く云ふ。(decohere 参照)

cold light (kōld lit) (コールドライト), 「名」冷熱光線, 無熱光線。—Cold (冷き) と light (光) とを合せし字。佛國の Dussaud (デュソー) 博士に依つて發明されたるものなり。一定のボルトに適する様に作りたる電球に其れ以上の強力のボルトの電流を通ずる時は電球中の點火線を焼き切るのが普通なれども若し電流を通じて直ちに絶縁する時は點火線を破損する事無し。此れを利用して電球に規定以上の電流を一定の瞬間に限つて斷續的に通じて強力な光線を點出す。此の光火は熱度無きを以つて cold light と稱せらる。cold light system (無熱光線點火法) には此の特色有る故に漸次實用に適用されつゝあり。

Ex. Professor Dussaud, inventor of the *cold light system*, found that if a lamp adopted to a certain voltage is subjected to a current of higher intensity during a fraction of a second, and then breaking the current, is allowed to rest for an equal period of time, the result is a light of greatly increased brilliancy, while the lamp itself remains entirely cool. (無熱光線點火法の發明者デュソー教授は若し或る一定のボルトに適する電球に一秒の幾分時の間その一定以上の強力電流を通じ直ちに其の電流を絶縁して同一時間の間電流を絶つたらば其の結果光度は大

に増大されそして電球には全く熱を生じないと云ふ事を發見した)。

come back (kūm bāk), 「動」元氣回復す, 盛り返す。—此の字の新らしき用法としては拳闘, 野球其他の競技等に關し一時退歩したる競技者が再び以前の力量, 元氣, 身體の状態等を回復する意なり。

Ex. Jefferies, once the world's heavyweight champion, went into training three months before the fight with Jack Johnson, but failed to *come back*. (嘗て世界の巨大學闘のチャンピオンたりしジエツフエリズはデアツク ジョンソンとの試合の三箇月前に練習を始めたれども昔の元氣状態を回復する事が出来なかつた)。

come-back (kūm'-bāk') (カムバック), 「形」昔の元氣に立ち返へれる, 元氣回復の, よみかえれる。—Come back を過去分詞とし形容詞の役を爲さしめたる字。運動, 競技等に關する記事には屢々用ゐらるゝ字なり。

Ex. The spectators cheered the "*come-back*" pitcher again and again, as he struck out three men running. (元氣回復して昔の俤に戻れる投手が三人の打者を續け様に三度振りにしたので見物人は再三喝采した)。

company-promoter (kōm'pā-nī = prō-mō'tēr) (カンパニプロモーター), 「名」會社創立首唱者, 會社創立奔走人, 會社發起者。—Company (會社) と promoter (發起人, 創立者) とを結び付けし字。promoter と同意義に用ふ即ち株式會社或は類似の事業の責任を負擔し或は特種の利權を得て其の創立に奔走盡力するを職業の如くする人を斯く云ふ。此の字が往々惡しき意味に用ゐらるゝ事は promoterism (會社創立周旋) の用法と類似す。

company store (kóm'pá-ní stór) (カンパニストア), 「名」會社商店, 會社百貨店。—Company (會社) と store (店) とを合せし字。—會社が其の本業以外に附屬的に百貨店を營み其の會社の被使用人が其の給金の内拂を受くる際に現金の代りに其の百貨店宛の商品券 (orders) を受けそれにて被使用人各自の需要品を得る組織の其の百貨店を斯く云ふ。

comptograph (kómpt'ô-gráf or kount'ô-gráf) (コムプロトグラフ 或は カウントグラフ), 「名」計算器, 加算器。—Count (算へる) の廢語の compt (カウント) と graf (書くもの) とを結合せし字。—見タイプライターの如き形式にて數字を記しある押子を押せば數字が紙上に印出し其の合計を自動的に書く機械なり。(adding-machine 参照)

comptometer (kómpt'ôm'ê-têr) (コムプロトメター), 「名」計算器, 加算器。—Compt (算へる) と計器の名稱の接尾語なる meter (計器, 計り) とを結合せし字。計算器の意にて calculating-machine 及び adding-machine と同じ。

condominate (kón-dom'î-nât) (コンドミネート), 「形」共同政治の, 共同支配の。—Condominium の形容詞の形なり。dominium の語尾を dominate に類似せしめて作りたる字。(condominium 参照)

condominium (kón'dô-mîn'î-üm) (コンドミニウム), 「名」共同政治, 同治, 共同支配。—Con (共に) と羅典語の dominium (=dominion 統治, 領國) とを合せし字。外交的用語にて二箇國或は其れ以上の國が共同して他の國の政治を行ふ事を云ふ。condominion とも云ふ。

Ex. The *condominium* of Indo-China may be experimented if Holland agrees to control and manage its affairs in conjunction with

Japan. (若し和蘭が日本と提携して印度支那の政治をするを許せば同國「印度支那」の共同政治を試みるも可ならん)。

consolation prize (kón'sô-lá'shqn príz) (コンソレーション プライズ), 「名」慰安(慰藉)褒美。—Consolation (慰安, 慰勞) と prize (褒美) とを結び付けし字。競争にて本賞を得る能はざりし競争者に慰安の爲め特に授與する褒美を云ふ。(consolation race; consolation stakes 参照)

Ex. Mr. H. G. Hawker, an Australian biplane pilot of judgment, although unsuccessful, provided an object lesson of the speed and range of a well-handled sea-plane, and deserved the *consolation prize* of £1,000 which "The Daily Mail" gave him. (判断力に富める濠洲の複葉飛行機操縦者エイチデーホウカ〜氏は不成功に終りしとは雖も巧妙に操縦せる海上飛行機の速力及び飛行距離の實物教訓を示した。そしてデーリメール新聞の與へし一千磅の慰安褒美を受ける資格が有つた)。

consolation race (kón'sô-lá'shqn rās) (コンソレーション レース), 「名」慰安競争。—Consolation (慰安) と race (競争) とを結び付けし字。前回の競争に不成功なりし競争者の爲め更に行ふ競争を斯く云ふ。(consolation prize 参照)

consolation stakes (kón'sô-lá'shqn stākz) (コンソレーション ステークズ), 「名」慰安競馬。—Consolation (慰安) と stakes (競馬) とを合せし字。consolation race と同じく前回の競馬に敗北せし者の爲めに行ふ競争なり。(consolation prize; consolation race 参照)

corridor carriage (kōr'i-dgr kār'ij) (コリドゥキアリジ), 「名」回廊附客車(英國)。—Corridor (廊下)とcarriage (客車)とを合せし字。廊下付きの客車即ち客車内の一部に區域を立て通行用廊下とせる客車にてcorridor train (貫通列車)等に連結さる。

covering letter (kōv'er-īng lēt'er) (カヴァーリングレター), 「名」同封物説明書信。—Covering (上覆)とletter (手紙)とを合せし字。同封物を説明する爲めに發信する書信を云ふ。

CQ (sī kū) (シーキュー)

CQD (sē kū dē) シーキューデー } 「名」非常

信號、救助報、(無線電報符號)。—CQD は元來は無線電報の非常信號なれど今は救助報の意味にて殆んど普通名詞的に使用さる。單にCQとも云ふ。但し後の形が漸次多く使用せらるゝものゝ如し。CQD は略字なりとの考へより英米人間に俗に“Come quick! Danger!”の略と云ふ考へ廣く行はるれど例文に有る如く其の様な意味は全く無く單に無線電信の符號なり。CQDの信號の初めて使用されしは一九一〇年フロリダ (Florida) 號が米國の東北海岸のナンタケット (Nantucket) 島の沖にてリパブリック (Republic) 號と衝突せし時なり。夫れより一時盛に使用されたれど現今にては“S. O. S.”の符號の使用多きが如し。(S. O. S. 參照)

Ex. Most persons thought CQD meant “Come quick! Danger!” But it was nothing so romantic as that. CQ is a signal used to call all stations within hearing. It doesn't stand for any words. The letters were used because in the telegraph code they were quite different from other letters. (大概

の人はシーキューデーの意味は「直ちに來れ! 危険!」と思つて居た。併し決して何にも其んなに浪漫的のものでは無い。シーキューは著電區域内の無線電信所全部を呼び出すのに使用さるゝ符號で有る。此のCQDは何に文字をも代表しない。此の字の使用された理由と云ふのは電信暗號中で他の字と全く違つて居るからである) *The New York Sun*.

crash (krāsh) (クラッシュ), 「動」有效打撃を亂發す、(野球用語)。—Crash は憂々と響く音を表はす字されど新しい用法としては野球に於ける大打球の連發を云ふ。即ち a team starts crashing と云へば三人四人の打者が順番に大安全球の連發をし始めるの意である。

cross-tail (krōs'tāl') (クロステール), 「名」交叉尾翼。—Cross (交叉す)とtail (尾)とを結び合せし字。新しい用法としては飛行機の尾舵の縦及び横の翼面の交叉により成る尾翼を云ふ。

crowd (kroud) (クラウド), 「動」擠(オ)し詰める、(野球用語)。—To crowd は普通擠し迫るの意なれど新しい用法としては野球にて打球者が打球の際本壘標に極めて接近して身構へ投手を困まらず事を云ふ。

cruiser (krūz'er) (クルーザー), 「名」大形發動機船、大形快走船。—Cruiser は海上巡邏者の意味にて普通巡洋艦の意に用ゐらる。新しい用法としては料理、住み居、寢泊りの設備有る船室を有する大形發動機附船 (motor-boat) 或は大形快走船 (yacht) を云ふ。(cruiser motor-boat; motor-boat 參照)

cruiser motor-boat (krūz'er mō'tgr=bōt') (クルーザーモーターボート), 「名」巡洋發動機船、大形發動機船。—Cruiser (巡洋船)とmotor-boat (發動機船)とを合せし字。料理、寢泊り、住み居等の設備有る海洋向大形の發動機船を云ふ。

crypton (crīp'tōn) (クリプトン), 「名」クリプト

ン瓦斯。—Cryptic (祕密の)より作りし字にて krypton と綴るを普通とす。一八九八年英國の學者 Ramsay 氏に依りて發見されたる一種の新元素なり。(krypton 参照)

Cubism (kū'bīzm) (キュービズム), 「名」立體派。—Cube (立方形)と ism (主義, 派)とを結び付けし字。Post Impressionism (後期印象派)に續いて起りし畫派なり。事物を觀るに當つて起る感情を幾何畫的形象を以つて表はす畫派にて主張する處は立方形, 三角及び平方形の連鎖は事物の根本的特長を表はす力強しと云ふに在り。主として立方及び三角形を基礎として畫家の氣分を表はすに力む。(Cubist; Post Impressionism; Futurism 参照)

Ex. The results (impressions of New York) lacked even the remotest objective significance, and it is possible in a few years, when the New York experience is forgotten, the author of them may find himself in the case of Browning when confronted with some of his own lines. To know which is which may embarrass this exponent of *Cubism*. (其の結果「紐育の印象の畫」は些少の客觀的意義も無かつた。そして恐らくは數年後紐育の經驗が彼の念頭を去つた時には其等の畫を描いた畫工は詩人ブラウニングが自分自身の書いた詩を判讀せんとするのと同じ様な事に成るかも知れない。立體派の此の主張者は何にが何んだか其の意味を知るに困却するに至るかも知れない)。

cubist (kū'bīst) (キュービスト), 「名」立體派美術家(畫家)。—Cube (立方形)に -ist (する人)とを結び付けし字。Cubism を主張する美術家なり。(Post Im-

pressionist; Futurist 参照)

Ex. To the *cubist* the subject is expressed through an abstract sensation which in his peculiar mental workshop is turned out through geometric figures. (立體派美術家の眼には其の畫題は抽象的感動となつて顯はる。そして其れは彼の特殊なる腦裡の工場で幾何學的の形象を以つて作出さる。)

curtain-raiser (kūr'tīn=rāz'er) (カーティン レーザー), 「名」(劇用語)一幕物(主演の前にやる演藝), 幕明け狂言。—Curtain (幕, 帳)と raiser (揚げるもの)とを結び付けし字。本物の演藝の始まる前に演ずる短き(普通一場)劇を云ふ。字義は幕明けをするもの、意なり。

curve (kūrv) (カーヴ), 「名」カーブ球(野球用語)。—Curve (曲線)は野球用語としては投手が打者に投げし球が特殊の回轉の爲めに曲線を描くを云ふ。従つて従來は打者と反對の方向に曲るを out curve と稱し打者の方向へ曲るを in curve と稱し。上部に曲るを up shoot と稱し下方に曲るを drop と稱せり。併し新しい傾向としては curve は肩の上より投げたる急速の投球が右利の打者と反對の方向且つ下方に急激なる角度を爲して曲るを云ふ。in curve の名稱は野球家には殆んど用ゐられず。此の特殊の curve 以外のカーヴ球には各其の名稱あり。out, slow, drop, sidearm, jump, barrel hook の如し。(hook; jump; knuckle ball; fadeaway 参照)

cyclecar (sī'kl-kār) (サイクルカー), 「名」自動自轉車, 小自動車。—Cycle (自轉車)と car (車, 自動車)とを結び付けし字。cycle は bicycle, tri-cycle, etc. の略にて總ての自轉車に一般的に用ゐらる。motor-cycle と

同意義なれど此の cyclecar は自轉車に自動車を模せる設備を爲せる即ち大形の二輪又は三輪の自動自轉車を云ふ。(motor-cycle; auto-bi; side-car; miniature car 参照)

Ex. Although the miniature car and the cyclecar are really distinct, the more expensive and complicated cyclecar is a motor-car in miniature and the former is as novel as the true cyclecar. (小自動車と自動自轉車とは實際は特種のもので有るけれ共高價で且つ複雑なる自動自轉車は小規模の自動車であつて前者は眞の自動自轉車と同じく最新珍奇なるものゝ一つである)。

cycle-way (sī'kl-wā'') (サイクルウェイ), 「名」自轉車道。—Cycle (自轉車)と way (道路)とを結び付けし字。自轉車乗りの爲めに設けられたる道路例へば自轉車競争場の如きを云ふ。

cycloramic camera (sī'klo-ram'ik kām'g-ra) (サイクロラミック キメラ), 「名」圓形眺望寫眞機。—Cycloramic (圓形パノラマの)と camera (寫眞機)とを結び付けし字。一度レンズを開ける事に依つてパノラマ的の廣い眺望を撮影し得る装置の寫眞機なり。

cymometer (sī-mōm'-ē-tēr or kī-mōm'-ē-tēr) (サイモミタ〜又はカイモミタ〜), 「名」電波計度器, 電波メートル。—Kymo (波)と云ふギリシヤ語と meter (計器)とを結び付けし字。無線電信用語にして空中に送電せる電波の長さ (wave-length) を計る機械。發明者英人 J. A. Fleming 博士の作りし名稱。(cymoscope 参照)

Ex. In order to determine the wave-length of the waves sent out from an antenna, we must have some appliance which enables us

to determine the frequency of the oscillations in the antenna. The practical measurement can be carried out by the aid of an instrument called the cymometer. (發受線より發せし電波ノ波長を測るには發受電線に起る振動ノ度数を計る機械無かるべからず。其ノ實際の測定はサイモミタ〜と稱する機械の助けに依り行ふ事を得)。

cymoscope (sī-mō-skōp or kī-mō-skōp) (サイモスコープ又はカイモスコープ), 「名」電波發見器, 電波感動器。—Kymo (波)と云ふ希臘語と scope (發見器)とを結び付けし字。無線電信用語にて空中の電波の存在或は通過を示す機械。發明者英人 J. A. Fleming 博士の作りし字。(cymometer 参照)

dacoity (da-koit'y) (ダコイテイ), 「名」強奪團暴動, 掠奪煽動。—Dacoit (or dakoit) は印度或はビルマの土匪にて武器を持ち團體を成して暴動掠奪を爲す賊徒なり。其の土匪團ノ掠奪を dacoity と云ふ。又更に新らしくは印度に於て掠奪を目的とする一種の運動を云ふ。刑法上の定義にては dacoity は印度にて五人以上の武装せる者の掠奪を云ふ。

day letter (dā lēt'ēr) (デー レッタ〜), 「名」晝間特別電報。—Day (晝)と letter (書信)とを合せし字。普通電報と衝突したる場合には後廻しとさるゝ條件にて特別割引の料金を以つて取扱ふ其日配達の書信代用の電報なり。

day lettergram (dā lēt'ēr-grām) (デー レッタ〜グラム), 「名」即日配達特別長文電報。—Day (晝)と

lettergram (特別長文電報)とを合せし字。lettergram (特別長文電報)の一種にて発信されし其の日に配達になる書信代用電報なり。(lettergram; night lettergram 参照)

day motor-boat (dā mō tōr = bōt') (デーモーターボート), 「名」發動機附短艇, 小形發動機艇。—Day と motor-boat (發動機船)とを合せし字。晝間走り廻る發動機船の意なり。短距離の航海に適するものにて船室無しに建造されたる發動機艇なり。其の形式上より open motor-boat と稱せらる。

decohere (dē'kō-hēr') (デイコヒーヤ), 「動」聯絡を絶つ, 絶縁離去す。(無線電信用語)。—De- (離, 離去)と云ふ冠頭詞を cohere (聯絡す)に附したる字。電流を断絶する事なり。電流の爲めに接觸し居りたる coherer 内の金屬粉末が振動により再び分離するを云ふ。

Ex. The particles of metal cohere, the Morse instrument prints a dot, and the tapper strikes its little hammer against the glass tube, that blow *decoheres* the particles of metal, and stops the current. (金屬の微分子は接觸しモース式無線電信機は點を印出す。そして打子は其の小さき槌を以つて玻璃管を打つ。其の打つ振動は金屬の微分子を絶縁離去せしめをして電流は停止さる)。

delayed double steal (dē-lād' dūb'l stēl) (デイレードダブルスティーラ), 「名」遅延二重盗塁(野球用語)。—Delayed (延ばせる)と double steal (二重盗塁)とを合せし字。第一壘及び三壘に走壘者が居る時第一壘に居る走壘者は二壘へ向つて盗塁を試みるが如く見せかけて走り二三間行きし時後戻りをす。守備軍の捕手

は二壘に球を投ぜんとせるも走壘者の後戻りせるを見て投球の姿勢を稍々崩す。此を見て其の走壘者は再び二壘へ向つて疾走す。捕手は姿勢を舊に復し二壘に球を投ず。其れと同時に第三壘の走壘者は本壘へ向つて走り盗塁に成功せば得點となる。此の盗塁法を斯く云ふ。

delivery station (dē-liv'ēr-y stā'shqn) (デイリヴァーリステーション), 「名」圖書貸出取次所(米國)。—Delivery (配布)と station (派出所)とを合せし字にて米國の公共圖書館用語なり。借りんと欲する書籍の名稱を借出書式に記載し圖書館の指定の所(普通藥種店)に差出し置けば其處へ圖書館より希望の書籍を配達なし呉れる。此の一種の圖書館の取次所の如きものを斯く云ふ。(deposit station 参照)

deposit station (dē-pōz'it stā'shqn) (デイポジットステーション), 「名」寄託圖書取次所(米國)。—Deposit (寄託)と station (場所, 派出所)とを合せし字。米國の公共圖書館用語にして圖書館より個人, 團體等に貸出す圖書の配布を便せん爲め送附寄託する所即ち一種の圖書取次所なり。此れより deposit station に寄託し有る書籍を總稱して deposit と稱す。

desk-set telephone (dēsk' = sēt' tēl'ē-fōn) (デスクセット テレフォーン), 「名」机上電話器。—Desk-set (机上据置の)と telephone (電話)とを合せし字。卓上にて電話を掛け或は受ける様に作られし小電話機なり。

detective camera (dē-tēkt'iv kām'ē-rā) (ディテクテヴァ キメラ), 「名」探偵用寫真機。—Detective (探偵)と camera (寫真機)とを合せし字。極めて小形にて衣服の下に隠し得可く又書籍, 辨當箱等の形を成し居り秘密使用に適せる寫真機なり。

dictaphone (dik'tā-fōn) (ディクタフォーン), 「名」口寫機, 寫音器。—Dictate (口授して書取らす)に模せ

し dict- (言ふ) と phone (音) とを結び附けし字。蓄音器とタイプライターを合併せしが如き一種の機械にて其の口授器の中へ或は其、近くに於て話す普通の音聲の聲波が口授器に連絡せるゴム管に依りて機械に傳はり其の音聲を文字に印寫する装置なり。dictaphone は元來は商品名なり。俗に dictating machine と云ふ。

Ex. Our experience with the *dictaphone* has clearly demonstrated that this method of dictation and transcription is a valuable factor in the well organized office. (口寫機に就ての吾々の經驗は口授と謄寫の此の方法は秩序の良く立てる事務所の重要品の一部なる事を確證せり)。

dictating machine (dik tā'ting mā-shēn' (ディクテーティングマシーン), 「名」口寫機, 寫音機。— Dictating (口授して書取らす) と machine (機械) とを合せし字。dictaphone の説明的名稱なり。

Ex. The dictaphone has been adopted as the official *dictating machine* of the Panama Pacific Exposition. (デクタフォンはパナマ太平洋博覽會の公用口寫機として採用された)。

dictograph (dik'io-gráf) (ディクトグラフ), 「名」隔離電話。— Dict- (言ふ) と graph (書く物) とを結び附けし字。一種の電話にして送話器より離れし處にて起りし音聲を傳へて受話器より同距離の場所にて其の音を復出して聞き取りしむる電話なり。dictograph と云ふ。

directive antenna (di-rékt'iv än-tén'a) (ディレクティヴ アンテナ), 「名」無線電發信線。— Directive (方向を定める) と antenna (無線電發受線) とを合せし字。普通の發受電線なれど此の制度は電波の進行方向を定めるを以つて此の名稱有り, マーコーニ

氏の發明にして機械に連續する數本の電線は(普通扇形に開きたる形にて)垂直に上部に延長し。それより更に水平に延長し支柱にて支へらる。電波は其の水平線の端より反對の方向に進む。antenna と aerial とは同義なるを以つて antenna の代りに aerial を用ゐて directive aerial とせらるゝ事あり。(antenna; aerial; radiator 参照)

dirigible (dir'i-ji-bl) (ディリジブル), 「名」飛行船, 航空船。— Dirigible は元來「指導し得可き」の意なり。此れより轉じて飛行用語として「操縦し得る, 舵を以つて航行し得る」の意の形容詞として用ゐる balloon (風船) と合して dirigible balloon (飛行船) の名稱を作れり。而して古き形ノ氣球と區別する爲めに普通の氣球を drifting (漂流する) balloon 又は spherical (圓形の) balloon と稱す。dirigible balloon の名稱より balloon を省略して dirigible となし現今にては dirigible は名詞として飛行船の意味に用ゐらる。(rigid airship; airship 参照)

Ex. The *dirigible* is merely a drifting balloon with its gas-bag elongated to the form of a cigar; the car being also elongated; and the whole being provided with power to drive it through the air, and with arrangements for steering it as a ship is steered, and for varying its altitude, just as the depth of a submarine in the water is varied. (飛行船は單に瓦斯囊を葉卷の形に伸長せる風船に過ぎぬ。そして吊籃も亦伸長され。且つ全機體は空中を行進する動力を具備されて居る。そして船舶が航行する如く其れを舵行せしめ且つ水中の潜航艇が深さを變ずる如く丁度其の高度を變じ得る様に設備されてある)。

dopey (dōp'y) (ドーピー), 「形」ボットせる, ぼんやりせる, 頭が重苦しく感ぜる (米國)。—Dope (魔酔劑) に形容詞の語尾の -y を結び付けし字。米國の俗語にて恰も魔酔劑を飲みしが如く頭が重くぼんやりと感ぜるを云ふ。

Ex. I feel too *dopey* today to do the home lessons. (今日は頭がボンヤリして居るから宿題は出来ない)。

double-header (dūbl=hēd'ēr) (ダブルヘッダー), 「名」二臺機關車附列車, 二重試合。—Double (二重の) と header (頭の附けるもの) を結合せし字。米國にて使用さるゝ字にて鐵道の列車が二臺の機關車に依つて引かるゝものを云ふ。又米國及び加奈陀にては野球及び lacrosse の用語にて同日に同じ組が二回試合をなすを云ふ。

dough (dō) (ドー), 「名」錢, 現金。—Dough は元來生麵, 捏粉の意なれど俗に money と同義に用ふ。

draft (drāft) (ドラフト), 「動」選抜變籍す (野球用語)。—Draft は元來特別の勤務の爲め選抜する事なり。野球上の用語としては大野球組合の俱樂部が他の (普通下級の) 俱樂部より一定の期間一定の給料にて撰手を譲り受けて野球をやらしむるを云ふ。

dreadnought (drēd'nōt') (ドレッドノート), 「名」弩級戰艦, 弩級艦。—Dread (恐る) と nought (何事も……せぬ) とを結合せし字にて何事も恐れざるもの意なり (但し此の字義の時は dreadnaught の綴を選ぶ) 。dreadnought が普通名詞として使用さるゝに至りしは英國海軍が Dreadnought と云ふ名の軍艦を一九〇六年に建造せしに起源す。軍艦建造上一大改革を起したる Dreadnought 號は總噸數一萬二千九百噸の戰艦にして二十一節の速力を備へ十門の十二時砲を

備へたり。又タービン機關を採用せし最初の軍艦にして四條の推進機附同轉軸毎に一組のタービン機關を具備す。Dreadnought 號の建造されてより各國競ふて類型の戰艦を作るに至り Dreadnought の名稱は同型の總ての戰艦に用ゐらるゝ普通名詞となれり。現今にては弩級戰艦の一般の特色とする處は排水量一萬八千噸より二萬噸にして十時乃至十二時の裝鋼にて二萬三千馬力乃至二萬四千五百馬力の機關を具備し最大速力二十一節に達し十門の十二時砲と五門の水雷發射管を以つて武装さるゝに在り。 (super-dreadnought ; battle-cruiser 參照)

Ex. The advent of the *Dreadnought* has stimulated the naval architects of Germany, Austria-Hungary, Japan, and the United States, who are all now competing with Great Britain in the production of ships far heavier than the *Dreadnought* itself. (ドレッドノート號の出現は獨逸, 奧國, 日本及び北米合衆國の海軍造船技師に刺激を與へたり。而して此等の國々は皆ドレッドノート號よりも遙に噸數の大なる軍艦を建設せんとて英國と競争し居れり)。

Ex. The French program of *dreadnoughts* is advancing rapidly. A bill authorizing the construction of three additional battleships was sanctioned by the French Government in 1913. Two *dreadnoughts* have entered service, and two more are nearly complete. (佛國の弩級戰艦建造計畫は迅速に進行しつゝあり。戰艦三隻増築の議案は一九一三年佛國政府により許可されたり。弩級艦二隻は既に勤務に就き他の二隻も

殆んど完成せり)。

drome (drôm) (ドローム), 「動」飛行す, 航空す。
「名」飛行場。—Aerodrome (飛行場)を略して作られたる字。動詞としては「飛行場で飛行す」或は一般に「飛行す」の意なり。名詞としては aerodrome と同じ意味即ち飛行場なり。(aerodrome 参照)

Ex. The aviator *dromed* over the field for two hours at a stretch. (飛行家は原野の上を二時間ブツ通して飛行した)。

dry (dri) (ドライ), 「形」禁酒の。—Dry は乾ける又は酒, 水に渴せるの意なるが新しい用法としては米國にて酒を賣る事を禁せる意に用ふ。

Ex. Ohio permits the sale of liquors. It is not a *dry* state; but this town is. You can not take out a license here. (オハヨウ州は酒類の販賣を許可せり。オハヨウは禁酒の州では無いが此の町は禁酒なのだ。此處では酒販賣の鑑札は取れない)。

Dual Alliance (dū'al a-li'ans) (デュールアライアンス), 「名」露佛同盟, 二國同盟。—Dual (二の)と alliance (同盟)とを合せし字にて二國同盟の意なれど現今にては特に露佛同盟を云ふ。但し此の盟約に英國が加はりしを以つて此の名稱は Triple Entente (三國協商)となれり。

duotone (dū'ō-tōn) (デュオトーン), 「名」寫真板模造彫刻。—Duo (二)と tone (色合)とを合せし字。印刷する時は寫真版に類する結果を生ずる一種の彫刻法なり。

duplicator (dū'pli-kā'tqr) (デュプリケーター), 「名」複製者, 複寫器, 二重作用現金記録箱。—Duplicate (複寫す)と -or (……する人「するもの」)とを結合

せし字。第一義は手紙, 原稿其の他總て其の寫しを取る者を云ふ。第二義は手にて廻轉して書きし物, タイプライターにて印寫せし物或は圖畫等の寫しを澤山作る一種の機械。第三義は一種の cash-register にて支拂傳票の印寫と支拂額の記録を同時になす機械なり。

dwarf signal (dwarf sig'nal) (ドワーフシグナル), 「名」小形信號器 (鐵道用語)。—Dwarf (矮小なるもの)と signal (信號器)とを合せし字。鐵道線路の側に設け有る低小なる信號器にて普通地上より一二尺上に三個の電燈を並列して作りあり。

dynamitism (dī'nā-mī'tīz'm) (ダイナマイティズム), 「名」爆裂彈主義, ダイナマイト主義。—Dynamite (ダイナマイト)と -ism (主義)とを合せし字。政治上其の他の利益促進の爲めダイナマイトを使用し人身財産を破壊する主義を云ふ。

E

earmark (ēr'märk) (イーアマーク), 「動」特別に指定す (資金を)。—Earmark は ear (耳)と mark (標)とを結び附けし字にて元來は耳に目標を附すの意なり。昔時人或は家畜等の所有權を明にする爲め耳に目標を附する習慣ありたり。此の字は其の慣習に由來せり。盛んに用ゐらるゝ新しい用法は或る物殊に金錢を或る特別の目的の爲め別にするを云ふ。Earmarked は此の字の形容詞の形にして屢々用ゐらる。

Ex. Germany has *earmarked* £1,000,000, half the revenue from that source, for the construction of submarines and destroyers. (獨逸は其の財源よりの収入の半額一百万磅を潜航艇

及び驅逐艦の建造に割り當てたり)。

ecology (è-kòl'ò-jì) (イコロヂイ) } 「名」活理學。
œcology (è-kòl'ò-jì) (イコロヂイ) }
生活狀態變化學、環象學。—ギリシヤ語の home と云ふ
意味の字 (oikos) と -logy (説論學) とを結合せし字。
生物學上の用語としては動物及び植物が他の存在物と
接し又有機或は無機或は状態に處する時は其の生
活狀態も其れに應變適合し行く法則を研究する生物學
の一部門にしてランケスタ〜教授の作りし語 bionom-
ics (laws of life) と同意義に用ゐらる。故に又英語風
に science of life と稱せらる。植物學上の用語と
しては植物が其の發生する四圍の狀況の爲め受ける變
化を研究する一部門にして植物の組織を研究する
physiological ecology と特別區域の植物と其の發生せ
る肥土との關係を研究する physiographic ecology と
風土が植物の發生、發達状態に及ぼす結果を研究する
geographic ecology との三科に區別さるゝを普通と
す。

eidoloscope (i-dòl'ò-skòp) (アイドロスコープ),
「名」活動寫眞擴大機。—Eidolon (幻像) と scope (見
せる物) とを結合せし字。活動寫眞のフィルムを擴大し
て幕に映出する装置の機械。

eidophone (i-dò-fòn) (アイドフォン), 「名」音響
寫形器。—ギリシヤ語の「形」と云ふ意味の字 eidos と
phone (音) とを結び付けし字。一種の圓筒の一端に送
話口を設け他の一端には微小粉末を振りかけたる薄き
ゴム膜を張りたるものにて送話口を口に當て話し又は
歌ふ時は其の粉末が幾何畫的の圖形に排列されて種々
の音響の形狀を寫出する機械なり。

electric balloon (è-lèk'trìk bà-lòon') (イレクトリ
ックバルーン), 「名」電氣飛行船。—Electric (電氣の)
と balloon (輕氣球) とを結び付けし字。蓄電池の電力

を以つて航空する飛行船を云ふ。

electric chimes (è-lèk'trìk çhìms) (イレクトリック
チャイムズ), 「名」電氣鐘樂。—Electric と chimes (一組
の鐘) とを合せし字。chimes は一組の鐘にて其れを鳴
らして音樂を奏し得るものなり。electric chimes とは
鈴の振子の如き物に電氣を通じて振動させ其の振動に
よりに鐘を鳴らす装置のものなり。

electric lock (è-lèk'trìk lòk) (イレクトリックロ
ック), 「名」電氣錠。—Electric と lock (錠) とを結び附
けし字。錠より或距離を隔てたる所に備へ附けある電
氣押ボタンを押して開く錠なり。

electric log (è-lèk'trìk lòg) (イレクトリックロ
グ), 「名」電氣驗速器。—Electric と log (船の驗速器)
とを結び附けたる字。電氣運轉仕組の機械に依りて船
の速力を記録する装置なり。

electric pen (è-lèk'trìk pèn) (イレクトリックペ
ン), 「名」電氣ペン。—Electric と pen (ペン) とを結び
付けし字。多數の書信、圖畫等の複寫を成す時に用ふる
複寫原型を作る電氣仕掛の機械にて、小發動機が針を
上下に運轉しペンを動かすに従つて原紙に孔を刺し通
し文字、圖形等を表はす。此れを原型として複寫を爲
すなり。

electric target (è-lèk'trìk tär'gèt) (イレクトリッ
クターゲット), 「名」電氣標的。—Electric と target
(標的) とを結び付けし字。電氣仕掛にて的中する彈丸
數を記録する標的なり。

electric thermometer (è-lèk'trìk thèr-mòm'è-
tèr) (イレクトリックサーモメタ〜), 「名」感溫電氣計。
—Electric と thermometer (寒暖計) とを結び付けし
字。溫度の變化に依りて放電の量を計る機械なり。

electric tower (è-lèk'trìk tou'èr) (イレクトリック
タワー〜), 「名」電燈用樓臺。—Electric と tower (樓

臺)とを結び付けし字。アーク燈を高所に架設するに用ふる一種の樓臺なり。

electric typewriter (ē-lēk'trīk tīp'rī'tēr) (イレクトリックタイプライター), 「名」電氣印字器。—Electric と typewriter (印字器)とを結び付けし字。電氣力應用の一種の新式印字器なり。

electrobat (ē-lēk'trō-bāt) (イレクトロバット), 「名」電氣自動車。—電氣を動力とせる自動車即ち electromobile と同義なり。(electromobile 参照)

electrobus (ē-lēk'trō-būs) (イレクトロバス), 「名」電氣乗合馬車, 電氣乗合車。—Electro- (電氣の)と云ふ冠頭詞と bus (乗合馬車)とを結合せし字。電力にて運轉する乗合車なり。(autobus 参照)

electrochronograph (ē-lēk'trō-kron'ō-grāf) (イレクトロクロノグラフ), 「名」電氣表時器。—Electro- と chronograph (表時器)とを結合せし字。一種の表時器にして時を示す目標が電氣の絶縁及び通電に依りて現はるゝ仕掛なり。

electroendoscope (ē-lēk'trō-ēn'dō-skōp) (イレクトロエンドスコプ), 「名」電氣内診鏡。—Electro- と endoscope (内診器)とを結合せし字。電燈の力を以つて体内の機關を検査する醫術用器なり。

electrograph (ē-lēk'trō-grāf) (イレクトログラフ), 「名」電氣状態(動作)記録器, 金屬版描畫器, 電書機, エツキス光線寫真, アーク燈使用活動寫真機。—Electro- と -graph (書く物)とを結合せし字。第一義は電氣發動機の運動状態を線にて記録する機械。第二義は壁紙(wall-paper)或は綿布の模様染出用金屬版に模様原圖を書く機械。第三義は電書機即ち telautograph と同義。第四義はエツキス光線寫真(skiagraph)。第五義はアーク燈を使用する活動寫真機(bioscope)。(telautograph; skiagraph; bioscope 参照)

electromobile (ē-lēk'trō-mō'bīl) (イレクトロモビル), 「名」電氣自動車。—Electro- と mobile (動く物)とを結合せし字。電氣を動力とせる自動車を云ふ。gasoline, steam 等を以つて運轉する自動車と區別する爲めに用ゐらる。(automobile; mobile; locomobile 参照)

Elementalism (ēl'ē-men'tal-īzm) (エレメンタリズム), 「名」元素派。—Elemental (元素の, 原理の)と -ism (派, 主義)とを結合せし字。事物の根本的形狀のみ認めて描く一種の美術派にして新しい美術派の一なれど左程勢力を得るに至らず。

Ex. Post-Impressionism is a development in part of *Elementalism*, as it condenses the significance of the body by looking for the essential lines. (後期印象派は或る點に於ては元素派の發展せしのものである。それは物體の根本的重要線を研究して其の解釋を簡約にするからである)。

elevated (ēl'ē-vā'ted) (エリヴェーテッド), 「名」高架鐵道。—Elevate (高む, 上ぐ)の過去分詞の形にて elevated は「高き」の意なり。名詞としては elevated railway (高架鐵道)の短略として用ゐらる。(L 参照)

elevating plane (ēl'ē-vā'tīng plān) (エリヴェーティングプレーン), 「名」昇降翼(飛行用語)。—Elevating (昇ぐる)と plane (翼面)とを結び付けし字。飛行機を上下に運動さず舵の作用をなす翼面を云ふ。(elevator 参照)

elevator (ēl'ē-vā'tōr) (エリヴェーター), 「名」昇降翼, 昇降舵(飛行用語)。—Elevate (高む)と -or (するもの)とを結合せし字。飛行機に關聯して用ゐらるゝ時は昇降舵即ち elevating plane と同意義なり。

entente cordiale (ān'tānt' kōr'jī-al) (アンタン

ト コーデアル), 「名」國際的友情, 外交的厚情, 協商的友情。—佛語にして friendly understanding の意。政府と政府との間の意志の疎通有りて友情存する事を云ふ。此の句が英語にて盛に使用されるに至りしは英國皇帝エドワード陛下と佛國大統領フランカレー氏との會見に關して用ゐられて以來の事なり。

Ex. We place supreme confidence in the *entente cordiale* existing between the two nations. (吾人は兩國間に存在する友情的關係に最高の信用を置くものなり)。

equilibrator (ē'kwī-lī'brā-tqr) (イクワイライブラーター), 「名」整衡器, 均勢調整設備(飛行用語)。— Equilibrate (平衡せしむ)と -or (するもの)とを結合せし字。飛行機及び飛行船の平衡を維持し或は調整する種々の機械装置を云ふ。(stabiliser 参照)

Ex. The chief anxiety throughout the voyage was caused by the behavior of the two-ton steel *equilibrator*, which was the distinctive feature of the "America." (全航空中の主なる憂慮は重量二噸の鋼鐵製整衡器の動作によりて起されたり。そして其の整衡器は「亞米利加號」獨特の特色なりしなり)。

ergograph (ēr'gō-gráf) (エァーゴグラフ), 「名」筋肉疲勞計度器, 精神使用程度記録器。—ギリシャ語の「働き」の意の Ergon と -graph (記録するもの)とを結合せし字。筋肉の働量を記録する器械なり。發明者 Moss 氏の考案の形式は滑車の上を通ずる綱に數個の小錘を附け他の一端を指に連続し指の動作に依つて錘を昇ぐる仕掛なり。動作は針先きの如きものに依て波動記録器に附屬する油煤にて黒くされたる面に書かゝる。又筋肉の勞働に起因する神經の疲勞及び變

化を計る爲めに種々の形式の機械發明され居れり。(kymograph 参照)

ergology (ēr-gōl'ō-jī) (エァーゴロヂイ), 「名」勞作生理學。—Ergon (働き)と -logy (學)とを結合せし字。生ける細胞の動作を研究する生理學の一部である。(ergograph 参照)

ergometer (ēr-gōm'ē-tēr) (エァーゴメター), 「名」動力計, 精神使用程度測定器, 働作力測量器。—Ergon (働き)と -meter (計度器)とを結合せし字。第一義は普通の檢力器或は蒸汽々鐘計壓器の如く或る動力或は力の成せし仕事或は力度を計る機械なり。第二義は頭腦神經の働き或は疲勞を計る機械なり。

escalator (ēs'kā-lā'tqr) (エスカレーター), 「名」自動昇降階段。—Escalade (梯子にて登る)と -or (するもの)とを結合せし字。自転車の鎖(チェーン)の如く回轉鎖の原理に基きて製作されたる一種の自動的の昇降階段なり。連続せる階段は絶えず動力に依りて同方向に運轉し床と同じ面に出づる時は自動的に順次普通の階段の形を作り上方に或は下方に其の形の儘進み再び床の面に來る時は階段は順次平面の床板を形づくりて床下へ進み床下を通りて再び反對の方の床の面に出で同じ動作を絶えず反覆して昇降の便をなす。escalator の名稱は版權所有の登録語なり。(moving stairway 参照)

Ex. At the last exhibition at Uyeno, a long elevated plank-walk, connecting two parts of the compounds, was approached by an *escalator* at each end. (此の前の上野の博覽會では場内の二區域を連續する長い板造の高架渡臺の

兩端に自動昇降階段「エスカレーター」が設けて有つた)。

eugenic (ū-jĕn'ik) (ユーヂェニック), 「形」人種改良學の, 生物改良術(學)の。—Eugenics (人種改良學)の形容詞の形なり。(Eugenics; Eugenist 参照)

eugenics (ū-jĕn'iks) (ユーヂェニックス), 「名」人種改良學, 生物改良術(學)。—ギリシャ語より來りし冠頭詞 Eu- (良き, 快感を興ふる) と接尾語 -genic (出生の) とを結び付けて複數の形としたる字。英國の科學者にして人類學者なる人種改良論の祖 Sir Francis Galton が一八八四年初めて自ら作りて使用せし字にて從來一般に使用さる。其の學説は科學上確知されたる遺傳の學理に基き結婚の相手の選擇を吟味して精神身體共に善美の子孫を作り一方にては人種が廢頽に赴く傾向を防ぐに在り。又此の學理に基き動植物の改良を研究する學術をも斯く云ふ。(euthenics; negative eugenics 参照)

Ex. Eugenics takes into consideration the theories of natural inheritance, variation, selection, regression, etc., and, by scientifically tracing these fundamental elements through the life histories of generations of families, endeavors to arrive at a satisfactory method of improving generally the mental and physical development of mankind. (人種改良學は天然遺傳の學理, 漸化, 淘汰, 背進等の學説を攻究し。一家系の數代間に於ける生理的系統に就き此等の根本的要素を學理的に追究し人類の精神上

身體上の發達を一般的に改善するに足る満足なる方法に到達せんと務む)。

eugenist (ū'jĕ-nĭst) (ユーヂェニスト), 「名」人種改良學者, 人種改善論者。—Eugenics と -ist (する人) とを結合せし字。Eugenics 即ち人種改良學を研究し又は主張する人。(euthenist 参照)

European plan (ū'rō-pĕ'an plān) (ユーロピアンプラン), 「名」歐羅巴式宿泊制度(米國)。—European (歐羅巴の) と plan (方案, 方法) とを結び付けし字。米國式宿泊制度と區別する爲めの名稱にて宿泊料と食事の代價を區別し, 食料は註文に依りて給與し其の代價のみを請求する宿泊制度なり。(American plan 参照)

euthenics (ū-thĕn'iks) (ユーセニックス), 「名」外況利用人種改良學, 境遇利用生物種族改善術(學)。—Eugenics (人種改良學) に模して作りたる字。外界の情況を選擇して其の感化に依り各人の精神的發展を謀り又健康, 元氣等を維持する事を攻究する學問なり。又動植物の發育上外部の最善の情況を選ぶ學術を云ふ。

euthenist (ū'thĕ-nĭst) (ユーセニスト), 「名」外況利用人種改良學者, 境遇利用生物改善論者。—Euthenics と -ist (する人) とを結合せし字。euthenics を論じ或は研究する人を云ふ。

exlibris (ĕks-lĭ'brĭs) (エックスライブリス), 「名」貼附札(書籍に), 表紙裏の貼札。—羅典語の ex (より, から) と libris (書籍中より) を結合せし字にて from the books (library) of (の書齋より) の意なり。美術的或は偶意的意味を表はす考案の貼札或は標章紙にて書籍の所有者を表はす爲めに表紙裏に貼るものなり。書籍貼附の紙札には羅典語にて ex libris の文字を書き其の次に所有名の氏名を書くを普通とするより ex libris を一字として作りたるものなり。

expansionist (ĕks-pān'shŏn-ĭst) (エクスパンション

ニスト),「名」領土擴張論者。—Expansion (膨脹,擴張)と云ふ字に接尾語 -ist (する人)を結び附けし字。國土の擴張を主張する人にて殊に近來は米國の國土膨脹主義論者を云ふ。

expressman (ëks-prës'man) (エクスプレスマン),「名」通運會社雇人, 通運會社運搬車御者。—Express (通運, 速達)と man (雇人)とを結合せし字。express company 即ち通運會社の總ての雇人を稱し又通運會社の運搬車の御者及び通運會社取次人にも適用せらる。

extension ladder (ëx-tën'shqn läd'ër) (エクステンションラダー),「名」伸長梯子。—Extension (伸長)と ladder (梯子)とを合せし字。伸縮の出来る梯子にて主として消防に用ゐらる。collapsing ladder とも稱せらる。

F

facia (fäsh'i-a) (ファシァ),「名」店頭表札,看板。—Fascia (小壁)と同じ字なるが facia と特に綴りたる時は普通店頭到店名を表はして備へある一種の表札,看板或は板金を云ふ。

fadeaway (fäd'a-wä'') (フェードアウエー),「名」立消カーブ, 徐速度ドロップ (野球用語)。—Fade (消ゆ)と away (去る)とを結合せし字。遅き速度の投球にて打者の近くに來りて急なる角度を持つて落下する即ち「立消える」投球を云ふ。紐育巨人軍中古今の名投手“Christy” Mathewson 氏に依り發達されて有名となりしカーブ球なり。

fair copy (fär kóp'i) (フェアコピー),「名」訂正濟文案(法律上の)。—Fair (汚點なき,清書せる)と copy

(原稿)とを結び附けし字。辯護士或は辯護依頼人が讀む爲め訂正の上清書せし法律文書の原稿を云ふ。

fan (fän) (ファン),「動」三度振にす (野球用語)。—To fan (扇々)より轉義せし字にて投手が打者を三度振にさすの意に用ゐらる。

fan (fän) (ファン),「名」野球狂, 運動競技常連(見物人) (米國)。—Fanatic (熱狂者)を縮めたる通俗語にて運動競技殊に野球及び拳闘の熱心な見物人を云ふ。又洒落て kingdom に真似て fandom (野球狂の國「界」)の如き字も用ゐらる。事あり。

feather-weight (fët-h'ër=wät) (フェザ〜ウエート),「名」輕量競走馬。—Feather (羽)と weight (重量)とを結び附けし字。羽の如く輕き物の意にて競馬に合格する最少限の重量の馬を云ふ。(featherweight 参照)

featherweight (fët-h'ër-wät'') (フェザ〜ウエート),「名」輕量拳闘士, 輕量相撲取, 貫目なき(詰らぬ)人。—Feather-weight と同じ字なれど feather weight の緩の時は普通拳闘或は相撲競技者の資格規定中の最も輕量(百十八封度)の競技者を云ふ即ち heavyweight, lightweight, featherweight と三段の階級中の最後の者なり。又此の意味よりして詰らぬ又は技倆の無き人の意に用ふ。

feminism (fëm'i-nizm) (フェミニズム),「名」女性的特質,男女同權主義。—Feminine (女性の)と -ism (状態,主義)を結合せし字。第一義は女性的特質を男子が備へ居る事を云ふ。第二義は女子は頭腦,能力の點に於て男子に劣る所無しとの理由にて社會上男子と同權を主張する主義なり。

Ex. What we call the woman's movement, or *Feminism*, is a revolt from a pretense of

being—it is at its best and worst a struggle for the liberation of personality.....But where this very modern interpretation diverges most widely from the traditional ideal of the sexes is in the writer's rejection of the belief in woman's natural passivity, and by this single point, small as it may appear to some thinkers, will probably be decided the future success or failure of the movement we know as *Feminism*. (女性の運動即ち男女同権主義と稱せらるゝものは存在の虚偽に對する叛揆で有る—其の運動の善し悪しは別として個人性の解放を目的とする闘争である、.....然し此の大層新らしき解釋が傳説的に作られたる兩性の理想と異なる最も大なる差異は女性は自然的に黙從し受身となるものとの確信を著者が否定せし點に有る。そして單に此れだけの點では或る思想家には微細な事の如く見えんも而かも是れ恐らく吾人が「男女同権主義」と稱する運動の未來の成功或は失敗を決するものたるべし)。

feminist (fēm'ī-nīst) (フェミニスト), 「名」男女同権主義者, 女權擴張論者。—*Feminine* (女性の)と -ist (する人)とを結び付けし字。*Feminism* を主張或は賛成する人を云ふ。

Ex. To the author, of course, as to all *feminists*, woman's apparent passivity is not inherent, but acquired, and is obliged, therefore, to disappear in the higher development of the race. (著者にとりては勿論、總ての女權擴張論者には表面上に見ゆる女性の黙從性なるものは天賦

的のものにあらずして收め得たるものである。故に人類が更に向上發展するに及んでは必ず消滅すべきものである)。

ferry-railroad (fēr'ī=rāl'rōd) (フェリ レールロード), 「名」渡船鐵道—*Ferry* (渡し, 渡船)と *railroad* (鐵道)とを結び付けし字。河床に鐵道を敷き其の水中のレールの上を彼我に往復して渡船の役をする一種の運搬臺(プラットフォーム)なり。此の臺は高く水を離れ居り數本の支柱によりて水底のレール上を普通電力にて往復す。

Filipina (fil'ī-pē'nā) (フィリッピーナー), 「名」ヒリッピン島土人の女。—*Spain* 語を採用せし字。Filipino の女性なり。(Filipino 参照)

Filipino (fil'ī-pē'nō) (フィリッピーノ), 「名」ヒリッピン人, ヒリッピン諸島土人。—*Spain* 語を其の儘採用せし字。ヒリッピン諸島の土人の男子殊に基督教徒と成り歸順せし種族の男子に用ふ。

fin (fīn) (フィン), 「名」飛行機補助翼。—*Fin* の元來の意味は魚の鰭なり。飛行用語としては飛行機の補助的の翼面にて普通縦に立つて固定せるものを云ふ。

finger-print (fīn'gēr=prīnt) (フィンガ〜プリント), 「名」指紋。—*Finger* (指)に *print* (印痕, 跡)とを結び付けし字。母指其の他の指の内面の第一關節より上の部分の紋象を云ふ。罪人確定の爲め重要なものなり。指紋を取りて罪人を確證する方法を *finger-print system* と稱す。

Ex. The police records both of India and Great Britain contain instances in which *finger-prints* have not only led to the identification of prisoners on remand, but proved of value in tracing criminals who had committed

serious offences but had not been arrested at the time. It was not till 1901, however, that the *finger-print system* was permitted to be used in England and Wales in substitution of the Bertillon system of identification by measurements. (印度及び大英國の警察の記録中には指紋が留置罪人の眞否を確定せしめしのみならず重大の罪惡を犯し其の當時捕縛されざりし犯人を追跡するに有效なりし幾多の實例あり。けれども指紋鑑定法が秤度の寸法に依り鑑定するベアティロン法に代つて英國及びウェールズに於て使用さるゝ事の許可されしは一九〇一年の事なり)。

fire-alarm telegraph (fir' = a-lärm' tē'ē-gráf) (ファイアラーム テリグラフ), 「名」出火警報電信, 報火電信。— Fire-alarm (出火警報) と telegraph (電信) とを結び附けし字。警報機に數字を出現せしめて出火を中央消防署へ報ずる電信にて普通把手を廻轉し又は引く事に依つて警報の數字を受信器に現はす機械なり。

fire-boat (fir' = bōt) (ファイア ボート), 「名」消防船, 消防汽船。— Fire (火事) と boat (船) とを結び附けし字。消防用の器具, 設備を爲せる汽船にて船舶及び埠頭の火事の消防に使用せらる。

first aid (first ād) (ファースト エード), 「名」應急手當。— First (第一の) と aid (助力, 救助) とを結び附けし字。醫師の來る迄素人が應急に外科或は内科の手當をするを云ふ。従つて應急手當に使用する物にも關して用ゐらる。

Ex. The coal mine will shortly purchase two *first-aid* motor-cars. (炭坑では近々二臺の應急手當用自動車を購入すべし)。

flannelette (flän'el-ēt) (フラネレット), 「名」綿フランネル (綿製の模造フランネル)。— Flannel (フランネル) に -ette (少さき, 偽物) と云ふ意の接尾語を附加せし字。極めて柔らき幅の狭きフランネル或は綿フランネルにて下衣(シャツ類)に作らるゝものなり。

flapper (fläp'ēr) (フラッパー), 「名」若い女, 娘 (英國俗語)。— Flapper は若鳥 (殊に家鴨の) 意なり。英國の俗語にして未だ交際場裡に出でざるが如き若い娘を云ふ。近來英國にて流行せる字なり。

flapping flight (fläp'ing flit) (フラッピング フライト), 「名」飛翼交互運動飛行。— Flapping (バタバタする, 叩く) と flight (飛行) とを合せし字。飛行用の新語としては飛行機の兩翼で交互に空氣を叩きて (宛も飛鳥の如く) 飛行する事を云ふ。 (ornithopter 参照)

flat race (flät rās) (フラット レース), 「名」平地競走, 無障害物競走。— Flat (平坦の) と race (競走) とを合せし字。平坦にして障害物無き處にて行ふ競走を云ふ。

flier (flī'ēr) (フライア〜) } 「名」急行列車, 試験的
flyer (flī'ēr) (フライア〜) } 投機, 飛行機, 飛行家。— Fly (飛ぶ) と -er (する物, 人) とを結合せし字にて飛ぶものゝ意なれど轉じて急速に行くものゝ意に用ゐらる。比較的新しい用法としての第一義は急行列車の意。第二義は米國の俗語にて小さき投機を試験的に冒險にやつて試(み)る事。第三義は飛行機の意にて飛行機發明者米人ライト (Wright) 兄弟に依つて使用され爾來一般に用ゐらるゝに至りし字なり。第四義としては飛行家即ち aviator と同義なり。

Ex. The express-train I took to Chicago was a *flier*. (僕がシカゴへ乗つて行つた急行列車は快速列車で有つた)。

Ex. The business man took a *flyer* in stock. (商人は株を少し試みに買って見た)。

Ex. Glenn Curtis built a new flying boat to fly in a contest from Newfoundland to Ireland. The transatlantic *flier* was fitted with silk wings. (グレンカーテス氏はニューファンドランド島よりアイルランドへの飛行競争に参加する爲めに新らしき水上飛行機を作った。その大西洋横断飛行機は絹製の翼を備へ附けられた)。

flimsy (flim'zī) (フリムズイ), 「名」敷寫紙に書きし通信記事 (又は論説)。— *Flimsy* は元來敷寫紙の意なり。新聞用語としては探訪員の原稿及び敷寫紙に書きたる通信記事又は論説を云ふ。

fluoroscope (flū'ōr-ō-skōp) (フルーオロスコープ), 「名」エツキス光線用透視鏡。— *Fluor* (螢石「螢光」) と *scope* (見る物) とを結合せし字。エツキス光線にて照らされたる物體の影或は物體透射の度合を見る機械。普通は箱の形を成し其の一方は眼に當てる様に製られ他の一端には強力な螢火質を以つて覆へる徒 (トホシ) を置く。検査さるべき物體をその機械とエツキス光線との中間に置き其れを透す光線が螢光線を生じて眼に映ず。其の影の濃厚の度によつて物體を検する機械なり。

flying boat (flī'ing bōt) (フライング ボート), 「名」水上飛行機, 水上飛行艇。— *Flying* (飛行する) と *boat* (艇船) とを結び附けし字。機關部及座乗席を船體の形に作りたる水上飛行艇にして *hydroplane* の意にも用ふ。(hydroaeroplane; hydroplane; pontoon 参照)

Ex. A ship is now being built at the Blyth shipyard in England for carrying the *flying*

boats used for scout duty by the British navy, and is the first ship ever built for this purpose. (英國海軍は偵察に使用する水上飛行機を運搬する船を目下英國のプリス造船所で建造中である。そして此れが此の種の目的の爲めに造りたる、最初の船で有る)。

flying-machine (flī'ing = mā-shēn') (フライイング マシーン), 「名」飛行機。— *Flying* と *machine* (機械) とを結び附けし字。飛行機即ち *aeroplane* と同意義に使用さる。

Ex. When the first flight was made upon an aeroplane, and for a considerable time afterwards, the *flying-machine* was looked upon merely as a toy. (飛行機で最初の飛行がなされし時而して其後永い間飛行機は單に一つの玩具と見做されて居た)。

flying stand (flī'ing stānd) (フライイング スタンド), 「名」飛行臺。— *Flying* (飛行の) と *stand* (臺) とを合せし字。飛行機が飛揚を開始する際に用ゐる滑走臺にて主として水上飛行機用として軍艦甲板上に設けられたる滑走臺を云ふ。

flying week (flī'ing wēk) (フライイング ウィーク), 「名」飛行競技の週間。— *Flying* (飛行の) と *week* (週日) とを合せし字。一週間連続の飛行競技會を云ふ。

Ex. At the Berlin autumn *flying week* two new world's records were made. (伯林に於ける秋期一週間飛行競技會で世界の新しいレコードが二ツ作られた)。

follow-up letter (fōl'ō = ūp lēt'ēr) (フォロウアップ レッタ), 「名」追求書信。— *Follow up* (追求する)

と letter (手紙)とを結び合せし字。商業用語にして郵便にて顧客を勧誘し又は廣告する爲めに發せし第一の書信に效果無き時更に辭を更へて送る書信を云ふ。

fool-proof (fōol=prōof) (フールプルーフ), 「形」極めて容易なる, 馬鹿にも出来る。—Fool (馬鹿)と proof (に間違なき)とを結び付けし字。馬鹿にも大丈夫了解し又は取扱ひ得る程容易なる又は簡單なるの意。

Ex. The control exercised by this device is so complete that eyewitnesses to the tests have declared that it makes the aeroplane fool-proof. (此の工夫より生ずる調整は完全せるものなればその試験の目撃者は其の設備は飛行機を馬鹿にも使へる程安全ならしむると云つた)。

football ear (fōot'bal'ēr) (フットボールイヤー), 「名」フットボール負傷耳。—Football (フットボール)と ear (耳)とを合せし字。フットボールにて負傷し爲めに流血して變形せし耳を云ふ。

free-fooder (frē'=fōod'ēr) (フリーフーダ), 「名」食料品無税論者, 食物課税反對主義者。—Free (自由の)と food (食物)と -er (する人)とを結び附けたる字。食物に對する總ての課税に反對する論者を云ふ。

freewheel (frē'hwēl") (フリーホイール), 「動」コースター自轉車を使用す, コースターにて走る。「名」コースター。—Free (自由の)と wheel (車輪)とを結合せし字。自轉車用語にて足臺を踏んで後方車輪を廻轉し踏む事を止むる時は單獨にて廻轉し。若し後方に踏む時は廻轉が中止する設備即ちコースター (coaster-brake)を斯く云ふ。此の字は coaster-brake よりも簡單にして使用し易き故に通常多く使用さる。

frog's leg receiver (frōgz lēg rē-sév'ēr) (フロ

グズ レッグリシーヴァー), 「名」蛙足受信器。—frog's (蛙の)と leg (足)と receiver (受信器)とを結び付けし字。蛙の足の神經及び筋肉は非常に感電力鋭き故に蛙の足を用いて無線電信の電波の受信器を作れるものを云ふ。

Ex. A curious physiological receiver has lately been made out of the nerve and muscle of a frog's leg. The nerve and muscle of the frog's leg is extremely sensitive to electric discharges. Dr. Lefevre, Professor in the University of Rennes, France, has accordingly by the aid of it been able to pick up and record radio-telegraphic signals coming from the Eiffel Tower station in Paris. (珍らしき物理上の受信器が過般蛙の足の神經及び筋肉で作られた。蛙の足の神經及び筋肉は放電に對し非常に感應鋭敏である故に佛國レンヌ大學教授ラフアーブル博士は蛙の足の使用に依り巴里エフェル塔の無線電信所より來る無線電信の符號を受けて記録することが出來た)。

fungo (fūŋ'gō) (ファンゴ), 「名」一人打, ノックをする事。—米國の方言として起り漸次一般に使用さるゝに至りし字。獨で球とバットとを持ち自ら球を上方に投じて其れを打ち他の者をして捕へしむる事を云ふ。日本語にて所謂ノックをする事なり。英語では又 knock-up-and-catch と云ふ。

Ex. Ed Walsh, of the Chicago White Sox, holds the official record for long-distance fungo hitting made in competition. (シカゴ白踏組のエドウォールシユは一人打ちの競争をなし公認

的長距離レコードを作れり)。

fuselage } (fiú'si-láz)(フューシレイエヂ),「名」飛行機體。一紡錘の意の佛語にて飛行機の樞軸が紡錘に類似せるに依り之の名稱有り。前方の翼と後方の舵及び翼とを連絡せる機體の部分云ふ。

Ex. From the middle of the lower plane, what is called the fuselage stretches out to the rear. It is an openwork structure consisting in the early machines of timbers; its office is to carry the tail plane and the rudder. (下翼の中央よりフュシレイエヂと稱せらるゝ部分が後方に突張して居る其れは中空の構作物にて昔の飛行機にては木材にて作られたり。其の作用は尾翼及び舵を支持するに在り)。

Futurism (fú'túr'izm)(フューテュウリズム),「名」未來派。—Future(未來)と-ism(主義)とを結合せし字。伊國藝術家 Marinetti 氏の作りし字なり。一九一〇年伊國にて起りし新美術派なり。字義の示す如く未來を信じ過去を除外する主張にて過去の傳説を全然無視し古き因襲に囚はれず新らしき創作を出し主義にて美術、音樂、文學等各方面に唱導せらる。理想とする所は新らしき事(originality)と深き情熱(intensity)に在り。又連続せる印象を顯はす新らしい試みをもなす。(Cubism; postimpressionism; futurist 参照)

Ex. Futurism contends that every form of imitation must be scorned, and that every form of originality must be glorified. (未來派は模倣は如何なる形式にても輕蔑さるべく而して獨創は如何なる形式にても讚美すべきものなりと論ず)。

futurist (fú'túr-íst)(フューテュウリスト), 未來派藝術家。—Futur(未來)に-ist(する人)と云ふ接尾語を附けし字。Futurism を標榜する藝術家を云ふ。(Futurism; cubist 参照)

Ex. The futurists have now invaded the realm of successive impression thus far conceded to literature. (未來派藝術家は今や今日迄文學に一任され居りし連續的印象の領分に侵入せり)。

G

garage (gá'rázh' or gár'áj)(ガラーズ 又は ギャレーヂ),「名」自動車庫, 車庫, 飛行機格納庫。—佛語を其の儘採用せし字なれば發音も佛語風の gá'rázh' と英語風の gár'áj と二様あり。動力に馬を用おざる車輛を留置し或は修繕する納屋なり。殊に自動車の車庫, 修繕格納庫の意に使用するを最も普通とす。

Ex. A garage for the accommodation of about thirty autocars has been provided at the Hotel Cecil. (自動車略三十臺を收容し得る自動車庫がセシルホテルに設備された)。

garden city (gár'dn sít'í)(ガードン スイッテイ),「名」田園市。—Garden(庭園)と city(市)とを結び附けし字。英國に新しく起りし住居區域改正の計畫にして住家を公園, 農園等の間に設け各住家は都會の如く餘り接近せず, 戸口に庭園或は農園を設くる考案なり。(garden suburb 参照)

Ex. Letchworth, still the only garden city, comprises now over 4,500 acres, of which

1,500 is to be occupied by the town proper, at about seven or eight houses to the acre, while this is to be surrounded by 3,000 acres of park and farm land. (今も尙唯一の田園市たるレッチウオアースは目下四千五百エーカーの面積有り。而して其の内一千五百エーカーは市街本部にして一エーカーに付き七戸乃至八戸の割にて家あり。此の市街は三千エーカーに亘る公園及び農園にて圍まる事となるとの事である)。

garden suburb (gär'dn süb'ürb) (ガードン サバーク), 「名」田園廓外, 田園郊外。—Garden と suburb (郊外)とを結び付けし字。garden city に対して新たに起りたる住宅区域改正計畫にて公園, 農園の設備有る郊外に住宅を建て garden city より人口を比較的稠密ならしむる考案なり。

Ex. The total area now comprised in garden city schemes is 15,000 acres, and the promoters anticipate a population in the future of 300,000. The same area, developed in the style of urban development which has been followed in most places would have a population of at least 1,500,000 people, or at least 100 times the population; and even here the difference between the garden city and the *garden suburb* is emphasized. The population estimated for the 4,500 acres of Letchworth is only 35,000; and practically the same number is estimated for Hampstead, the first *garden suburb*, with its 700 acres.

(田園市建設計畫に現在入れられ居る總面積は一萬五千エーカーで有る。そして同計畫發起者は將來三十萬の人口を住ます考へである。多くの場所に於て實現され居る如き市街發展の方法で發展せしめしとすれば同じ面積内に少なくも百五十萬即ち少なくも其の人口の百倍の人口を入れるに足るべし。即ち實に此の點に於て田園市と郊外との區別が充分明瞭に示されて居る。レッチウオースの四千五百エーカーに對する收容人口の概算は僅か三十五萬人である。而して此の數字は最初田園郊外にして七百エーカーの面積あるハンプステッドに收容すべき人口概算と殆んど同じである)。

gas-log (gäs=lög) (ギァス ログ), 「名」瓦斯暖爐燃管。—Gas (瓦斯)と log (丸太)とを結び付けし字。室内を温むる爲め爐 (fire place) にて燃す瓦斯燃口にて丸太或は丸太を重ねたるが如き形を模して作れる鐵製管にて小孔有りそれより出づる瓦斯に點火するなり。

gas-mantel (gäs=män'tl) (ガス マントル), 「名」瓦斯マントル, 白熱瓦斯用網。—Gas (瓦斯)と mantel (マントル, 被覆)とを結合せし字。incandescent (白熱) mantle の俗稱なり。網にて圓筒形に作り瓦斯燃口に附けて白熱光を生ぜしめ強き光りを發せしむるに用ゆるものなり。

gasoline (gäs'ö-lin or gäs'ö-lën) (ガソリン 又は ガソリオン), 「名」石油揮發油。—Gas (瓦斯)と -ol (油)とより進化せし字。天然の石油を蒸留して得る無色にして揮發性に富み空氣と混ざる時は一層可燃性となる液體にて自動車, 飛行機等の燃料として使用さる。(petrol 参照)

Ex. We find *gasoline* in use in our state in the hands of hundreds of persons who do

not know that the vapor arising from it, when mixed with the atmosphere in the proper proportion, is one of the most dangerous explosives. (我が國「州」では何百人と云ふ多數の人が石油揮發油を使用して居るが彼等は其れより發する氣體は空氣と適度に混ざる時は最も危険な爆發物の一と成る事を知らない)。

gasoline brougham (gäs'ō-līn brōō'am) (ガソリンブルーム), 「名」箱臺附四輪自動車。—Gasoline (石油揮發油) と brougham (四輪箱馬車) とを合せし字。石油揮發油で運轉する即ち自動車の brougham 形のものを意なり。brougham は二人或は四人乗にて外圍は箱にて覆はれ馭者の席は箱の前に高く作る。gasoline brougham の普通の brougham と異なる所は運轉手の席も同じ高さに作られ乗用部と同様に圍まる點に在り。(gasoline coupé; runabout; limousine; landaulet 参照)

gasoline coupé (gäs'ō-līn kōō'pā) (ガソリンクーペ), 「名」二人乗用箱附自動車。—Gasoline と coupé (一種の四輪馬車) とを合せし字。coupé は低き二人乗にて其の乗車席は箱にて圍まれ馭者の席は外部に設けらる。gasoline coupé の乗席は比較的狭小にして運轉手席も乗用席と同じ體裁にて全部箱付きなり。(gasoline brougham; runabout; limousine; landaulet 参照)

gas-trap (gäs'=trāp) (ガストラップ), 「名」下水防臭瓣。—Gas (瓦斯) と trap (防臭瓣) とを結び付けし字。排水渠の悪臭瓦斯が下水管に逆行し來るを防ぐ一種の防臭瓣なり。

gathering-ground (gāth'h'er-ing=ground) (ギザザリンググラウンド), 「名」水道水源地。—Gathering (集合する) と ground (土地) とを結び付けし字。

水道の水源地を云ふ。

geezer (gē'zēr) (ギーザ〜), 「名」ナラズ者, 太い奴 (俗語)。—Geezer は老人を愚弄して稱する俗語なるが俗語としての新しい意味は無頼漢, ナラズ者又は所謂「太い奴」なり。

gelignite (jēl'īg-nīt) (ゼリゲナイト), 「名」膠質爆發藥。—Gelatin (精製膠) の gel- と -ignite (發火す) とを結合せし字。硝酸グリセリン混成の強烈なる爆發物にて膠の如く見ゆるを以つて此の名稱あり。鑛山作業に多く用ゐらる。

General Post (jēr'ēr-əl pōst) (ゼネラルポスト), 「名」第一回配達郵便, 一種の室内遊戯の名。—General (總括せる, 一般の) と post (郵便) とを合せし字。general post は古き用法としては倫敦の本局より全國の郵便局へ發送する郵便にて local post (地方の郵便) と區別して使用されしものなるが近來は午前第一に配達する郵便を云ふ。又此の意味の時は大文字にて書くを普通とす。第二義は一種の室内遊戯の名稱なり。

generating-station (jēn'ēr-āt'ing=stā'shqn) (ゼネレーティングステーション), 「名」發電所, 配電所。—Generating (動力, 電力等を發生する事) と station (場所) とを結び付けし字。電力を起し且つ配電する所を云ふ。

genetics (jē-nēt'iks) (ヂェネティクス), 「名」自然的發育學, 血統學, 遺傳學。—Genetic (產生の, 創生に關する) を複數の形として名詞とせる字。生物進化學の一部門にして人工的の干渉無き生物の自然的發達を研究するものなり。生物學用語としては進化, 遺傳及び再分法による有機體の新種族を作る事を研究實驗する生理學の部門を云ふ。(speciation 参照)

geometrism (jē-ōm'ē-trizm) (ヂェオメトリズム),

「名」幾何畫派。—Geometric (幾何の) と -ism (主義派) とを結合せし字。立體派の變體にて幾何畫的の形體を以て描く新しき美術派なり。未だ左程重視され居らず。(Cubism 参照)

gink (g'ink) (ギンク), 「名」太い奴, ワル者, ナラズ者。—新らしい米國の俗語にて a tough person 即ち「無頼漢」「ナラズ者」の意なり。又下等の會話には單に fellow と同じ語氣にて別に悪口の意味も無く用ゐらる。

Girl Guide (girl gid) (ガール ガイド), 「名」女子修養團。—Girl (女子) と guide (指導者) とを合せし字。女子の修養, 訓練を目的とする新らしい團體にて各階級より十一歳より十八歳までの女子を募集して一定の訓練を行ふものなり。訓練の主なるものは家政の實地練習, 體育, 狩獵, 精神教育等とす。

Ex. Companies of *Girl Guides* have been formed at Falkland Island, Australia, Canada, South Africa, New Zealand. Any girl with a good character, between the ages of 11 and 18, can become a guide. (女子修養團の中隊はフオルクランド島, 濠洲, 加奈陀, 南亞弗利加, ニージーランドに於て編成せられたり。年齢十一歳より十八歳までの品性善良なる女子は何人にて修養團員となる事を得)。

glaby glide (glä'bī glid) (グレービィグライド), 「名」グレービィグライド踊。—一種の新らしい舞踏にて tango に類するものなり。(grizzly bear; tango 参照)

glide (glid) (グライド), 「動」空中滑走す, 滑翔す。—Glide は滑走するの意なり。新らしい用法としては飛行機が推進機ヲ運轉無しに下方に向つて滑走する事即ち空中滑走をなすを云ふ。(volplane; glider; glid-

ing angle 参照)

glider (glid'er) (グライダ〜), 「名」滑翔機。—Glide (滑走す) と -er (するもの) とを結合せし字。發動機を具備せざる飛行機にて氣流と機の重力にて空中を滑走する機即ち滑翔機を云ふ。

Ex. The *glider* was the parent of the aeroplane. It was derived originally from the boy's kite. The school-boy's kite was supported in the air by the pressure of the wind passing under it. (飛行機の祖は滑翔機に在る。その起源は小兒の凧に由來したのだ。學童の凧は其の下を吹く風の壓力で空中に支へられたのだ)。

gliding (glī'ding) (グライデング), 「名」空中滑翔。—Glide (滑翔す) の名詞の形なり。滑翔機がそれ自身の重力にて進行する事を云ふ。

gliding angle (glī'ding äŋ'gl) (グライデング アングル), 「名」滑翔角度(飛行用語)。—Gliding (滑翔) と angle (角度) とを合せし字。飛行機或は滑翔機が重力を以つて滑翔する際の最小限角度を云ふ。

gramophone (gräm'ō-fōn) (グラモフォン), 「名」金屬板レコード使用蓄音器。—ギリシヤ語の gramma (文字) と phone (音) とを結合せし字。graphophone (蓄音器) は蠟製圓筒のレコードを使用すれども gramophone は E. Berliner 氏に依りて發明されたる比較的新式の蓄音器にて金屬の圓盤の上に油或は脂膏を塗りたる音譜板を使用す。(phonograph 参照)

grand stand (gränd ständ) (グランド スタンド), 「名」正面觀覽席, 觀覽棧敷。—Grand (主要の) と stand (棧敷) とを合せし字。元來は競馬場の正面に普通階段形に作られたる貴賓席を意味すそれより轉じて廣く一般に類似の見物席殊に祝賀場, 集會場等にて演説者或

は見物人を入れる、爲めに作れる同型の棧敷に用ゐらる。(grand-stand 参照)

grand-stand (gränd' = ständ") (グランドスタンド), 「形」ミモノなる、美事なる、目醒しき、花々しき。—Grand stand (見物席) を結び附けて形容詞とせる字。観覧席より喝采を得る様なもの、意にて見物人を悦ばし騒がす即ち美事な、目醒しきの意なり。(grand stand 参照)

Ex. It was a hard hitting game and **grand-stand** plays were many. (其れは盛に打ち合ふ試合だった。そして目醒しい演技が澤山だった)。

granulize (grän'ü-liz) (グラニューライズ), 「動」大粒にす、粒大に化す(薬種用語)。—Granule (小粒) と「状態にす」の意を表はす動詞の接尾語 -ize とを結合せし字。微細の粉末を蒐集結著せしめて粒を(一層)大きくし丸薬又は扁平形の薬とするを云ふ。

greenroom (grēn'rōom") (グリーンルーム), 「名」未製陶器置場、新製織(反)物置場、醫學校診察室。—Greenroom は元來は劇場の俳優の控所なり。新しい用法としては乾かざる又は焼かざる陶器又は新製の織(反)物を入れる、室を云ふ。又醫學校の診察室の意にも用ゐらる。

gridiron (grīd'ī'urn) (グリダイアーン), 「名」蹴鞠場、フットボール試合場(米國)。—Gridiron は元來は鐵の焼網なり。新しい用法としては米國式フットボール試合場を云ふ。其の試合場の試合區域は五本の横線を以つて區劃標示され居りて焼網の畫に似たる故に其の試合場を斯く云ふ。野球の試合場が區線にて菱形なる故に diamond と稱せらるゝに類す。此の語は規則の異なる Association football 場には普通用ゐられず。

grizzly bear (grīz lī bār) (グリズリ ベアラー),

「名」一種の舞蹈。—grizzly bear は一種の大熊なり。新しい字としては一種の舞蹈の名稱なり。(tango; glaby glide 参照)

groove (grōōv) (グルーブ), 「名」投線、安全線、打者の癖、野球用語。—Groove は元來は凹線、習慣の意也。野球上の新しい用語としては投手の手より本壘標の中央の上を通じて描く一種の想像線なり。カーブなく真直ぐな球にて本壘標の上を目當て、投せられたる球を down the groove なりと云ふ。又外野手とファウル線との間にて其處へ打たれし球は外野手が捕る能はざる其の部分に云ふ。此の字は亦打者の癖(従つて弱點)の意にも用ゐらる。

guano (gwā'nō) (グワノー), 「名」人造窒素肥料、動物肥料。—Guano は元來は海鳥糞にて肥料になるものを云ふ。此れと類似の成分即ち窒素質の人造肥料を云ふ又 fish-guano の如く動物類の死骸の腐りしものにて作りし肥料をも云ふ。

guarantee company (gār'ān-tē' kōm'pā-nī) (ガランティー カムパニ), 「名」保證會社。—Guarantee (保證、擔保) と company (會社) とを合せし字。證券或は抵當を受取る人に對して其の關係債務の元利金の支拂を保證する會社組織のものを云ふ。

gun-running (gūn' = rŭn'ing) (ガンランニング), 「名」鐵砲密輸出(密賣却)。—Gun (銃砲) と running (走る事) とを結び附けし字。法律に違反して密に外國人に彈藥、銃砲等を賣る事を云ふ。之れを行ふ者を gun-runner と稱す。

guy (gī) (ガイ), 「名」人、者、個人(俗語)。—語源の判明せざる比較的新しい俗語にて。人、者即ち a person の意味に用ゐらる。

Ex. He showed no respect for the main **guy**. (彼はお役人様を少しも尊敬しなかつた)。

gyroscar (jĩrō-skār) (チャイロスカー), 「名」廻轉儀車。—Gyroscope (廻轉儀) と car (車) とを結合せし字。廻轉儀にて中心を取りて單線上を運轉する車を云ふ。(gyroscope car 参照)

gyroscope car (jĩrō-skōp kār) (チャイロスコープカー), 「名」廻轉儀車, 廻轉儀附單線汽車。—Gyroscope (廻轉儀) と car (車) とを合せし字。互に反對の方向に急速度に廻轉する二個の廻轉儀にて平衡を保ち單線上を運轉する汽車, 電車等を云ふ。(monorail 参照)

H

hammer smith (hām'ēr smith) (ハムア〜スミス), 「名」鎚鍛冶。—Hammer (鎚, 鐵鎚) と smith (鍛匠, 冶工) とを合はしたる字。鎚にて金物を細工する人。

hangar (hān'gār' or ān'gār') (ハンガー 或は アンガー), 「名」飛行機格納庫, 格納庫。—佛語を採用せし字にて原語の通り ān'gār' と同發音す。飛行機, 飛行船, 輕氣球等を修繕し或は繋留し置く小屋を斯く云ふ。hangar は納屋, 物置の意にては英語として古くより使用され居りしが飛行機格納庫の意にて盛に使用せらるゝに至りしは飛行機が盛になりし以後の事。

Ex. Up to the present the *hangars*, as they are called, for housing aeroplanes have all been temporary structures. *Hangars* at present are built principally of wood or corrugated iron. (飛行機を宿らし置く爲めの所謂格納庫は昨今までは皆一時的の建物で有つた。飛行機格

納庫は現在は主として木或は生子(ナマコ)鐵を以つて作らる)。

hangarman (hān'gār-mān) (ハンガーマン), 「名」格納庫係, 飛行機格納庫番人。—Hangar と man (人) とを結合せし字。飛行機或は輕氣球格納庫の番をする者を云ふ。

hansardize (hān'sārd-īz) (ハンサーダイズ), 「動」國會の議事録より引用して國會議員の矛盾を指摘す(英國)。—Hansard (英國の國會議事録) と動作を表はす動詞の接尾語 -ize とを結合せし字。國會議事録に載れる記録を引用して國會議員の言論上の矛盾を指摘する事を云ふ。

harem skirt (hā'rēm skirt) (ヘーレムスカート), 「名」土耳其形スカート。—Harem (土耳其の婦人部屋) と skirt (女袴) とを合せし字。數年前歐米にて流行せし一種のスカートにて土耳其の婦人の袴の形に模せしを以つて此の名稱有り。(hobble-skirt; slit skirt 参照)

head-liner (hēd' = līn'ēr) (ヘッドライナー), 「名」名代役者, 呼び物, 見出し書き(人), 大見出し付き新聞。—Head-line (見出し, 題目) と -er (する人物) とを結び付けし字。演藝用語としてはチラシ廣告, 張り札等に大きな字で名を書かるゝ役者を云ふ。即ち名代或は呼び物の劇人なり。それより轉じて呼び物の出し物, 番附中の呼び物の意に用ゐらる。又新聞の見出しを書く人或は衆目を引く大きな見出しを用ゐる新聞をも斯く云ふ。

head resistance (hēd rō-zīst'āns) (ヘッドリズィスタンス), 「名」前進抵抗(飛行用語)。—Head (前方より来る) と resistance (抵抗) とを合せし字。飛行機或は飛行船の進行の際支柱及線, 翼の結構材, 機關等が受くる空氣の抵抗を云ふ。

helicopter (həl'ī-kōp'tēr) (ヘリコップター), 「名」螺旋推進機附飛行機。—Helico- (螺旋形の) とギリシヤ語の pteron (翼) とを結合せし字。一種の飛行機にて直立の心棒の上に回轉する一個或は其れ以上の螺旋形空中推進機にて飛行するものなり。

hobble-skirt (hɒb'l=skɪrt) (ホッブルスカート), 「名」縛足袴。—Hobble (脚を一ツに縛る) と skirt (スカート, 女袴) とを結び付けし字。一種の女の上袴にて脚部に密著する様に作られ膝と足クビとの中間を帯の如き飾布にて引きしめて歩行を困難ならしむる一種のスカートなり。一九一二年頃 harem skirt に續いて盛に歐米にて流行せしもの。(harem skirt; slit skirt 参照)

holding company (hōld'ing kōm'pā-nī) (ホールディング カムパニ), 「名」取締會社。—Holding (抑制する) と company (會社) とを合せし字。他の會社或は事業の營業方法の取締を業とする會社なり。他の會社の主權を所有し或は權利を引受けて其れを營業し其の利益の配當及び證券の利子の一部を以つて収入とする一種の新らしき會社なり。

homer (hōm'ēr) (ホーマー), 「名」生還打球(野球用語)。—Home (本壘, 決勝點) と -er (するもの) とを結合せし字。A home run (hit) と同じ即ち打者の打ちし安全球 (hit) が一度に各壘を一週して本壘に生還し得る機會を與ふるを云ふ。

honor system (ōn'gr sīs'tēm) (オナー システム), 「名」無監視試験。—Honor (名譽) と system (制度) とを合せし字。名譽を重んぜしむる制度の意なり。學校用語にて試験の際教師の監視無しに答案を書かしめ其の答案に受験の際何らの不正行為を爲さずし誓言を書かしむる制度なり。

hoodoo (hōō'dōō) (ホッドゥー), 「動」惡運をもたらず, 惡運に取付かる(米國)。—Hoodoo は voodoo (一種

の魔教) より來りし字。或る人に逢ひ又は接せし爲めに惡運に取附かるゝ意なり。mascot (幸運をもたらずもの) と反對の働きを成すを云ふ。voodoo は北米の黑人, 黒人の雜種及び West-Indians の間に行はるゝ種々の迷信的魔教なり。voodoo は動詞としては魔法にかけるの意なり。hoodoo も亦此の意に用ゐらる。普通は或る人を見或は接する時は運悪くなる即ち其の人の爲めに惡運に取附かるの意に用ふ。(hoodoo [noun]; jinx 参照)

Ex. The pitcher had never before pitched better in life, and he had never been punished so hard as yesterday. He said after the game that he believed he was hoodooed. (投手は彼の生涯にあれ以上に上手に投じた事は無かつた。そして彼は昨日程ひどい目にあはされた事も無かつた。試合後彼は惡運に取り附かれたのに相違ないと思つたと云つた)。

hoodoo (hōō'dōō) (ホッドゥー), 「名」惡運の人(物)。—Hoodoo は名詞としては惡運の原因と成る物或は人即ち mascot の反對なり。其の物或は人を見る時は惡運に取り附かると云ふ其のものなり。又 voodoo (魔教) と同意義にも使用さるゝ事有り。

hood tent (hōōd tēt) (ホッド テント), 「名」車蓋天幕。—Hood (車蓋, ホロ) と tent (天幕) とを合せし字。馬車, 自動車の車蓋の如く疊み得る天幕又は其れと類形の天幕を云ふ。

Ex. Instead of the 30-lb. tents, accommodating three men, which the Scott expedition carried, the Shackleton party is taking along waterproof and wind-proof hood tents,

or "sleeping hoods," constructed on jointed frames much like the top of a touring car. (スコット氏の(南極)探検隊が携帯した三人入り三十封度の天幕の代りにシャクルトン一行は旅行用大自動車の車蓋に大變似て居る組み合せ作りの防水、防風車蓋天幕所謂「寢室車蓋」を携帯して居る)。

hook (hōōk) (ホック), 「名」外下向急速カーブ球(野球用語)。—Hook は元來は係蹄(ワナ)の意なり。野球用語としては急角度を以つて下方及び外方に曲線を描く上手投げの急速のカーブ球を云ふ。

hook slide (hōōk slid) (ホック スライド), 「名」鉤掛滑り込み、足掛滑り込み(野球用語)。—Hook (鉤)と slide (滑り込み)とを合したる字。走壘者が盗壘の際片足を曲げ他の足を延ばし體をかわして守壘者を避け腰部にて滑り込み靴の底に鉤を壘標に掛ける事を云ふ。最初シカゴの白踏組(White Sox)によりて發明せられたるを以つて俗に Chicago slide の名稱も有り。

hornless phonograph (hōrn'less fō'nō-gráf) (ホーンレス フォーノグラフ), 「名」無號筒(ラツパナシ)蓄音器。—Hornless (號筒「ラツパ」無き)と phonograph (蓄音器)とを合せし字。號筒を用わず小テーブル臺の如き形に作られたる室内用蓄音器を云ふ。

hunger-strike (hūŋ'gēr=striĕk) (ハンガーストライク), 「名」同盟絶食、絶食ストライキ。—Hunger (飢餓)と strike (同盟罷工)とを結び付けし字。女子参政権運動に關連して作られたる新しい字なり。所謂暴行派の女子参政権論者(女子) (militant suffragette) が暴行の罪を以つて警察に拘引されし時警察困らせに一切の食を抗んで絶食するを云ふ。

Ex. All the militant suffragettes who attacked the newspaper office were arrested.

They have all gone on *hunger-strike*. (新聞社を襲撃した暴行派の女子参政権論者「女子」は皆捕縛された。彼等は皆絶食ストライキをやつた)。

hurry-up wagon (hūr'i=ūp wāg'on) (ハアリアップ ワゴン), 「名」電車早急修繕用車。—Hurry-up (急ぐ)と wagon (荷車)とを合せし字。電氣鐵道に故障の生ぜし時現場に急行して早急に修繕する爲め必要な諸道具、材料等を運ぶ車を云ふ。

hydro-aeroplane (hī'drō=a'ēr-ō-plān) (ハイドロ エアロプレーン), 「名」水上飛行機。—Hydro-(水)と云ふ冠頭詞を aeroplane (空中飛行機)に結び付けし字。水上より飛揚し空中を飛行し水上に下りる様に作られたる飛行機なり。今はあまり使用されず。(hydroplane; sea-plane; water-plane 参照)

Ex. The *hydro-aeroplane*, or hydroplane, as it is sometimes called, is merely any aeroplane fitted with floats that will enable it to rest upon the water. (水上飛行機或は往々水上機と稱せらるゝものは單に飛行機にそれを水上に浮ばしむる浮(ウキ)を備へ附けたるものに過ぎず)。

hydrophone (hī'drō-fōn) (ハイドロフォン), 「名」電氣警報器、水道檢漏器、強音聽診器。—Hydro-(水)と phone (音)とを結合せし字。第一義は水雷艇等の不意の襲撃を艦隊或は港灣に警報する電氣仕掛の機械。第二義は水管の漏出を檢査する機械。第三義は身體を聽診する時胸に水囊を置き音を強めて聴取に便ならしむる機械を云ふ。

hydroplane (hī'drō-plān) (ハイドロプレーン), 「名」潜航艇舵翼、水上艇昇上翼、水上艇、飛行機浮き臺、水上飛行機。—Hydro-(水)と plane (飛揚翼面、漂泊者)とを結合せし字。元來は潜航艇の浮き沈みを司る翼面

にて恰も飛行機の昇降翼の如き動きを成すものを云ふ。又水上艇の一部を水上に昇上せしむる翼面を云ふ。それより轉じて水上艇の意味にも用ふ。又飛行機或は飛行船が水上に落下の際其の沈没を防ぐ爲めの浮(ウキ)の設備を云ふ。又近來水上飛行機 (hydroaeroplane) の意にも用ふ。但し水上艇と水上飛行機の意に用ふるを最も普通とす。水上艇は hydroplane motor-boat とも云ふ。(hydroplane motor-boat 参照)

Ex. The hydroplane is an adaptation of the punt to the purposes of the motor-boat. (水上艇とは平底船をモーターボートの動きを爲す様に作りたるものである)。

hydroplane motor-boat (hī'drō-plēn mō'tgr=bōt) (ハイドロプレーンモーターボート), 「名」水上艇。—Hydroplane と motor-boat (發動機船) とを合せし字。水中推進機或は空中推進機にて進み昇上翼にて艇の全部を水中より露出せしめ速力を早めて進む一種の平底なる快走艇を云ふ。

I

iceberg-alarm (is'bērg' = a-lārm) (アイスバークアラーム), 「名」冰山警報機。—Iceberg (冰山) と alarm (警報機) とを結び付けし字。海中に冰山が流れ来りしを警報する一種の機械。

ice-clothes (is' = clōt-hz) (アイスクロース), 「名」氷装束, 防水服。—Ice (氷) と clothes (著物) とを結び付けし字。南北極探検隊員等が用ゐる一種の防寒用の装束を云ふ。

ice-locomotive (is' = lō'kō-mō'tiv) (アイスロコモティヴ), 「名」氷上機関車。—Ice (氷) と locomotive (機関車) とを結び付けし字。氷の上を運轉する爲めに

車輪の底に釘の如き物を附して氷の上を滑らざる様にせる一種の機関車なり。

ice patrol (is pā-trōl') (アイスパトロール), 「名」冰山警戒, 冰山警邏(巡視)。—Ice (氷) と patrol (警邏, 見廻り) とを合せし字。近年大西洋の航海が冰山の爲め危険になりタイタニック號其他多大の犠牲を拂ふに至りしより冰山見廻り船を設け冰山の漂流するものを発見して粉碎し航海を安全ならしむる其の警邏を斯く云ふ。

Ex. The menace of icebergs in the North Atlantic has been reduced to the minimum by an ice patrol, established this year (1914) by international agreement. The United States revenue cutter Seneca last year destroyed twenty-six icebergs. (北大西洋に於ける冰山の危険は今年「一九一四年」國際的協約によりて創立された冰山警邏に依つて最少限度に減ぜられた。合衆國の巡邏船セネカ號は昨年二十六個の冰山を破壊した)。

Imperial Federation (im-pē'ri-əl fēd'ēr-ā'shqn) (イムペリアル フェダレーション), 「名」帝國聯結。—Imperial (帝國の) と federation (團結, 聯邦) とを合せし字。本國と其の領地とを密接に聯結さす主義なり。

industrial railway (in-dūs'tri-əl rā'wā) (インダストリアル レールウエー), 「名」産業鐵道。—Industrial (産業の) と railway (鐵道) とを合せし字。産業の中心點より他の地點へ其の生産物を運搬する爲めに敷設せる狭軌鐵道を云ふ。

interlocking system (in'tēr-lōk'ing sis'tēm) (インタロックン グシステム), 「名」鉤接信號法(鐵道用)

語)。—Interlocking (相鉤接する)と system (制度)とを合せし字。鐵道用語としては轉轍機と信號標とを相互に鉤接連結せしめたる一種の機械装置にて轉轍機を動かすと同時に必ず信號標をも動かし又一度に一ツ以上の轉轍機を動かざらしめ以つて汽車の行路を精確安全ならしむる制度を云ふ。鐵道用語としての interlocking の此の意味に於て轉轍機舎の如きも interlocking tower と稱す。

International Aeronautical Federation (in'tēr-nāsh'qn-əl ā'ēr-ō-nat'ik-əl fēd'er-ā'shqn) (インタナショナル エイロノティカル フェデアレーション)。「名」萬國飛行協會。—International (萬國の)と aeronautical (航空の)と federation (團體、聯合)とを合せし字。萬國の飛行俱樂部の聯合せる即ち國際的の飛行俱樂部なり。

inter-phone (in'tēr-fōn) (インタフォーン)。「名」屋内電話。—Inter- (中、内、間)と phone (電話)とを結び付けし字。家宅内談話用の電話なり。此の字は商標的名稱なれど普通名詞にも使用さる。

Irish mail (īrīsh māl) (アイリッシュメール)。「名」小兒用自轉車。—Irish (アイルランドの)と mail (郵便運搬車)とを合せし字。一種の兒童用の自轉車様の車にて四輪即ち前後二對の車輪より成り後方二輪の上に平面金屬板乘坐臺を置き其の上に坐して足を前方二輪の車軸の上に置いて足にて舵を取り中央部に直立せる梃を前後に運轉して進行するものなり。

J

Japanomania (jä'pā-nō-mā'nī-ä) (ジャパノマニア)。「名」日本蟲員、親日熱。—Japan (日本)と manai

(狂望、熱)とを結合せし字。極度に日本を崇拜するを云ふ。

Japanophobia (jä'pā-nō-fō'bī-ä) (ジャパノフォービア)。「名」恐日、排日熱、日本嫌ひ。—Japan (日本)と -phobia (恐……病)とを結合せし字。日本及び日本人を極度に恐怖し排斥するを云ふ。

jinx (jīks) (ヂンクス)。「名」惡運、惡運をもたらす人或は物。—主として野球俗語として使用さる字。惡運をもたらす人或は物を云ふ。即ち其の人或は物を見る時は運が悪くなると云ふ一種の迷信なり。to put jinx on (……に惡運をもたらす)の成句にてよく用ゐらる。又 jinx は jinks とも綴らる。但し前者の方を探るべし。(hoodoo 参照)

jump (jūmp) (ジャンプ)。「名」上向カーブ球跳上りカーブ(野球用語)。—Jump は元來跳ぶの意なり。野球用語としては非常の速度を以つて投ぜる球が過激なる速度によりて起る空氣の壓力の爲め一時乃至二時急に上に跳び上り打者の身邊にて再び前の高さに復する一種のカーブ球なり。此のカーブを投ずるには球を非常に急速ならしむるを以つて jump on the fast one (急速の球の跳上り)の句を以つて往々之れを言表はす。

juvenil-adult (jū've-nīl = ä-dült) (ジュヴェニルアダルト)。「名」年長の少年。—juvenile (少年)と adult (成人)とを結び付けし字。殆んど成人に達せんとする年齢の少年を云ふ。

K

kerite (kē'rit) (キーライト)。「名」拒電物。—ギリシヤ語の keros (蜜蠟)と要素と云ふ意を表はす -ite とを結合せし字。彈性ゴムと動物油或は植物油とを混じ

硫黄を以つて硬化せしめたる合成物なり。此れは不導體なるを以つて電氣を絶縁するに使用さる。又此の合成物を以つて絶縁して作りたる電線を ke'rite=wire (キーライトワイア)と云ふ。

kinemacolor (kīn'ē-mā-kūl'gr) (キニマカラー), 「名」色彩活動寫真。天然色活動寫真。—Kinematograph (活動寫真)の kinema- (運動, 活動)と color (色彩)とを結合せし字。色彩附のフィルムを廻轉して活動寫真を原色のまゝに影出するものなり。(kinetophone 参照)

Ex. Our kinemacolor is the leading system of motion picture-photography, reproducing scenes in actual colors. No artificial coloring methods are employed, and the results on the screen are the most beautiful and natural that can be imagined. (當會社の天然色活動寫真は實際の色彩に影出し活動寫真術中に重きをなせる方法で有る。人工的色彩は少しも施さざるを以つて寫影幕に顯出せしめたる結果は想像の極致に及ぶ程最も美麗にして自然其のまゝのものなり)。

kineto-camera (kī-nēt'ō-kam'gr) (キネトカメラ), 「名」活動寫真攝影機。—Kineto- (活動の)と camera (寫真機)とを結び附けし字。活動寫真のフィルムを作る即ち事物を撮影する機械にて kinetograph と同じなり。kinetoscope 或は kine-scope 即ちフィルムより影出する機械と混同すべからず。

kinetogram (kī-nēt'ō-grām) (キネトグラム), 「名」活動寫真。—Kineto- (活動の)と gram (書きし物, 文字)とを結合せし字。事物を活動寫真機 (kinetograph) にて撮影したる寫真 (photograph) 其の物を云ふ。日本語

にては一概に活動寫真と云ふを以つて普通の字書の譯語と混同せざる様注意すべし。

kinetophone (kī-nēt'ō-fōn) (キネトフォン), 「名」發聲活動寫真機。—Kineto- (活動の)と -phone (音)とを結合せし字。蓄音機と活動寫真とを合併したるが如きものにて兩方の働を成す機械を云ふ。(kinetophonograph 参照)

kinetophonograph (kī-nēt'ō-fō'nō-grāf) (キネトフォノグラフ), 「名」發聲活動寫真攝影機。—Kineto- (活動の)と phonograph (蓄音機)とを結合したる字。短略して俗に kinetophone と云ふ。

kite camera (kī-kām'gr) (カイトカメラ), 「名」空中寫真機, 風寫真機, 登眺寫真機。—Kite (風)と camera (寫真機)とを合せし字。風に附けて飛揚せしめ空中より登眺影の寫真を撮影する寫真機を云ふ。

kleptograph (klēp'tō-grāf) (クレプトグラフ), 「名」盜賊撮影警報機。—Klepto (盜賊)と -graph (書くもの)とを結合せし字。賊が入り来るを寫真に撮影すると共に警報をする機械。(burglar-alarm 参照)

kleptoscope (klēp'tō-skōp) (クレプトスコープ), 「名」概觀反射鏡, 潛望鏡。—Klepto (盗む)と -scope (觀察器)とを結合せし字。periscope と同様の物にて同じく潜航艇用なり。數個の稜鏡を配置して其の反射に依つて潛艇が水中に没せる時水上の事物を見る一種の反射鏡なり。(periscope 参照)

knock-out drops (nōk'out' drōps) (ノックアウトドロップス), 「名」激烈癡醉劑(米國)。—Knock-out (人事不省にす, 息を止む)と drops (滴飲藥)とを合せし字。水酸化クロラルの如き激烈なる癡醉劑にて窃盜等の目的を以つて人に飲ましむるものを云ふ。

knuckle ball (nūk'l bāl) (ナックルボール), 「名」指關節球(野球用語)。—Knuckle (指關節)と ball (球)

とを合せし字。球を母指と小指とにて持ち間の三指を折つて球に押し當て其の三本の指の關節にて打者に投ずる球なり。一見急速の投球の如く見えて極めて速く飛び來るを以つて打者は間誤付かせらる。(fadeaway; hook; jump 参照)

krypton (krip'tŏn) (クリプトン), 「名」クリプトン瓦斯。—ギリシヤ語 *kryptos* (隠れたる) より作りし字。一八九八年スコットランドの化學者 Ramsay 氏及び Travers 氏に依つて発見せられたる空中に在る一種の瓦斯にてアールゴン瓦斯の種類に屬するものなり。空氣の量子に對する一位の割にて存在す。crypton とも綴る。(argon; helium 参照)

kymograph (kī'mō-gráf) (カイモグラフ), 「名」波動記録器—ギリシヤ語 *Kyma* (波) と *-graph* (書くもの) とを合せし字。波状振動を記録する機械。廻轉する太鼓張の上に針にて脈波、筋力運動、呼吸器の動作を示す機械なり。

L

L (el) (エル), 「名」高架鐵道。—Elevated railroad (高架鐵道) の *elevated* を略して第一 syllable の發音 *el* (l) のみにしたるもの。普通 **L** を大文字にて書く。米國殊に紐育市にて用ゐらるゝ一種の方言的の字なり。又 **L** を *attribute* として the **L** roads (高架鐵道) の如くも用ふ。

lacrimation (lāk'ri-mā'shŏn)

(ラクリメーション)

lachrymation (lāk'ri-mā'shŏn)

(ラクリメーション)

Lacrimonal 「lachrymal」(涙)と名詞の接尾語の *-tion* と

を合せし字。涙を流す事を云ふ。但しあまり使用せられざる字なり。

lactobacilline (lāk'tō-bā-cī'īn) (ラクトバシリン), 「名」乳酸菌。—*Lacto-* (牛乳の) と *bacilli-* (細菌) と化學的混成物の意を表はす接尾語の *-ine* とを合せし字。露國の細菌學者メツニコフ教授 (Elie Metchnikoff) に依つて發明せられしものにて細菌を繁殖せしめ牛乳を酸化さして作る一種の醗酵性のものなり。不消化患者に飲まして効果大なり。

lamp (lāmp) (ランプ), 「名」眼。「動」見る(俗語)。—*Lamp* は元來は洋燈の意なり。轉じて輝く物の意に用ふ。俗語にては名詞としては眼(眼球)の事を斯く云ふ而して此の意味に於て複數の形の時は *eye* と同意なり。又動詞としては *to eye* 即ち見る意に用ふ。

Ex. I knew the detective had lamped me. Turning back I saw his fierce looking lamps fixed upon me. (探偵にテツキリ見つかつたと思つた。後を見ると彼の恐ろしい眼玉が僕を睨み付けて居た)。

landaulet (lān'dā-lēt) (ランドゥレット), 「名」ランドー形自動車。—*Landaulet* は元來は *landau* 馬車の小さい (*-et*) のものゝ意なるが現今専ら用ゐらるゝ新しい意義はランドー馬車に類する型の自動車なり。二人乗りにて折り疊みの出来る車蓋附なり。普通後方の一人席の上の被蓋は後方に折り重ね得べく前方の一人席即ち操縦者席の上の被蓋は固定し有る自動車なり。(limousine; runabout 参照)

land-plane (lānd'plān) (ランドプレーン), 「名」陸上飛行機。—*Land* (陸) と *plane* (飛行機) とを結び付けし字。海上或は水上飛行機に對して作れる字にて陸上飛行機を云ふ。(plane; aeroplane; water-plane 参照)

Ex. With *land-planes* the year has shown a growth in speed, reliability and the comfort of pilots and passengers. (陸上飛行機に於ては當年中に速力、健實及び操縦者と便乗者の安易の發達増進を爲したり)。

landscape-gardener (lānd'skāp=gār'dn-ēr) (ランドスケープ ガードナー), 「名」庭園師, 風景庭師。—Landscape (風景, 山水) と gardener (庭師, 植木屋) とを結び附けし字。日本の庭園の如く山水の風致, 樹木の配列等に工夫を凝らす庭園師を云ふ。又斯の如き庭園を作るを landscape-gardening と云ふ。又同じ意味にて landscape-architect と稱す。

language-phone (lāng'gwāj=fōn) (ラングエーデフォン), 「名」國語練習用蓄音機。—Language (國語, 言語) に phone (音聲) を結び附けし字。外國語學練習用の目的にて會話其の他の言語を吹込める蓄音機なり。

Larkinism (lār'kīn-izm) (ラーキンニズム), 「名」ラーキン主義, 労働革命, 同盟運動。—アイルランド人 James Larkin の名の Larkin と -ism (主義) とを結合せし字。Larkin は労働社會殊に下級の労働者の自由及び安寧の爲めに自ら指導者として暴行同盟罷工を行ひ政治を無視し暴行を以つて其の主義目的を達する唯一の方法となす。

Ex. *Larkinism* is at war with the old trade unionism as much as it is at war with the capitalists. It repudiates political action, and advocate the strike as the one means by which the emancipation of Labor may be achieved. The sympathetic strike has been

the one weapon of *Larkinism*. (ラーキン主義は舊式の産業組合と戦ふ如く又資本家とも戦ふ。其の主義たるや政治的方策を斥ぞけ同盟罷工を以つて労働者釋放の唯一の方法なりと主張す。同情的(共同的)同盟罷工はラーキン主義の唯一の武器なり)。

latch-key voter (lāch'ke'vō'tēr) (ラッチキーヴォーター), 「名」寄留選舉權の一種。—Latch-key (表戸の鍵) と voter (投票者) とを結び附けし字。英國にて一九〇六年に規定されし寄留せる公民の選舉權規定にて其の論據は間借人は其の家へ出入の全權即ち入口の鍵を持つ資格有る者故に其れに公民權を與ふべしと云ふに在り。

lattice tower (lāt'is tou'ēr), (ラッティス タワー), 「名」無線電信發受桌支柱塔, 無線電信塔。—Lattice (格子) と tower (塔) とを合せし字。無線電信用語にして發受線 (antenna) を高く空中に支へる爲めに建設せる建物にて其の鐵骨が格子の如き形を爲し居るを以つて此の名稱有り。

lead (léd) (リード), 「名」冒頭文, 書き始め。—Lead は元來は先導, 率先の意なり。新聞或は短篇小説等の用語としては全文の冒頭の一章を云ふ。殊に新聞用語としては記事の冒頭に於て全文の概要に就き特に注意すべき點を書くを云ふ。

Ex. That part of a story which presents the gist or summary of the entire story at the beginning is called the *lead*. (全記事の要領或は概意を書ける文の冒頭の部分をリードと稱す)。

leprology (lēp-rō'lō-jī) (レプロロヂイ), 「名」癩病(天刑病)學。—Leper (癩病患者) に -ology (科學) と云ふ接尾語を附したる字。癩病を研究する學問にて其れをなす人を leprologist と云ふ。

letter-book (lēt'er=bōōk'') (レッタ〜ブック), 「名」書信保存帖。—Letter (手紙)と book (本,帖)とを結び付けし字。書信又は書信の寫しの保存帖なり。

letter-card (lēt'er=kārd) (レッタ〜カード), 「名」封緘はがき。—Letter (書簡)と card (端書)とを結び付けし字。糊附きの端を折つて封緘し得る様に作られたる信書代用葉書にて發送の際には其の端を折りて封緘し書簡の如くに郵送し得るものなり。

letter-case (lēt'er=kās) (レッタ〜ケース), 「名」携帯用書案(机)。—Letter と case (箱)とを結び付けし字。持ち運びに便なる様に作りたる一種の書机なり。

letter-drop (lēt'er=drōp'') (レッタ〜ドロップ), 「名」書翰差入口, 郵便受口。—Letter と drop (落す)とを結び付けし字。郵便局或は郵便車等に設け有る郵便物差入口を云ふ。

lettergram (lēt'er-grām) (レッタ〜グラム), 「名」特別長文電報, 書信代用電報。—Letter と telegram (電報)の -gram とを結び付けし字。普通電報と時間が衝突したる時は後廻しにさるゝ規定にて特別割引料金にて取扱はるゝ長文電報なり。(day letter; night letter; day lettergram 参照)

life-line gun (lif'=līn gūn) (ライフラインガン), 「名」救命繩放射砲。—Life-line (救命繩)と gun (鐵砲)とを合せし字。高き建物ノ火事の際高き所に梯子の達せざる時救命繩を發射し上げる騎銃 (carbine) の形の鐵砲を云ふ。

life-net (lif'=nēt) (ライフネット), 「名」救命網, 救命布。—Life (生命)と net (網)とを結び付けし字。網或は敷布の如き織物にて作り消防夫が火事の際高き建物の上部或は窓より落ち來る人を受けて救助するに用ふるものなり。

limousine (lē'mūzēn') (リムズイーン), 「名」

箱馬車自動車。—佛語より採用せし字にて coupé (箱馬車)の如き乗車臺附きの自動車。但し車蓋は前方の運轉手臺の上をも蓋ひ固著し有るを普通とす。(gasoline brougham; gasoline coupé; landaulet; runabout 参照)

liner (līn'er) (ライナー), 「名」低行直線打球(野球用語)。—Line (線)と -er (……するもの)とを給合せし字。一直線の如く飛ぶ球の意なり。猛烈に打ちし球にて低く真直ぐに飛び内野手の邊り或は内野手を越える位の距離に飛ぶ安全打球を云ふ。

linotype (līn'ō-tip or līn'ō-tīp) (ライノタイプ 或は リノタイプ), 「名」ライノタイプ, 鑄込活字排列機。「動」ライノタイプにて版を作る。—Line of type が縮まりて出來たる字。タイプライターに似たる鍵盤の押子を押すと文字が一行宛鑄出せらるゝものにて活字を要せず又植字の必要なき一種の植字鑄出機械なり。linotype を運轉する者を linotyper 又は linotypist と稱す。

live-rail (liv'=rāl) (ライゲレール), 「名」送電軌道。—Live (電流の通せる)と rail (軌道)とを結び付けし字。電車に運轉動力を供給する爲めに普通の軌道以外に更に一條の軌道を敷設し其れに電流を通ず。其の軌道を斯く云ふ。(third rail; central rail 参照)

locomobile (lō'kō-mō'bīl) (ローコモビル), 「名」地上運轉機關車, 自動車。—Locomotive (機關車)の loco- と mobile (動く物)とを結合し automobile (自動車)に類似さして作りたる字。軌道で無く普通の地上を運轉して車等の牽引に用ふる一種の機關車なり。又商號的使用より普通名詞として自動車の意味に用ゐらるゝ事も有り。(road-engine 参照)

loganberry (lō'gan-bēr'y) (ローガンベリー), 「名」ラーガン漿果, ラーガン漿果樹。—米國加州のローガン

判事に依りて發明されたるものにて發明者の名の Logan と berry (漿果) とを結合せし字。Antwerp raspberry (一種のキイチゴ) と blackberry (クロイチゴ) とを接種雜殖せしめて作り得る一種のベリイを云ふ。

loop the loop (lōop t-hə lōop) (ループ・ゼア・ループ), 「動」空中翻筋斗する。—Loop は元來名詞としては紐輪の意にて動詞としては紐輪を作るの意なり。to loop the loop は成句にして圓の内側に沿ふて廻るの意なり。其れより圓形の線の内側に沿ふて廻り空中にて逆様に成り更に舊に復する事を云ふ。更に轉じて非常な冒險的の晴業をするの意にも用ゐらる。新しい用法としては飛行機で空中翻筋斗するの意に用ゐらる。佛國の某陸軍飛行家が飛行機の操縦を誤り墜落の途中に於て偶然飛行機が翻筋斗を爲し再び機の安全を得たり。此れによりて佛國飛行家 Pégoud 氏が飛行機にて逆様に飛行するの困難ならざる事を知り以來大膽なる曲藝的飛行を成し其後 looping the loop の句は屢々用ゐらるゝに至れり。Pégoud 氏其の他の飛行家は更に種々大膽なる晴業を成すに至れり。現今は所謂空中の looping the loop は比較的廣義に用ゐられ種々の曲藝的飛行をなすの意に用ゐらる。

Ex. Strapped in the seat of a Blériot monoplane, M. Pégoud overturned himself deliberately at a height of about 1,500 feet, flew for some distance upside down, then restored his machine to a normal position, and descended safely. The same feat had been achieved previously, but without design. Elaborating his experiences M. Pégoud

“looped the loop” in the air. (ブレリオ單葉飛行機の席に身體を革帶で括り附けてヘゲー氏は略一千五百呎の高さで故意に自らを倒にして上部を下に幾(イク)らかの距離を飛びそして飛行機を普通の位置に復して無事に著陸した。それと同じ業(ワザ)は其の以前にも爲し遂げられたが皆工夫してされたのでは無かつた。ヘゲー氏は刻苦精勵して経験を積んだ結果空中で翻筋斗をした)。

loud-speaking telephone (loud spōk'ing tēl'ē-fōn) (ラウドスピーキング・テリイフォン), 「名」高聲傳音機・擴音送話機。—Loud (高聲に) と speaking (話す) と telephone (電話) とを合せし字。送話口にて發する聲音を強大にして傳ふる一種の送話機なり。

Ex. An instrument that is rapidly replacing the old-style megaphone has been perfected and is extensively used for announcing the score at baseball games, interesting events, to give commands in the turrets of a battleship, etc. This instrument is known as the loud-speaking telephone, and the receiver closely resembles an electric automobile horn. (急速に舊式の擴音機に代りつゝある一機械が完全され野球試合の得點、興味有る出來事を傳へ、軍艦の砲塔より號令を與へる等其の他の目的の爲め廣く使用されて居る。此の機械は擴音送話機と稱せられ其の受話機は自動車用の電氣號角の形に酷似す)。

M

maffick (mäf'ik) (マッフイック), 「動」歡び騒ぐ、騒

々しく歡呼す、お祭騒をなす。—南阿の地名 Mafeking (mä'fē-kīng マーフィキング) より來し字。南阿戦争起り、一八九九年十月土人軍は南阿の町 Mafeking を攻圍す。翌年一九〇〇年五月に至つて防備中の英軍は援軍によつて救はる。倫敦市民歡喜して殆んど狂せんばかりの祝賀をなせり。以來其の如く群集が歡び大騒ぎをなす事を mafficking と云ふ。又大騒ぎをなす者を mafficker と云ふ。大騒の形容詞に mafficky 有り。

Ex. The receipt in London of the news of the relief of Mafeking was the cause of delirious jubilation and demonstrative celebration almost bordering on the riotous by Londoners, and such exhibitions of national ebullition of feeling have become known as *mafficking*. (マーフィキング救援の報倫敦に達するや倫敦市民は殆んど暴動と云はんばかりの狂熱的歡喜及び熱誠の祝賀を爲せり。而して之れに類する國民感情の興奮の發露を稱して「マツフィクする」と云ふに至れり)。

magazine camera (mäg'zēn' käm'g-rä) (マガズィーンカメラ), 「名」填裝寫眞機。—Magazine (填裝する所) と camera (寫眞機) とを合せし字。活動寫眞用原板フィルムを填裝して屢々種板を入換ゆる事を避けて旅行携帯に便ならしめたる寫眞機なり。

Ex. Intended to fill the gap between the ordinary still camera and the motion-picture instrument, a new camera, designed for the use of amateur photographers and using motion-picture films, has been perfected. The purpose of the invention is to furnish

the tourist a *magazine camera* which does not require constant reloading. (普通の靜體撮影寫眞機と活動寫眞撮影機との中間に位せしむ目的にて素人の寫眞師の使用に適する様工夫され且つ活動寫眞のフィルムを使用し得る新しい寫眞機が完成された。其の發明の目的は旅行者に絶えず種板を填め換へる必要の無い填裝寫眞機を供するに在る)。

mail-contractor (mä'l=kön-träk'tgr) (メールコントラクター), 「名」郵便物送達請負人。—Mail (郵便物) と contractor (請負人) とを結び付けし字。郵便物の送達を郵便局より請負ふ人を云ふ。

mail-order (mä'l=ör'dēr) (メールオーダー), 「名」郵便注文、郵便購買。—Mail (郵便) と order (注文) とを結び付けし字。郵便にて物品購買の注文をする事を云ふ。(mail-order business; mail-order house 参照)

mail-order business (mä'l=ör'dēr biz'nēs) (メールオーダービジネス), 「名」郵送販賣業、メールオーダー業。—Mail-order と business (商業、營業) とを合せし字。郵便にて物品の注文及び代價の送金を受けて取引をなす小賣業を云ふ。(mail-order; mail-order house 参照)

mail-order house (mä'l=ör'dēr hous) (メールオーダーハウス), 「名」郵送販賣小賣店。—Mail-order と house (家、店) とを合せし字。郵便にて物品の注文及び送金を受けて營業する小賣店を云ふ。此の字は主として米國にて用ゐらる。(mail-order 参照)

Marathon-race (mä'r'ä-thön=räs) (マラソンレース), 「名」マラソン競走、長距離徒歩競走。—Marathon は紀元前 490 年希臘軍が波斯軍を破りし所の地名にして希臘のアゼンスを距ること二十二哩。希臘軍が波斯を破りし時希臘の一兵士此の二十二哩を休まずに